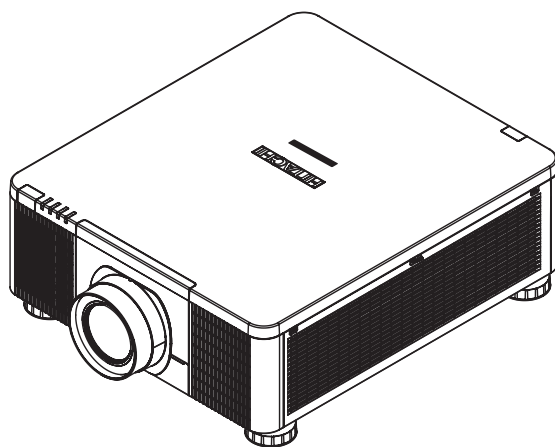


**HITACHI**  
Inspire the Next

**業務用プロジェクター  
LP-WU9750BJ  
取扱説明書**

本製品を御購入頂きありがとうございます。プロジェクターの使用を開始する前に、本書をよくお読みください。

本書を保管し、使用時に参照してください。



# もくじ

<b>警告、注意、安全に関する説明</b>	<b>4</b>	背面投射	26
注意	4	天吊り背面投射	26
付属品	4	ミラーによる背面投射	26
はじめに	5	<b>水平および垂直レンズシフト</b>	<b>27</b>
正しくお使いいただくために	5	レンズの垂直移動	27
使用上のご注意	6	レンズの水平移動	27
プロジェクターの両側に障害物がある場合	12	<b>プロジェクターの他の装置との接続</b>	<b>28</b>
プロジェクターの背後に障害物がある場合	12	HDMI / DVI 接続	28
配置の注意	12	12Vトリガー接続	28
<b>3Dに関する注意</b>	<b>13</b>	RGB 接続	29
プロジェクターの光源を直接のぞかない	14	HDBaseT 接続	29
製品ラベル	14	SDI 接続	30
投写窓の位置	15	<b>プロジェクターの起動</b>	<b>30</b>
連動スイッチ	15	<b>OSD 言語の変更</b>	<b>30</b>
製品に含まれる毒性・有害物質 / 毒性・有害成分の名称と量	16	<b>スクリーンの向きの調節</b>	<b>31</b>
<b>プロジェクターの各部の名称と働き</b>	<b>17</b>	天吊り前面投射	31
正面図	17	背面投射	31
背面図	18	天吊り背面投射	32
底面図	20	<b>プロジェクターのレンズの調節</b>	<b>32</b>
リモコン信号の有効受光範囲	21	<b>リモコン</b>	<b>33</b>
リモコンへの電池の取付け	21	<b>OSD メニューツリー</b>	<b>35</b>
<b>プロジェクターの設置</b>	<b>22</b>	<b>OSD 説明</b>	<b>38</b>
1. 本機をスクリーンに向けます。	22	<b>メイン</b>	<b>38</b>
2. 本機のレンズのウレタンフォーム材を取り除きます。	22	入力	38
3. 使用する場所に合わせて、正しい入力電圧を選択します。	22	PinP	39
4. 電源コードを本機に接続します。	22	PinP 入力	39
5. 本機を PC に接続し、スイッチを「I」に合わせ、電源を入れます。	22	PinP 位置	39
6. プロジェクターを起動します。	23	色空間	40
7. プロジェクターの傾き、レンズシフト、ズーム、フォーカスを調節します。	23	3D	40
8. 投写の傾きによるキーストンの補正します。	23	Digital Zoom & Shift	40
9. プロジェクターを停止します。	24	無信号表示	40
<b>投写距離</b>	<b>25</b>	<b>画像</b>	<b>41</b>
<b>設置モード</b>	<b>25</b>	ピクチャーモード	41
前面投射	25	輝度	41
天吊り前面投射	26	コントラスト	42
		色の濃さ	42
		色あい	42
		シャープネス	42
		ノイズリダクション	43
		色温度	44
		ホワイトバランス	44
		アスペクト	45
		オーバースキャン	46
		位置と位相	46
		自動画像	47

<b>レーザー光源</b>	<b>48</b>	<b>仕様</b>	<b>66</b>
パワーモード	48	<b>対応信号入力モード</b>	<b>67</b>
電力レベル	48	<b>SDI フォーマット</b>	<b>68</b>
高地モード	49	<b>3D タイミングのフォーマット</b>	<b>68</b>
<b>設置方法</b>	<b>50</b>	<b>寸法</b>	<b>69</b>
設置方法	50		
レンズ制御	50		
レンズメモリー	51	<b>通信設定</b>	<b>70</b>
レンズセンタリング	51	<b>RS-232 通信</b>	<b>70</b>
ガンマ	51	接続	70
パターン	51	1. プロトコル	71
カラーマネージメント	51	2. コマンド形式	71
ワーピング	52	3. 応答コード/エラーコード	72
ブランキング	53	ネットワークによるコマンド制御	73
エッジブレンディング	53	接続	73
メモリー	55	通信ポート	73
ダイナミックブラック	55	コマンド制御設定	74
<b>セットアップ</b>	<b>56</b>	<b>通信コマンド表</b>	<b>75</b>
ネットワーク	56		
OSD 設定	57	<b>保証とアフターサービスについて</b>	<b>87</b>
赤外線リモコン	57	<b>お客様相談窓口</b>	<b>88</b>
リモコン ID	57	<b>商標</b>	<b>88</b>
初期画面	57		
トリガー	57		
オートサーチ	58		
オートパワーオフ	58		
ダイレクトパワーオン	58		
表示言語	58		
AMX D.D.	58		
Web コントロール / Crestron Control	58		
<b>サービス</b>	<b>59</b>		
モデル	59		
シリアル番号	59		
ソフトウェアバージョン1/2	59		
入力ソース	59		
信号フォーマット	59		
レーザー使用時間	60		
温度情報	60		
レンズタイプ	60		
工場出荷設定	60		
<b>お手入れ</b>	<b>61</b>		
キャビネットのお手入れ	61		
レンズのお手入れ	61		
<b>Kensington® ロックの使用</b>	<b>62</b>		
<b>簡易トラブルシューティング</b>	<b>63</b>		
LED の状態	65		

## 警告、注意、安全に関する説明

# 警告、注意、安全に関する説明

### 注意

本機は、プロジェクター製品の操作に慣れた成人向けに製造されています。

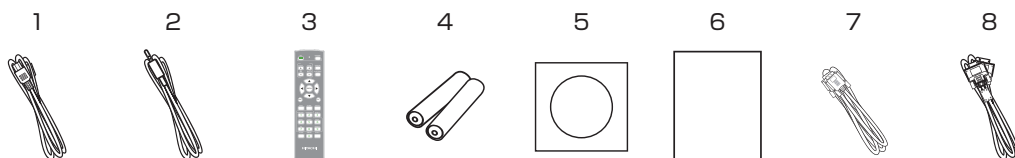
お手元のプロジェクターの型名とシリアル番号を記録し、今後のメンテナンス用に保管してください。万一装置を紛失したり盗難にあった場合は、この情報が警察の調査報告に使用されることがあります。

型名:

シリアル番号:

プロジェクターに含まれる付属品が揃っていることを、下記の一覧を使って確認してください。万一不足している付属品があれば、すぐにお買い上げの販売店にご連絡ください。

- |               |              |           |                   |
|---------------|--------------|-----------|-------------------|
| 1. 電源コード      | 3. リモコン      | 5. CD-ROM | 7. RS232ケーブル(クロス) |
| 2. 有線リモートケーブル | 4. 単3型乾電池×2個 | 6. 取扱説明書  | 8. RGBケーブル        |



## 警告



### ●電池の取扱いに注意する

子どもやペットが届くところに放置しないでください。



### ●電源コード

本機に付属の電源コードは本機の専用品です。他の機器には使用できません。

### お知らせ

#### ●梱包材は大切に保管してください。

修理や引越しなどの輸送には、お買い上げの際に使用されていた梱包材をご使用になり、正しく梱包してください。特にレンズ周りの梱包にはご注意ください。

### お知らせ

#### ●本書の内容は、製品の仕様を含め、改良のため予告無く変更することがありますので、ご了承ください。

#### ●本書の運用結果については責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

#### ●本書の内容の一部、あるいは全部を無断で複製、転載しないでください。

#### ●本書に記載している挿絵は、説明のための一例です。お客様のプロジェクターとは若干の相違がある場合があります。



# はじめに

## 正しくお使いいただくために《必ずお読みください》

この製品をご使用になる前に、必ずこの「正しくお使いいただくために」をよくお読みになり、ご理解のうえ正しくお使いください。誤ったご使用や通常の範囲を超える取扱いによる危害や損害については、いかなる場合も弊社は責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

### ■絵表示について

本書ではこの製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。

## ⚠ 警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があります。

## ⚠ 注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負ったり物的損傷を発生する可能性があります。

### ■絵表示の意味



「注意」を示します。  
この記号の後に続けて「気をつけなければならない」ことを記載しています。



「感電注意」  
「高温注意」



「禁止」を示します。  
この記号の後に続けて「してはいけない」ことを記載しています。



「分解禁止」  
「水ぬれ禁止」  
「ぬれ手禁止」



「強制」を示します。  
この記号の後に続けて「必ず行わなければならない」ことを記載しています。



「電源プラグをコンセントから抜け」

## お守りください

本機、およびその他の周辺機器を快適にご使用いただくため、この表示に従ってください。

## ■使用上のご注意

### 警告

#### 異常が発生したら、すぐに電源プラグを抜く



電源プラグ  
を  
コンセント  
から抜け

そのまま使用すると火災や感電の原因となります。

次のような場合はすぐに使用を中止し、電源プラグを抜いて販売店にご相談ください。

- ▶ 煙が出ている、へんな臭いがする、へんな音がする。
- ▶ 内部に異物や液体（金属や水など）が入った。
- ▶ 落とした、強い衝撃をあたえた。
- ▶ 本機や接続している電源コードやケーブル類に損傷がある。

電源プラグはすぐに抜くことができるように設置してください。お客様による修理は危険ですので絶対におやめください。

#### 子どもやペットに注意する



誤った取扱いは、火災、感電、けが、やけど、視力障害などの原因となります。また、電池やその他の小さな部品は、お子様やペットが飲み込むおそれがあります。お子様やペットが届かないところに設置、保管してください。万一、飲み込んだ場合はすぐに医師にご相談ください。

#### 異物や液体を入れない



火災や感電の原因となります。また可燃性の気体や液体が内部に入ると、引火して爆発を引き起こし、火災やけがの原因となります。

ぬれたものや小さなもの、気体や液体が入っているものを本機の近くに置かないでください。洗剤や殺虫剤などのスプレー（エアゾール製品）を本機に向けて、または本機の周辺で使用しないでください。

万一、異物や液体が入ってしまったら、すぐに使用を中止し、電源プラグを抜いて販売店にご連絡ください。

#### ぬらさない



本機や電源コードなどがぬれると火災や感電の原因となります。

水をかけたり、風呂場やシャワー室など水や雨、水滴のかかる場所に置いたりしないでください。

水ぬれ禁止

#### 不安定な場所に置かない、不安定な置きかたをしない、衝撃をあたえない



据え付け、取り付けは必ず工事専門業者または販売店にご依頼ください。工事が不完全な場合、死亡、けが等の原因になります。

ぶつけたり落としたりするとけがや破損、故障の原因となります。また、そのままご使用になると火災や感電の原因となります。万一、衝撃をあたえてしまったら、すぐに使用を中止し、電源プラグを抜いて販売店にご連絡ください。

- ▶ 移動するときは、コード、ケーブルを外してください。
- ▶ 設置器具は、本書の指定品をご使用になり、天吊り（天井設置）などの特殊な設置は、必ず事前に販売店にご相談ください。
- ▶ アジャスタ脚の調節以外は傾けて設置しないでください。
- ▶ 底面以外を下にして置かないでください。

#### 油を使用する場所に置かない



油煙などにより油が付着し、故障、火災や感電の原因となります。また、プラスチックの劣化により、天井や高所設置からの落下など、けがの原因となります。

▶ 調理台のある場所や機械油などを使用する場所に設置しないでください。

(次ページにつづく)

## 使用上のご注意 (つづき)


**警告**
**高温に注意する**

高温注意

本機の使用時、排気口や排気口から出る空気は高温になります。周辺に可燃物やスプレー等があると引火や破裂を引き起こし、火災やけがの原因となります。また高温部に触れたり近づいたりするとやけどの原因となることがあります。

- ▶本機の上や周辺に、可燃物やスプレー、熱の伝わり易いものや熱に弱いものを置かないでください。
- ▶使用中や使用後しばらく、排気口に触れたり近づいたりしないでください。

**分解しない、改造しない**

分解禁止

内部には電圧の高い部分があり、火災や感電の原因となります。

- ▶本機のキャビネットは、開けないでください。
- ▶内部の点検、調整、修理、お手入れは販売店にご依頼ください。

**レンズをのぞかない**

本機の使用時は、レンズから強い光が出ます。視覚障害などの原因となりますので、絶対にのぞかないでください。

**電源コード、信号ケーブルやコネクタは所定のものを使用する**

仕様の合わない電源コードや信号ケーブルを使用すると、火災や感電、故障や電波妨害の原因となります。

本機に同梱されているものは、傷や破損が無いことを確認のうえ、必ず同梱品をご使用ください。同梱品以外の接続ケーブルやコネクタは、販売店にご相談のうえ適切なものをご使用ください。本機に付属の電源コードは本機の専用品です。他の機器には使用できません。

**電源プラグは付着物をふき取って使用する**

本機の AC (電源端子) や電源コードのプラグ (刃) 部分やその周辺に、ほこりや金属類などが付着していると、火災や感電の原因となります。

**電源プラグは、指定 (本体に表示) の電源電圧のコンセントに、根元まで確実に差し込んで使用する**

電源の接続が不完全の場合、感電の原因となったり、発熱して火災の原因となります。また、指定の電圧以外での使用は、火災や感電の原因となります。

必ず、**交流 100V** のコンセントに接続してご使用ください。

- ▶本機の電源スイッチをオンする前に、電源電圧切換スイッチを 115V に設定してください。
- ▶ゆるみやがたつきのあるコンセントは使用しないでください。
- ▶たこ足配線はしないでください。

**電源コード、信号ケーブルやコネクタを傷つけない**

損傷のある電源コードや信号ケーブルなどを使用すると、火災や感電の原因となります。傷や破損がある場合は使用せず、販売店にご相談ください。

**漏れた冷却液に触れたり、飲んだりしない**

プロジェクターが損傷すると、内部のラジエーターあるいはタンクから冷却液が漏出する場合があります。漏れた冷却液に触れたり、飲んだりしないでください。冷却液を飲んだ場合または目に入った場合、すぐに医師に診せてください。

(次ページにつづく)

## 警告、注意、安全に関する説明

### 使用上のご注意 (つづき)

# 警告

#### ぬれた手で電源コードを取り扱わない



感電の原因となります。

ぬれ手禁止

#### お手入れするときは電源プラグを抜く



電源プラグ  
を  
コンセント  
から抜け

電源プラグを接続したままでお手入れすると、火災や感電の原因となります。お手入れするときは、電源を切り、電源プラグを抜いてください。必ず本書の「点検とお手入れ」をお読みになり、正しくお手入れしてください。

#### 電池の取扱いに注意する



破裂注意

電池の取扱いを誤ると、破裂や発火、液漏れなどして、火災やけが、人体への傷害、周囲の汚染の原因となります。また電池は小さいのでお子様やペットが飲み込むおそれがあります。

万一、飲み込んだ場合はすぐに医師にご相談ください。

液漏れしたときは、すぐに乾いた布などで漏れ液をふきとって、新しい電池を入れてください。漏れ液が皮膚や衣服に着いた場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。目などに入った場合は、すぐにきれいな水で洗い流し、医師にご相談ください。

- ▶ 交換するときは指定のタイプの新しい（未使用）電池を使用してください。
- ▶ 火や水に入れないでください。火気、高温、湿気を避け、暗く涼しく乾燥したところに保管してください。
- ▶ 子どもやペットの手足が届かないところに保管してください。
- ▶ 廃棄するときは、廃棄を行う地域の規則（条例など）に従ってください。

#### 重い物を載せたりぶら下げたりしない



不安定になって落ちたり倒れたりするとけがや破損、故障の原因となったり、そのまま使用すると火災や感電の原因となることがあります。

- ▶ 本書に指定のある場合や所定の別売品（販売店にお尋ねください）以外は、本機に取り付けたりぶら下げたりしないでください。

(次ページにつづく)

## 使用上のご注意 (つづき)

## ⚠ 注意

### 高温になるところに置かない、通風孔をふさがない



高温になるところに置いたり、通風が正常に行われないと、内部温度が上がり過ぎ、本機の電源が自動的に切れたり、火災や故障の原因となることがあります。また、熱や温風を当てるとキャビネットなどが傷む原因となることがあります。

指定された設置個所の、通風の方向に注意してください。排出口から吐き出された高温の空気が吸気口に戻らないように注意してください。冷却が適切に行われず、本機の内部構造が損傷したり、温度保護のためシャットダウンします。電源コードを抜いて、約 15 分放置してください。(本機が再び保護モードに移行しないように、忘れずに、通風孔の障害物がないことを確認してください。)

- ▶ 本機は、風通しの良いところに、周辺の壁や物から離して設置してください。
- ▶ 熱源の近くや直射日光、温風が当たるところには置かないでください。
- ▶ 本機や付属品を電子レンジに入れないでください。
- ▶ 通風孔をふさいだり、近くに物を置いたりしないでください。
- ▶ 布団やカーペット上に置いたり、布などを被せたりしないでください。
- ▶ 本機の理想的な動作温度は、0° C ~ 40° C です。
- ▶ 本機の理想的な保管温度は、-10° C ~ 60° C です。

### 湿気、ほこりの多いところ、煙の当たるところ、塩害のおそれのあるところに置かない



内部にほこりなどがたまると、火災や感電の原因となったり、故障や映像不良の原因となることがあります。湿気やほこりの多いところには置かないでください。また超音波式加湿器などで、水道水に含まれる塩素やミネラル成分が霧化されて本機に付着すると、故障や映像不良の原因となることがあります。

- ▶ 本機や付属品を、屋外に置かないでください。

### 磁気を発生するものを近づけない



本機に磁気を近づけたり、磁気を発生するものの近くに置いたりすると、冷却ファンが止まったり回転速度に異常を生じることがあります。内部温度が上がり過ぎると、本機の電源が自動的に切れたり、火災や故障の原因となることがあります。

- ▶ 付属品、本書に示される指定品を除き、磁気シールドが施されていない磁気製品（磁気による盗難防止装置など）を本機に使用したり近づけたりしないでください。

### 使用しないときは電源プラグを抜く



電源プラグ  
を  
コンセント  
から抜け

本機の電源を完全に切るためには電源プラグをコンセントから抜いてください。電源プラグを接続したまま放置すると、火災などの原因となることがあります。

### 落雷のおそれがあるときは使用しない



落雷があった時に本機を使用していると、火災や感電の原因となることがあります。落雷のおそれがあるときは、使用を中止し、電源プラグを抜いてください

### LAN 端子への接続は、事前にネットワーク管理者に相談する



ネットワークによっては過度の電圧をもつものがあります。過度の電圧を生じる可能性があるネットワークは、安全のため、LAN 端子に接続しないでください。

- ▶ 公衆回線に接続する場合は、必ず電気通信事業法認定のルータ等に接続してください。

### 点灯中に映像を消すには、指定の方法を使用する



点灯中に映像を消したい場合には、ブランク機能を使用してください。レンズの前に物を置いたり、レンズに紙や布などを貼ったりすると、レンズを損傷するおそれがありますので、おやめください。

### 使用上のご注意 (つづき)

## ⚠ 注意

### 年に一度は内部のお手入れを販売店に依頼する



内部にほこりなどがたまると、火災や感電の原因となったり、故障や映像不良の原因となることがあります。年に一度は、内部の点検と掃除を販売店にご依頼ください。お客様による内部のお手入れは危険ですので、絶対におやめください。

### 冷却液の定期的な点検を販売店に依頼する



冷却液は、購入後 3 年毎に点検を推奨します。販売店かサービス店にお問い合わせください。

### 付属の CD-ROM は、コンピュータの CD/DVD ドライブで使用する



付属の CD-ROM を CD プレーヤなどで再生すると、突然大きな音が出て、聴力障害やご使用のスピーカの破損の原因となることがあります。必ずコンピュータの CD/DVD ドライブで使用してください。

### CD-ROM の取り扱いに注意する



付属の CD-ROM は、ケースに入れて大切に保管してください。火気、高温、湿気を避け、暗く涼しく乾燥したところに保管してください。

## お守りください

### 長時間見るときは、ときどき目を休めてください

長時間連続して画面を見ると目が疲れます。ときどき画面から離れて目を休めてください。

### レンズに何かを張り付けたり、密着させて置いたりしないでください。

高温となってレンズ面が融け、映像不良の原因となることがあります。

### レンズを傷つけないでください

破損や故障の原因となったり、映像不良の原因となることがあります。

- ▶ レンズに硬いものを当てたり、こすったりしないでください。
- ▶ お手入れは市販のレンズクリーニングペーパー（カメラやメガネの清掃用）などを使ってください。

### レンズに直接手を触れないでください

レンズがくもったり、汚れたりすると、映像不良の原因となることがあります。

### リモコンに衝撃をあたえないでください、破損や故障の原因となることがあります。

- ▶ リモコンを投げたり落したりしないでください。
- ▶ 上に乗ったり重い物を載せたりしないでください。

### リモコンをぬらさないでください、故障したり、電池が液漏れする原因となることがあります。

- ▶ 水をかけたり、ぬらしたり、ぬれるところに置いたりしないでください。

### リモコンと本機の受光部の間に物を置かないでください

▶ リモコン送信の障害となって、リモコンが利かないことがあります。

### キャビネットやリモコンの取扱い、お手入れについて

取扱いやお手入れの方法を誤ると、表面が変質したり塗装がはがれることがあります。お手入れは正しい方法で行ってください。

- ▶ 揮発性の薬品や、溶剤、研磨剤、およびスプレーなどは使用しないでください。
- ▶ ゴムやビニール製品を長時間接触させたままにしないでください。
- ▶ 化学雑きんなどのご使用については、その注意書に従ってください。

### プロジェクターを保護してください

本機を高所に配置する場合、確実に固定し、落下やけがを防止してください。本機のレンズへの衝撃、摩擦による損傷や、その他の損傷が起らないように注意してください。本機を保管する必要がある場合、または長期間使用しない場合、必ずレンズカバーを閉じるか、本機をほこりよけカバーで覆ってください。

### 梱包材は大切に保管してください

修理や引越などの輸送には、お買い上げの際に使用されていた梱包材をご使用になり、正しく梱包してください。特にレンズ周りの梱包にはご注意ください。



## 使用上のご注意 (つづき)

## お知らせ

## ●本機の特長について

本機は周囲温度などの影響で、投写位置がずれたり、画面がゆがんだり、フォーカスが変動することがあります。

## ●寿命部品について

光学ユニット（レーザーユニット、DLP<sup>®</sup> チップ等を含む）、および冷却ファンは寿命部品です。長時間お使いになると修理交換が必要になることがあります。

▶毎日6時間以上ご使用になる場合は、3年未満でも寿命部品の交換が必要になることがあります。また6時間以上の連続使用や、短時間でも繰り返しご使用になったりすると、寿命部品の交換サイクルは早くなります。

▶本機を傾けて使用すると、部品の寿命を縮めることがあります。

## ●映像特性について

本機はDLP<sup>®</sup> チップを使用した投写装置です。投写面（スクリーンや壁面など）の特性により、映像の色あいやコントラストが、テレビやコンピュータのモニターとは異なることがあります。故障ではありません。

## ●輝点、黒点について

本機はDLP<sup>®</sup> チップを使用した投写装置です。画面上に輝点（光ったままの点）や黒点（光らない点）が見られることがあります。DLP<sup>®</sup> チップ特有の現象であり、故障ではありません。

## ●結露にご注意ください

本機を、低温の室外から高温の室内に持ち込んだ場合など、本機の内部の投写レンズやミラーに結露が生じ、映像がぼやけたり、見えなくなったりすることがありますが、故障ではありません。

本機が周囲の温度に慣れるに従って露が消え、映像は正常にもどります。

## ●冷却ファンの騒音について

本機は、使用環境に合わせて冷却ファンの回転速度を制御する機能を備えています。周囲の温度が高いと冷却ファンの回転速度も速くなり、騒音も大きくなります。

## ●高地での本機の動作設定

本機を高地で操作する場合、光学システムの寿命が縮む場合があるため、必ず手動で冷却ファンのモードを「高」に設定してください。高地とは高さが1,219メートル以上の場所のことです。

高地モード(49 ページ)を参照してください。

## ●セキュリティ・スロット／バーについて

本機のセキュリティ・スロットおよびセキュリティ・バーは盗難を完全に防ぐものではありません。盗難防止対策のひとつとしてご使用ください。

## ●ノートパソコンとの接続について

ノートパソコンと接続する場合は、ノートパソコンのRGB 外部映像出力を有効（LCD と CRT の同時表示または CRT の設定）にしてご使用ください。詳しくはご使用になるノートパソコンの説明書をご覧ください。

## ●不要輻射について

この製品はクラス A 情報技術装置です。住宅環境で使用する場合は、電波障害を発生させる恐れがあります。その際、この製品の利用者は、適切な手段を講ずることが必要とされることがあります。

●DLP<sup>®</sup> チップについて

DLP チップは、精密部品です。まれに、ピクセルが点灯しない、または点灯したままの場合がありますが、故障ではありません。レンズに直接高出力レーザーを当てますと、DLP チップが故障することがあります。

## ●この製品（付属品を含む）は日本国内でのみ、ご使用になれます。

日本国外ではご使用にならないでください。また、この製品の保証書は日本国内でのみ、有効です。

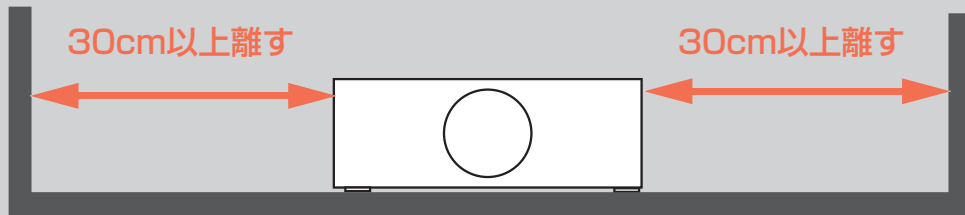
This product (including the accessories) is designed for use in Japan only, and cannot be used in any other countries. The warranty appended to this product is void out of Japan.

## ●電源高調波について

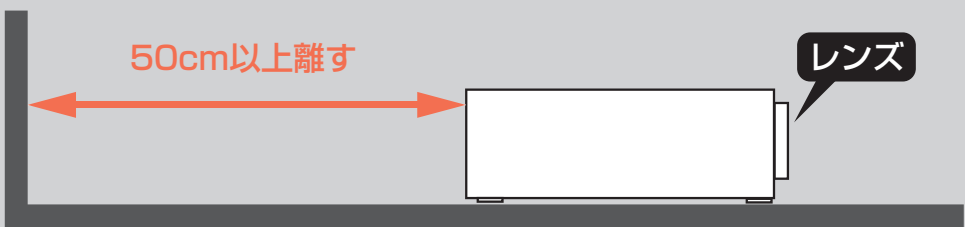
## JIS C 61000-3-2 適合品

JIS C 61000-3-2 適合品とは、日本工業規格「電磁両立性 - 第 3-2 部：限度値 - 高調波電流発生限度値（1相当たりの入力電流が 20A 以下の機器）」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造した製品です。

### プロジェクターの両側に障害物がある場合



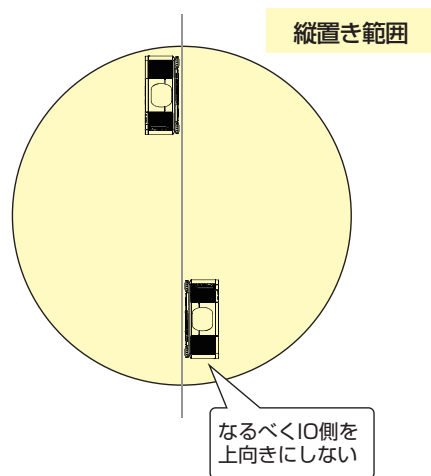
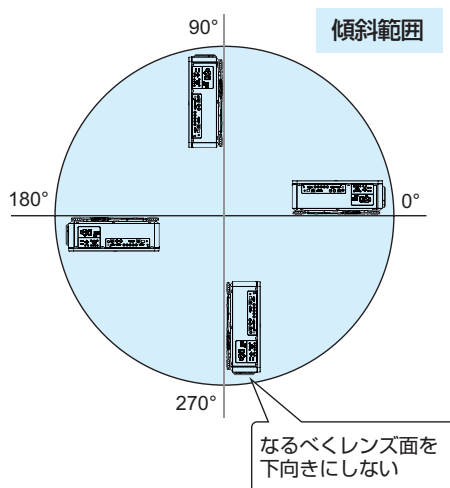
### プロジェクターの背後に障害物がある場合



### 配置の注意

本機は任意の方向(縦置きを含む)に設置できます。ただし、以下の状況では、光学部品の寿命が短くなります。

1. レンズを下に向けてプロジェクターを設置した場合
2. 縦置き時に、IN/OUT 接続側を上に向けてプロジェクターを設置した場合





## 3D に関する注意

- 3D映像の視聴年齢については、およそ5～6歳以上を目安にしてください。
- お子様は3Dメガネで視聴する場合は、必ず保護者が同伴してください。お子様が視聴する場合は、疲労や不快感などに対する反応がわかりにくいいため、急に体調が悪くなる場合がありますので、保護者の方が目の疲れがないか、ご注意ください。
- 3Dコンテンツを視聴する場合、必ずスクリーンの前面から十分に距離をおいて視聴してください。スクリーンの高さの3倍以上、離れることを推奨します。
- 3Dメガネを上下逆に装着して視聴しないでください。右目(眼)と左眼(眼)に映像が正しく表示されず視聴不良や不快感を感じる場合があります。

以下の状況に3Dコンテンツは適しません。現在の症状が悪化する場合があります。

- 感光性てんかんの既往症のある人
- 心臓疾患のある人
- 妊娠中の女性
- 重病の人
- てんかんの発作を起こしたことがある人

以下の状態を引き起こす場合、3Dの視聴を止めるようにしてください。

- 気分が悪くなる、疲労感、不眠、疲労困憊、酩酊状態になる場合。
- 3D画像が二重に見える、または不鮮明に見える。
- 回転、横揺れ、揺動する3Dコンテンツを視聴中、揺れている気分になり、「船酔い」状態に陥る場合があります。
- 3Dコンテンツを長く視聴する場合は、必ず定期的に休憩し、目の疲れを休めてください

## 警告、注意、安全に関する説明

本機は、IEC60825-1 に適合したクラス 1 レーザー製品です。

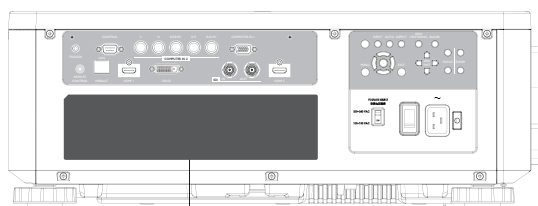
### プロジェクターの光源を直接のぞかない

プロジェクターの電源を入れる場合、光の投写により目に影響しないことを確認してください。光が目にあたらないように常に注意してください。他の光源と同様に、直接光源をのぞきこまないでください(RG2 IEC 62471-5:2015)。



### 製品ラベル

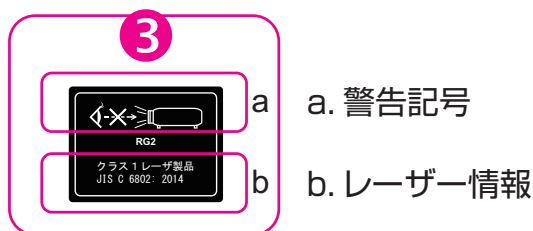
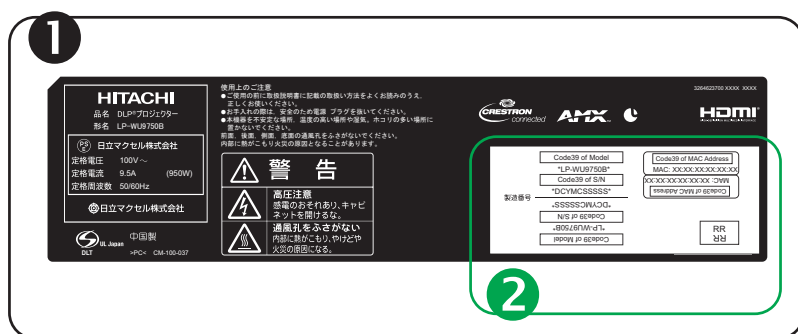
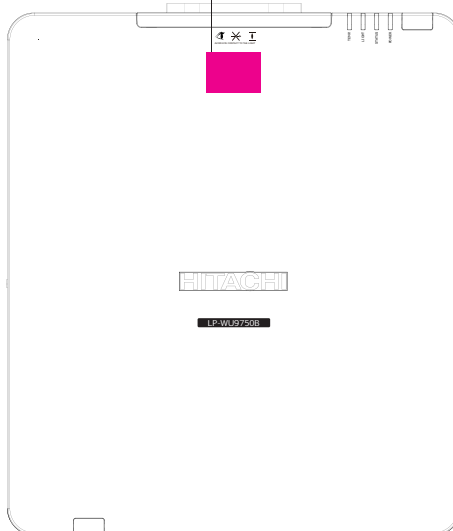
下記の図面に、ラベルの位置が示されています。



①.電気用品表示

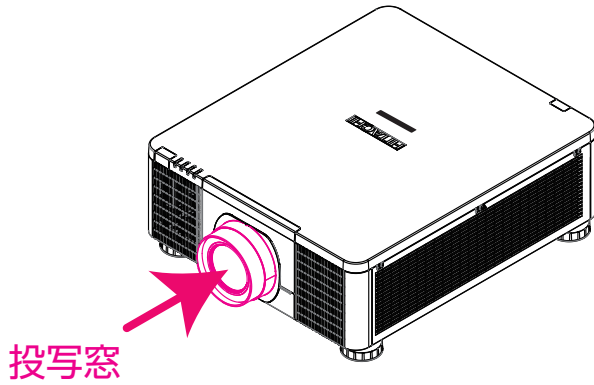
②.シリアルNo.

③.警告記号とレーザー情報



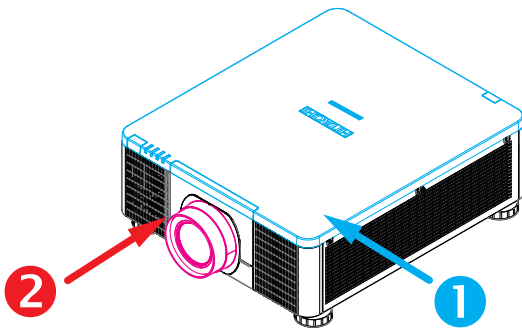
## 投写窓の位置

下記の図に示すのは、投写窓の位置です。目に直接強い光が当たらないように注意してください。



## 連動スイッチ

本機は、レーザー光の漏れを防ぐ連動スイッチを装備しています。



- ① 上部カバーが開かれた場合、スイッチはシステムを電源オフにします。
- ② レンズを取り外した場合、または正しくレンズを取り付けていない場合、システムを停止させます。

## 警告、注意、安全に関する説明

### 製品に含まれる毒性・有害物質／毒性・有害成分の名称と量

電子情報機器に含まれる毒性／有害物質または要素の名称と内容については、以下の表を参照してください。

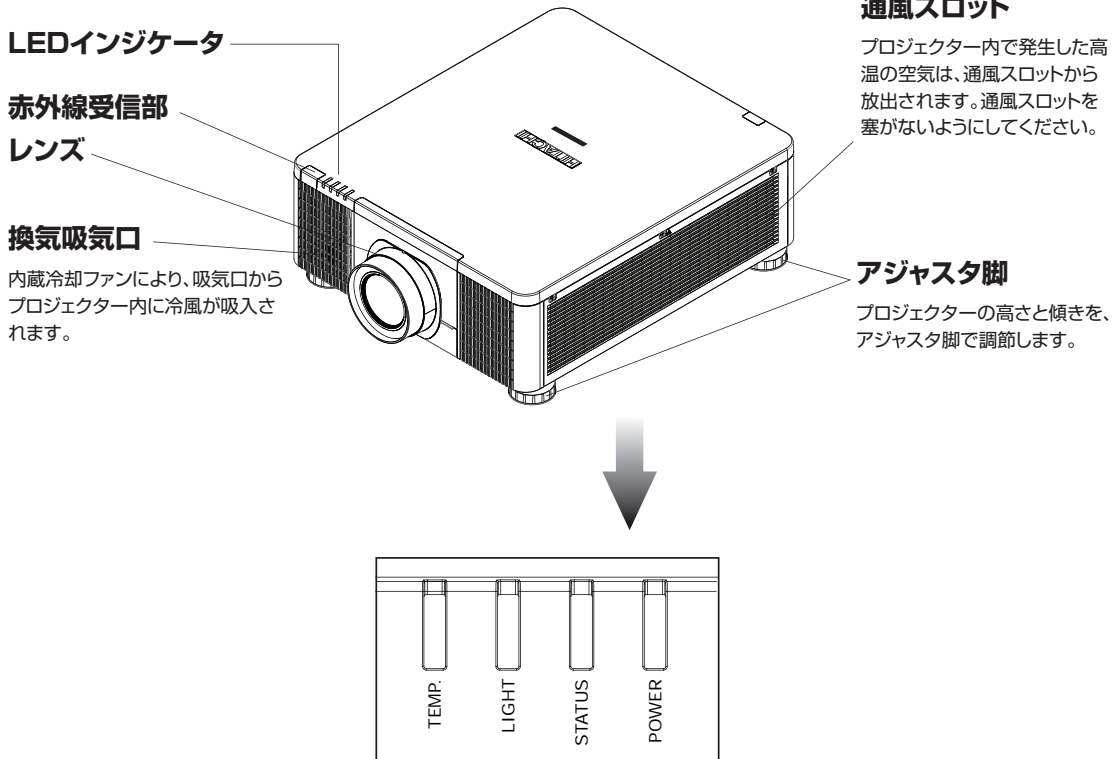
#### 毒性／有害物質または要素の名称と内容の表記形式

部品名	毒性／有害物質と要素					
	鉛 (Pb)	水銀 (Hg)	カドミウム (Cd)	六価クロム (Cr(VI))	ポリ臭化 ビフェニル (PBB)	ポリ臭化 ジフェニル エーテル (PBDE)
光学エンジン	○	○	○	○	○	○
光学モジュール	×	○	○	○	○	○
ファンアセンブリ	×	○	○	○	○	○
メタルブラケット	○	○	○	○	○	○
プラスチックブラケット	○	○	○	○	○	○
金属 (銅ビラー、銅ナットなど)	×	○	○	○	○	○
温度スイッチ	○	○	○	○	○	○
PCB アセンブリ	×	○	○	○	○	○
ケーブル	○	○	○	○	○	○
電源コード	○	○	○	○	○	○
電源端子	○	○	○	○	○	○
リモコン	×	○	○	○	○	○

○：この部品のすべての均質材に含まれる、この毒性または有害物質は、SJ/T11363-2006の限界値要件を下回ることを示す。  
 ×：この部品の1つ以上の均質材に含まれる、この毒性または有害物質は、SJ/T11363-2006の限界値要件を上回ることを示す。  
 (本欄では、今後、実際の状況に基づき「×」を表記する技術的説明が、メーカーから提示される場合がある。)

# プロジェクターの各部の名称と働き

## 正面図



### POWER (電源)

本機の電源の状態を示すインジケータです。

### STATUS (状態)

本機のスタンバイ状態を示すインジケータです。

### LIGHT (光源)

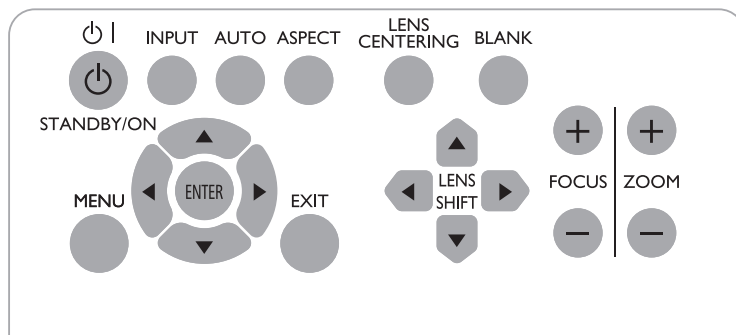
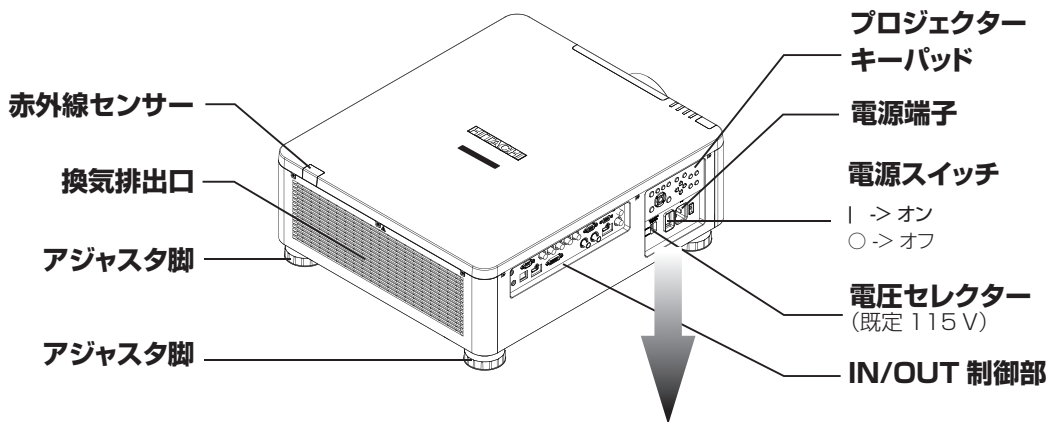
本機の稼働または停止状態を示すインジケータです。

### TEMP. (温度)

本機のエラーメッセージを示すインジケータです。

# プロジェクターの各部の名称と働き

## 背面図



### スタンバイ

プロジェクターの起動と停止に使用します。

### 入力切替

別の入力信号源に切り替える場合に使用します。

### Auto

信号同期を自動調節します。

### アスペクト

アスペクト比を調節します。

アスペクト(45 ページ)を参照してください。

### レンズセンタリング

このボタンを押すと、レンズがセンタリングされ、レンズのシフト、フォーカス、ズームのパラメータがキャリブレーションされます。

### ブランク

このボタンを押すと、ブランク画面が表示されます。

### メニュー

OSD 調節画面を表示/非表示にします。

### ▲▼▶◀ボタン

OSD の項目をスクロール、設定、調節する場合、または別の画像に切り替える場合に使用します。

### ENTER

変更後の設定を確認する場合に押します。

### EXIT

OSD 調節画面を終了する、または一つ前の OSD レベルに戻ります。

### レンズシフト

投写される画像の位置を調節します。

### フォーカス

投写される画像のフォーカスを調節します。

### ズーム

投写される画像をズームイン/アウトします。

# プロジェクターの各部の名称と働き

## COMPUTER IN 2

チャンネル信号源(Hs、Vs)の、5 個の BNC 入力端子に接続します。

## CONTROL

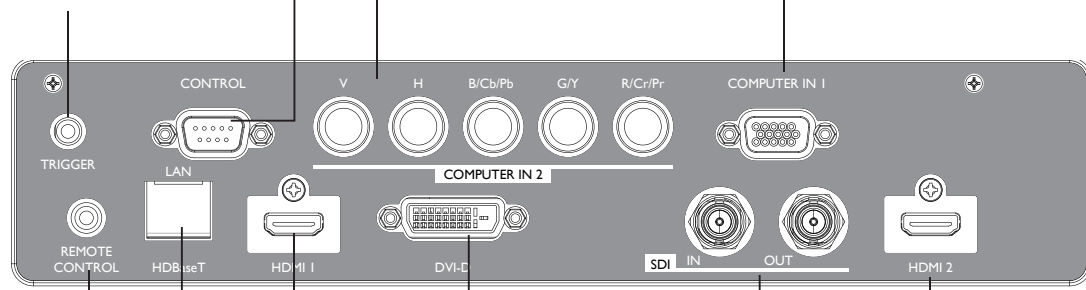
D サブ 9 ピンソケット。PC または自動ホームシアター／制御システムに接続します。

## トリガー

(3.5mm ステレオミニジャック)  
350mA モニターリレー用 12(+/- 1.5)V 出力、短絡保護機能付き。  
未使用時はカバーを装着する。

## COMPUTER IN 1

RGB 高解像度コンポーネント入力または PC に接続する、標準 15 ピン VGA 接続ソケット。入力信号の解像度は、プロジェクターにより自動的に検出されます。



## REMOTE CONTROL

付属のケーブルを使った有線リモートコントロールが可能です。Niles または Xantech IR リピーターシステムで利用できます。

## HDBaseT

HDBaseT は、LAN ケーブルを使って画像、音声、イーサネットやシリアル制御信号を送信する技術です。

## SDI IN/OUT

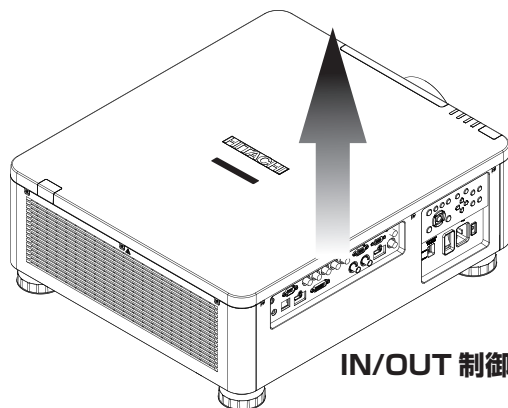
シリアルデジタルインターフェース。BNC コネクトを使って、画像を入出力します。

## HDMI 1 & 2

HDCP 対応デジタル画像入力。HDMI または DVI を使って信号源に接続します。

## DVI-D

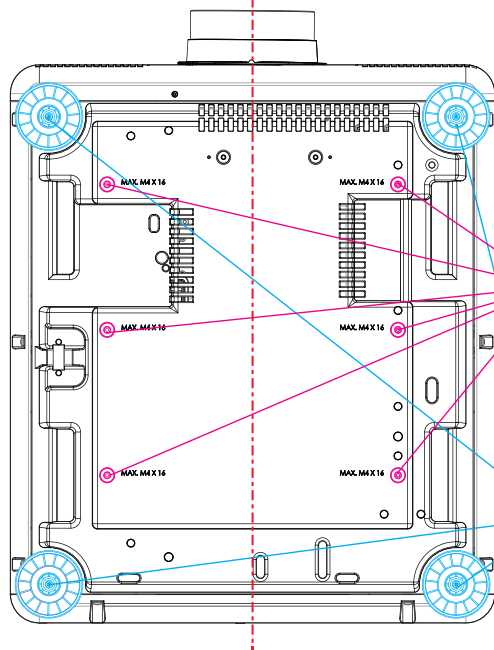
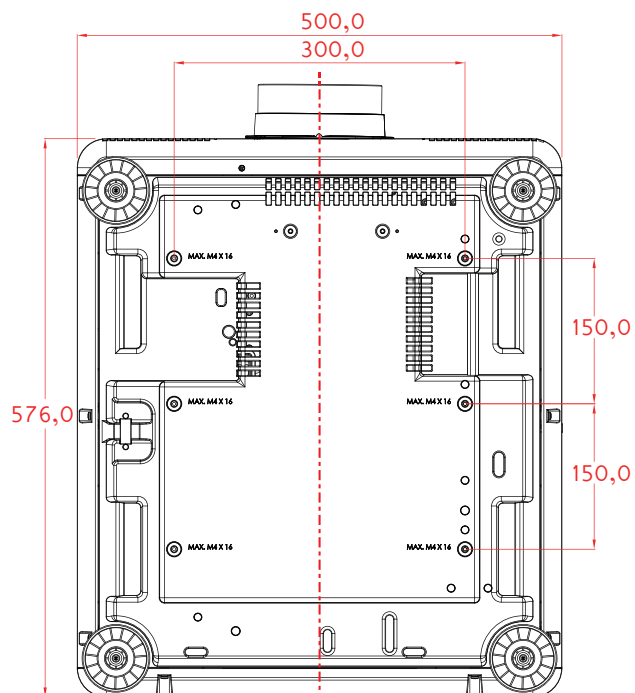
DVI 信号源に接続します。



IN/OUT 制御(入力/出力)

# プロジェクターの各部の名称と働き

## 底面図



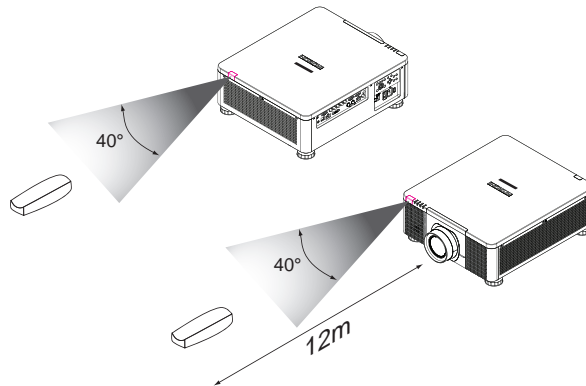
**取付けブラケットのネジ穴**  
プロジェクターを専用の取付け  
ブラケットに取付ける際に、6個  
のM4x16ネジをこのネジ穴に  
さしこみます。ネジ穴の寸法は下  
図に示しています。

**アジャスタ脚**  
プロジェクターの高さと傾きを、  
アジャスタ脚で調節します。



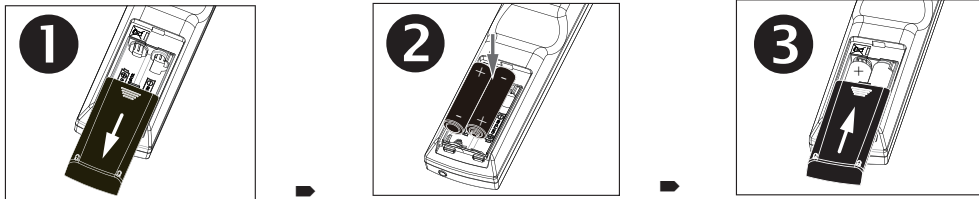
## リモコン信号の有効受光範囲

下記の図に、リモコン信号の有効受光範囲を示しています(未使用の新しい乾電池の場合)。



注意:リモコンは、誤動作の原因となる、高温または高湿の場所に置かないでください。

## リモコンへの電池の取付け



1. 矢印の方向にカバーをスライドさせ、カバーを取り外します。
2. 2個の新品の単3乾電池を入れます(極性に注意)。
3. カバーを取り付けます。

注意1:必ず極性の表示に合わせて、乾電池を取り付けてください。

注意2:使用済みの乾電池と新品の乾電池を同時に使用しないでください。新しい乾電池の寿命が短くなる、あるいは液漏れの原因となる場合があります。

注意3:指示に従って単3型乾電池のみ使用してください。リモコンに別の種類の乾電池を入れないでください。

注意4:長期間リモコンを使用しない場合、必ず乾電池を取り出し、損傷の原因となる液漏れを防いでください。

注意5:乾電池内の液が皮膚に付着すると危険です。素手で直接液に触れないでください。新しい乾電池を取り付ける場合、ケース内の液を完全に拭き取ってください。

注意6:通常の場合、リモコンを画面に向けてだけで、IR信号が画面で反射し、プロジェクターのIRセンサーで感知されます。ただし、環境的な要因により、プロジェクターがリモコンからの信号を受光できない特別な場合があります。このような場合、リモコンをプロジェクターに向け、再度試してください。

注意7:リモコンの有効な受光範囲が狭くなる場合、またはリモコンが動作を停止した場合、乾電池を交換してください。

注意8:赤外線受光部が蛍光灯または強い日光に曝されている場合、リモコンが正常に動作しない場合があります。

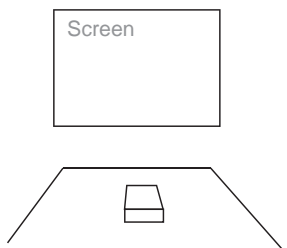
注意9:使用済みの乾電池の廃棄については、各国で施行されている規制を参照してください。不当な廃棄は、環境汚染の原因となります。

## プロジェクターの設置

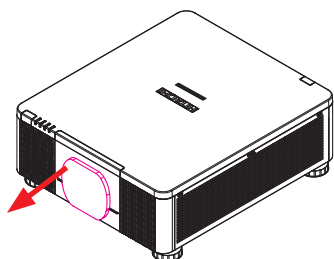
# プロジェクターの設置

設置はお買い上げの販売店か工事業者にご依頼ください。

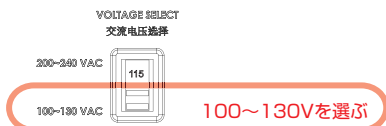
### 1. 本機をスクリーンに向けてます。



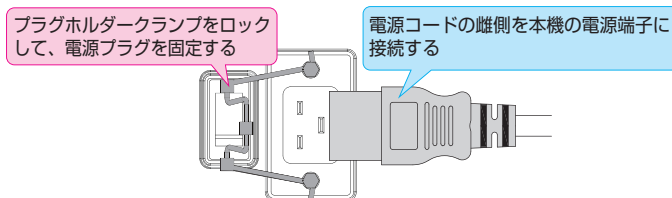
### 2. 本機のレンズのウレタンフォーム材を取り除きます。



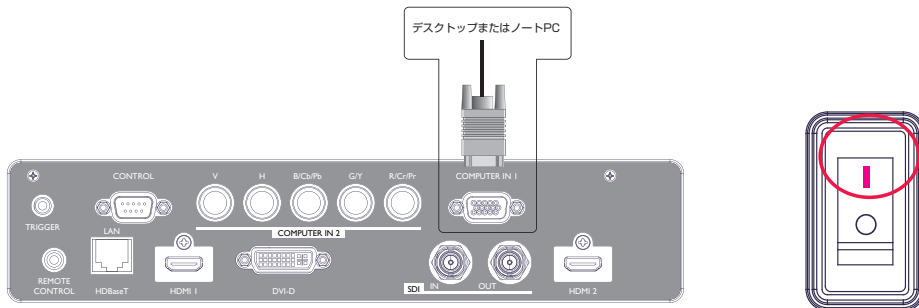
### 3. 使用する場所に合わせて、正しい入力電圧を選択します。



### 4. 電源コードを本機に接続します。



### 5. 本機を PC に接続し、スイッチを「I」に合わせ、電源を入れます。

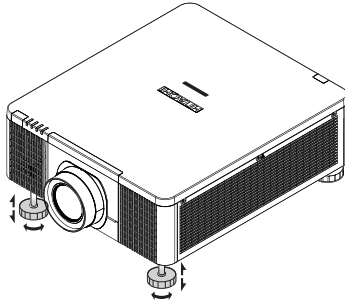


## 6. プロジェクターを起動します。

本機の  ボタン、またはリモコンの  ボタンを押して、本機を起動します。

## 7. プロジェクターの傾き、レンズシフト、ズーム、フォーカスを調節します。


- a. プロジェクターの傾きはアジャスタ脚を使って変更し、スクリーンへの投写に最も適した傾きを決定してください。

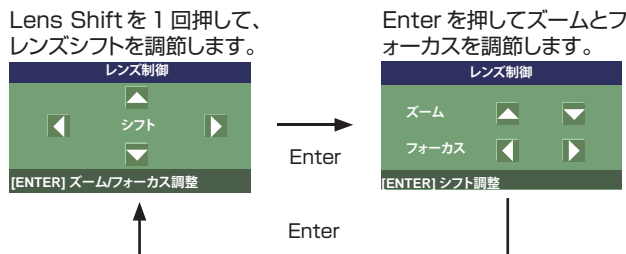





- b. 水平および垂直のレンズシフトでレンズを調節し、レンズのズームとフォーカスを調節します。

方法 1:下記のキーパッドを使用

レンズシフト ▲▼◀▶  
 フォーカス + -  
 ズーム + -

- 方法2:リモコンの  ボタンを押して、Lens Control-Lens Shift にアクセスします。  
 ▲▼◀▶ボタンを使用して、レンズの水平または垂直位置を調節します。次に  
**ENTER** を押して、レンズのズームとフォーカスを調節します。



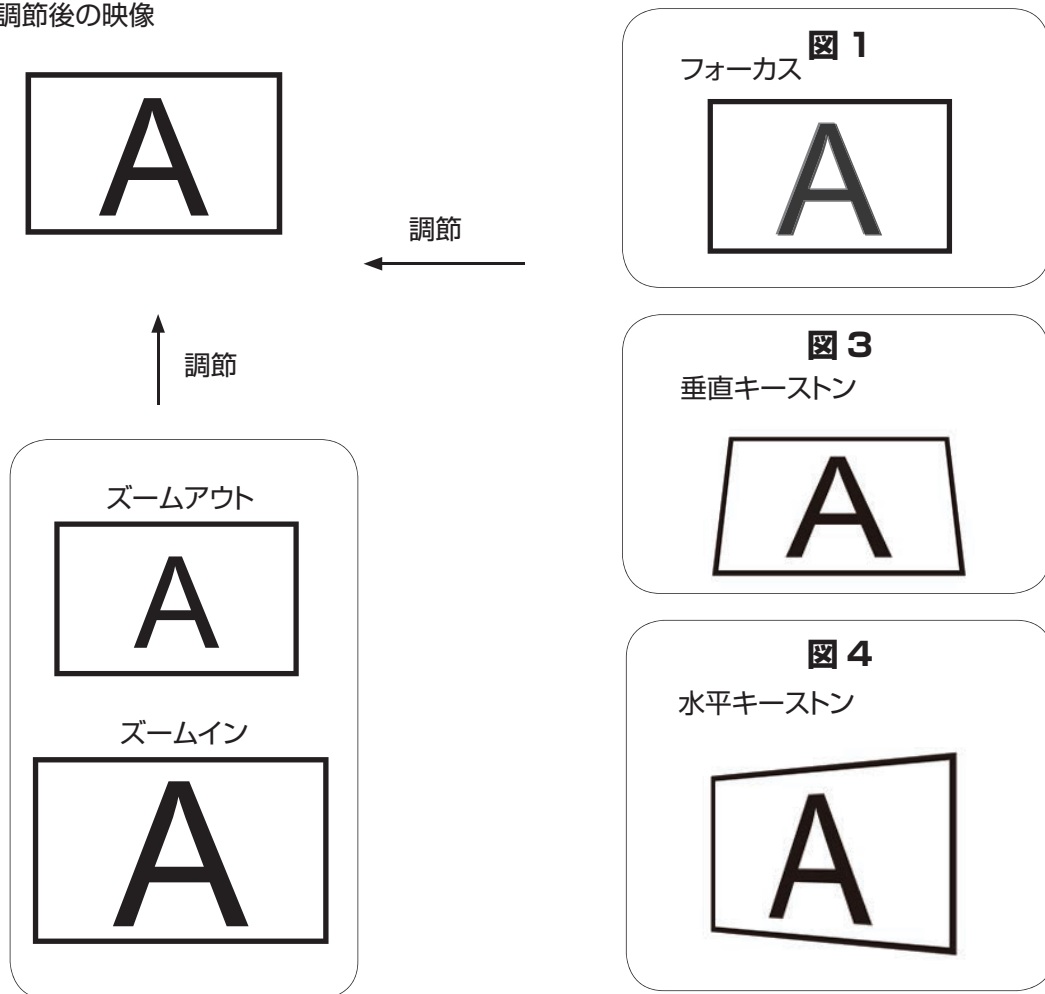
- 方法3:リモコンの  ボタンまたは  キーパッドを押して、Advanced → Lens Control を選択し、次に▲▼◀▶ボタンを使用して、レンズの水平または垂直位置を調節します。ズームとフォーカスを調節する場合、 を押して調節します。

## 8. 投写の傾きによるキーストンの補正します。



- a. キーストンを調節する場合、リモコンの **MENU** ボタンを押して、Advanced → Warping → Keystone adjust を選択し、▼▲ボタンを使用して Vertical Keystone を調節します。次ページの図 3 を参照してください。
- b. キーストンを調節する場合、リモコンの **MENU** ボタンを押して、Advanced → Warping → Keystone adjust を選択して、◀▶ボタンを使用して Horizontal Keystone を調節します。次ページの図 4 を参照してください。

## プロジェクターの設置

調節後の映像

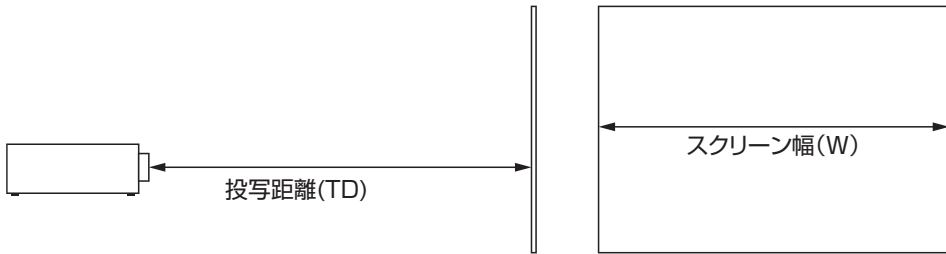


## 9. プロジェクターを停止します。

本機の  ボタン、またはリモコンの  ボタンを押します。スクリーンにメッセージが表示されます。メッセージが表示されている間に、再度ボタンを押します。本機が停止した後も、冷却ファンは約10秒間作動し続けます。

## 投写距離

投写距離(TD)=スクリーン幅(W)×投写比(TR)



市販の映写レンズを使用した場合、以下の投写比が得られます。

- FL-920(FL-900) (0.32 :1 100-350 インチ)
- USL-901 (0.76~0.95 :1 50-600 インチ)
- SL-902 (1.14~1.72 :1 50-600 インチ)
- SD-903 (1.61~2.44 :1 50-600 インチ)
- ML-904 (2.38~3.64 :1 50-600 インチ)
- LL-905 (3.47~5.63 :1 50-600 インチ)
- UL-906 (5.53~8.79 :1 50-600 インチ)

注意:

映写レンズはオプション付属品です。用途に最も適した映写レンズについては、お買い上げ頂いた販売店にお問い合わせください。

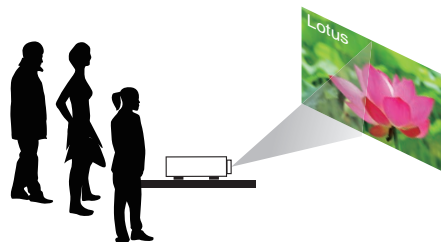
## 設置モード

- 本機は 40° C 未満の場所に設置してください。本機は、熱源や空調の通気孔から遠ざけてください。
- 本機は、モーターや変圧器など、電磁エネルギーを放出する機器から遠ざけてください。電磁エネルギーを放出する機器として、スライドショーシステム、スピーカー、パワーアンプ、エレベーターなどがあります。
- 本機を天井に設置する場合、必ずメーカー認定のベンダーが製造した天井設置用の器具を使用してください。詳細は、お買い上げ頂いた販売店にお問い合わせください。

## 前面投射

長所：設置が簡単、簡単に移動または調節にでき、また操作が簡単。

短所：場所を占有し、着座スペースの確保が制限される。



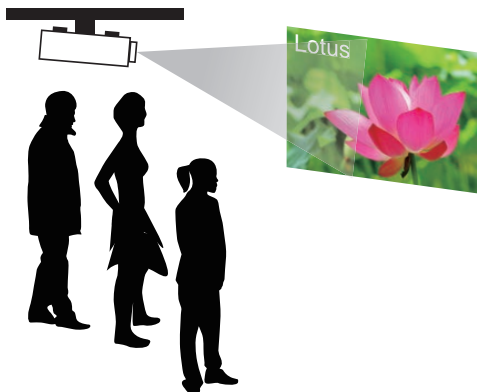
## プロジェクターの設置

### 天吊り前面投射

天吊り前面投射(☞31 ページ)を参照してください。

長所:場所を占有せず、設置が気にならない。  
誤ってプロジェクターを動かす恐れがない。

短所:設置の要件と条件が厳しくなる。本機を安全にマウントするために、十分に注意しながら設置する必要がある。リモコンを使用しなければ、本機を操作しづらい。

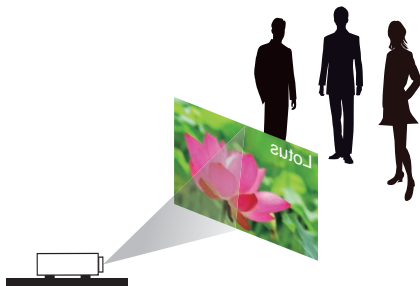


### 背面投射

天吊り前面投射(☞31 ページ)を参照してください。

長所:本機が完全に視野から隠れる。本機を簡単に操作できる。このセットアップでは、通常は周囲の雑音が少なくなる。

短所:設置用の別の部屋が必要。設置コストが比較的高い。

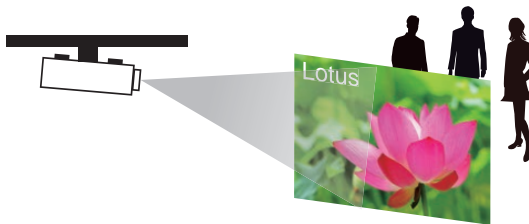


### 天吊り背面投射

天吊り背面投射(☞32 ページ)を参照してください。

長所:本機が完全に視野から隠れる。このセットアップでは、通常は周囲の雑音が少なくなる。

短所:設置用の別の部屋が必要になる。設置の要件と条件が厳しくなる。本機を安全にマウントするために、十分に注意しながら設置する必要がある。リモコンを使用しなければ、本機を操作しづらい。



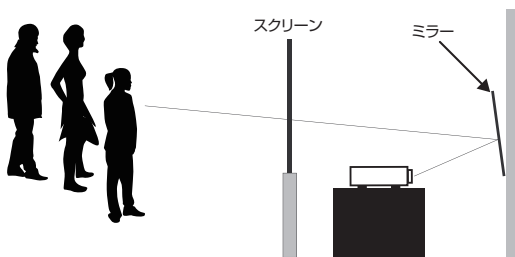
### ミラーによる背面投射

本機の背面のスペースが少ない場所で、背面投射のセットアップが必要になる場合、ミラーを使って光路を反射させます。

ただし、本機とミラーの両方を正確に配置する必要があります。このような設置を検討している場合は、販売店に助言を求めてください。

長所:本機が完全に視野から隠れる。このセットアップでは、通常は周囲の雑音が少なくなる。

短所:設置用の別の部屋が必要。設置コストが比較的高い。

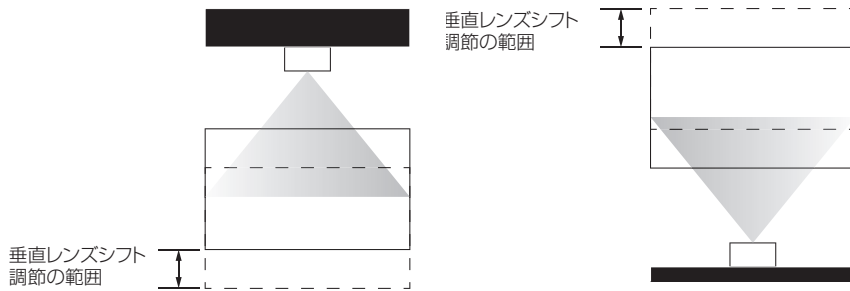


## 水平および垂直レンズシフト

アジャスタ脚で投写の傾きを調節する以外に、投写された映像の調節にはレンズシフト機能も使用できます。

### レンズの垂直移動

レンズの垂直移動の量は、上下にそれぞれスクリーンの高さの +60%、-22% です。例えば、2.15m×1.35m(100")のスクリーンを使用する場合、映像を移動できる量は上に81cm以内、下に29.7cm以内です。



この図に示すのは、特別仕様のレンズあるいはプロジェクターを使用していない、通常の垂直レンズシフトの場合です。

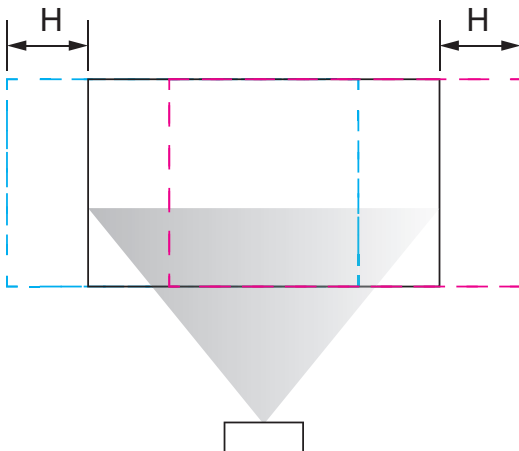
注意:レンズの中心が、スクリーンの中心に対して垂直になっていることを確認してください。

値はSD-903レンズの場合です。

### レンズの水平移動

レンズの水平移動の量は、左右いずれも、スクリーンの幅の10%です。例えば、2.15m×1.35m(100")のスクリーンを使用する場合、映像を移動できる量は左または右に21.5cm以内です。

H: 垂直レンズシフト調節の範囲



この図に示すのは、特別仕様のレンズあるいはプロジェクターを使用していない、通常の水平レンズシフトの場合です。

注意:レンズがニュートラルな位置にある場合(すなわち水平シフトと垂直シフトが行われていない)、投写の中心をスクリーンの中心に揃えてください。

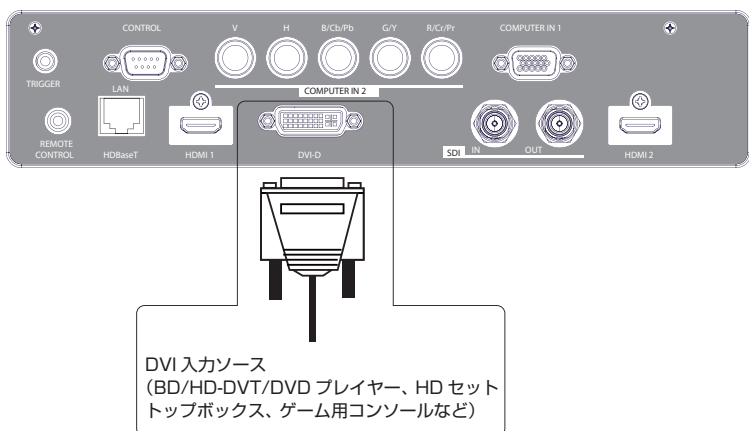
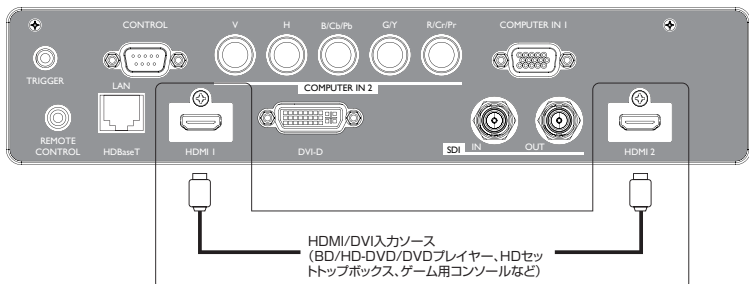
値はSD-903レンズの場合です。

## プロジェクターの設置

### プロジェクターの他の装置との接続

#### HDMI / DVI 接続

映像ソースからの信号が HDMI/DVI を使って送信された場合、最適な投写画質が得られます。このため、映像のソースとして、HDMI/DVI 端子に入力装置を接続するようにしてください。



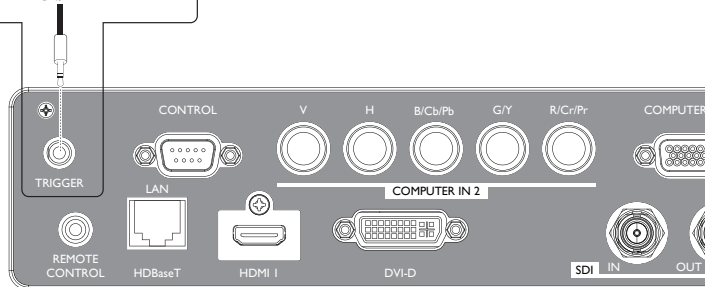
#### 12V トリガー接続

ホームシアターシステムにプロジェクタースクリーン、スクリーンカバー、その他の 12V トリガー機器が含まれている場合、このような装置／機器を、図に示すようにプロジェクターの 12V トリガー端子に接続してください。

接続後、プロジェクターを起動すると、自動的にスクリーンが降下します。

トリガー(📖57 ページ)を参照してください。

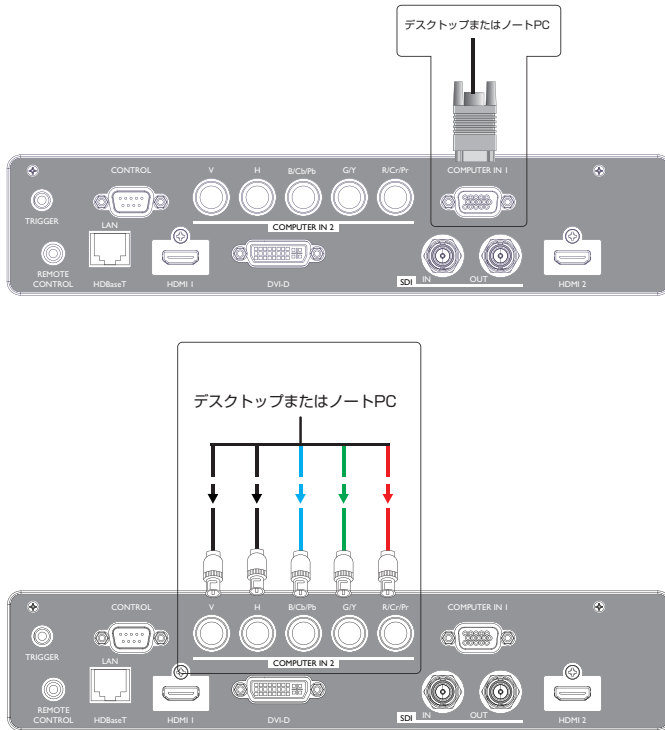
ロールアップ式スクリーンまたは  
その他の12V装置





## RGB 接続

RGB 出力端子のある PC やその他の装置を、本機の RGB 入力コネクタに接続し、映像入力のソースとして使用します。



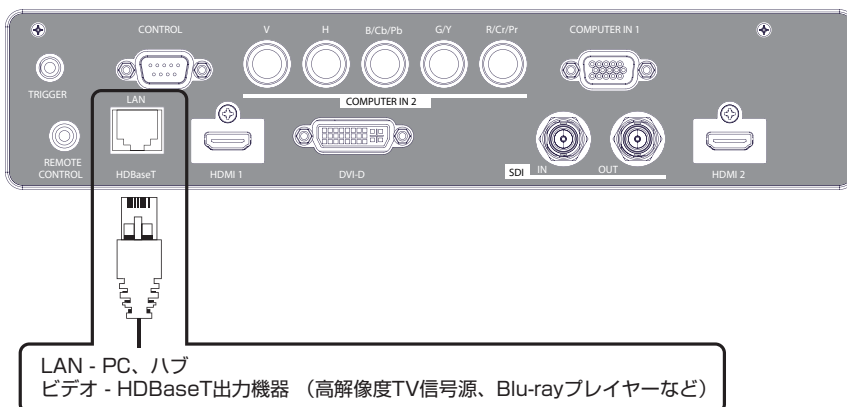
## HDBaseT 接続

HDBaseT は、LAN ケーブルを使用して画像信号を送信する技術です。

**LAN 接続** - このコネクタを LAN (RJ-45) 機能として使用する場合。コンピュータまたはハブにコネクタを接続します。正しい IP アドレス、または本機のホスト名と同一のコンピュータのホスト名を入力します。この後、インターネットを経由して、本機を遠隔から制御できます。

**ビデオ信号** - このコネクタをビデオ信号入力として使用する場合。HDBaseT 出力機器 (高解像度 TV 信号源、Blu-ray プレイヤーなど) に、コネクタを接続します。

使用できる LAN ケーブルは、最長 100m です。この長さを超えると、画像が劣化し、さらに LAN 伝送の不具合も発生します。

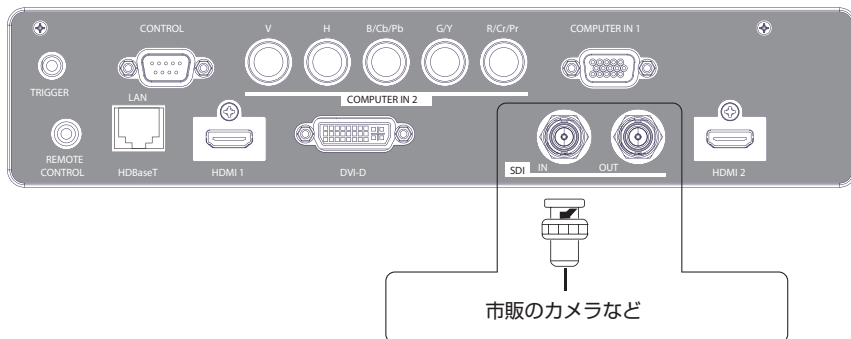


## プロジェクターの設置

### SDI 接続

本機は、SDI コネクタを内蔵する他の機器にも接続できますが、本機が正しく機能しない機器が一部にあります。

画像を正しく送信するには、5CFB 以上(5CFB、7CFB など)、または Belden 1694A 以上のケーブルを使用します。100m 以下の長さのケーブルを使用します。

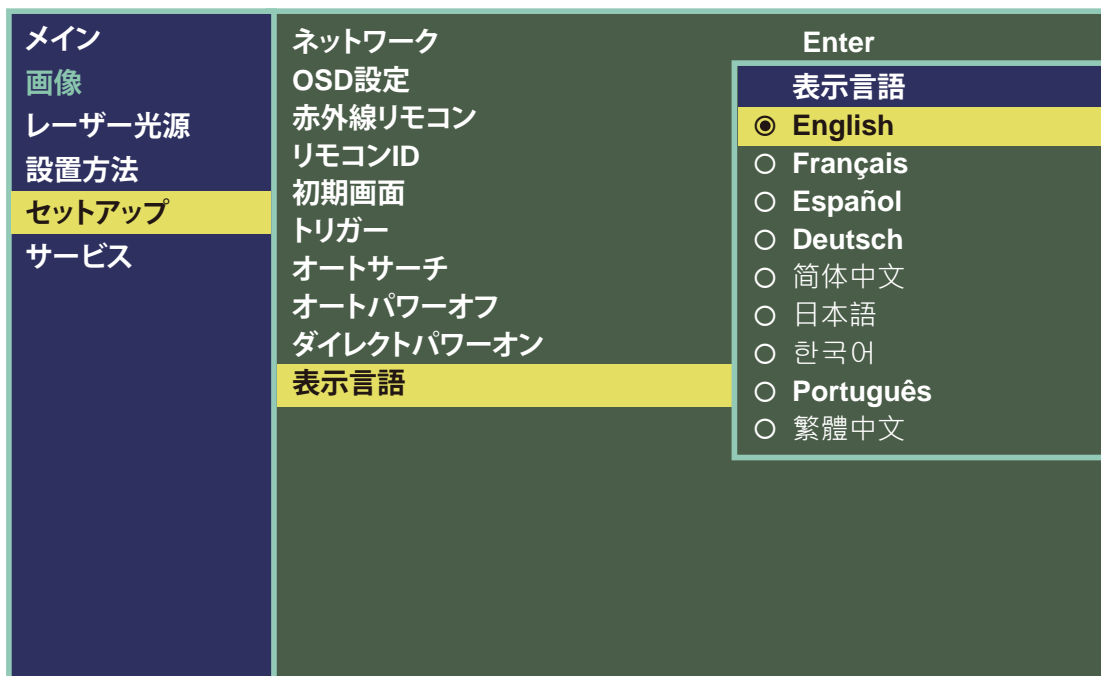


### プロジェクターの起動

プロジェクターの設置(22 ページ)を参照してください。

### OSD 言語の変更

工場出荷時の既定では、本機の OSD メニューは英語で表記されます。別の言語に切り替える場合、MENU → セットアップ → 表示言語 に進み、OSD に使用する言語を選択します。



## スクリーンの向きの調節

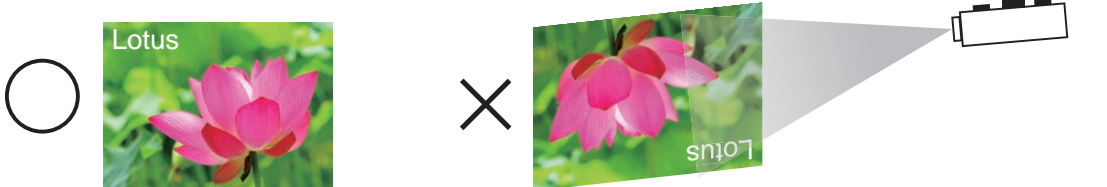
初期設定で、本機は「前面投射」に設定されています。本機を他のセットアップで設置する場合、必ずスクリーンの向きを調節し、投写モードを正しく設定してください。

メイン	設置方法	背面投射
画像	レンズ制御	Enter
レーザー光源	レンズメモリー	Enter
設置方法	レンズセンタリング	Enter
セットアップ	ガンマ	2.2
サービス	パターン	Enter
	カラーマネージメント	Enter
	ワーピング	Enter
	ブランキング	Enter
	エッジブレンディング	Enter
	メモリー	Enter
	ダイナミックブラック	オフ

### 天吊り前面投射

MENU → 設置方法 → 設置方法 → 天吊り前面投射を選択し、オンを選択します。本機は「天吊り前面投射」に設定されます。

#### 正しい映像



### 背面投射

MENU → 設置方法 → 設置方法 → 背面投射を選択し、オンを選択します。本機は「背面投射」に設定されます。

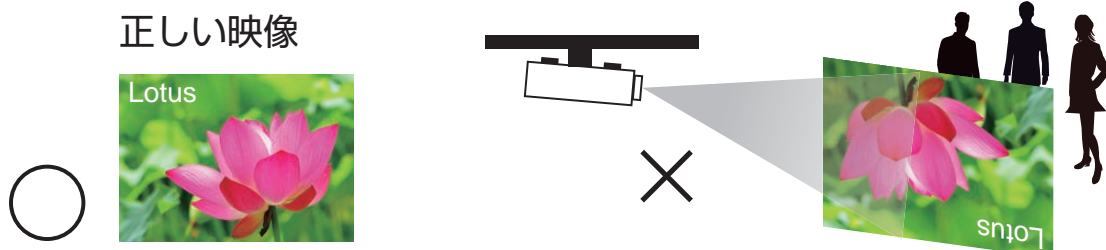
#### 正しい映像



## プロジェクターの設置

### 天吊り背面投射

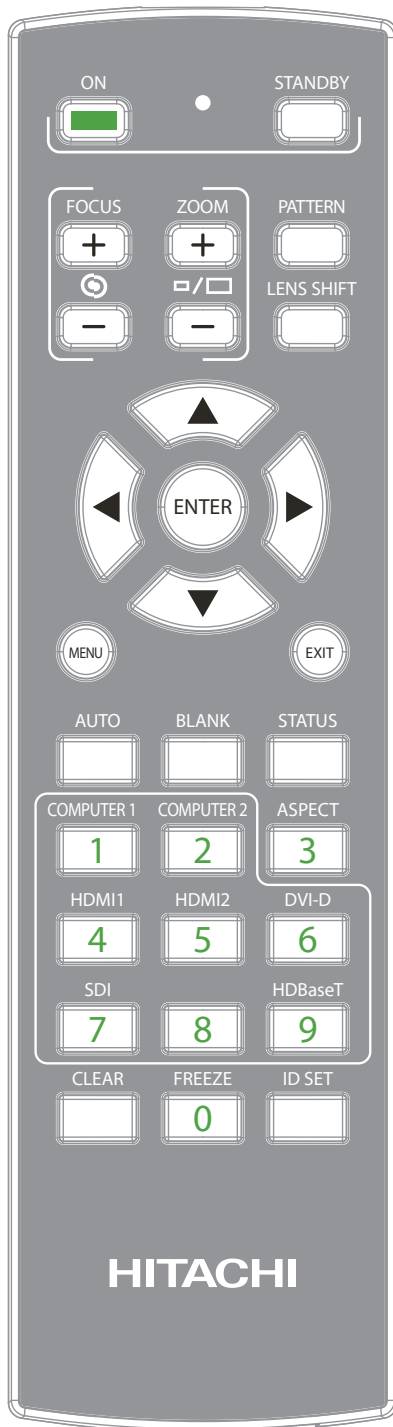
MENU → 設置方法 → 設置方法 → 天吊り背面投射を選択し、オンを選択します。本機は「天吊り背面投射」に設定されます。





### プロジェクターのレンズの調節


本機のレンズは、フォーカス、ズーム、水平／垂直画像シフトを調節できます。詳細は、7. プロジェクターの傾き、レンズシフト、ズーム、フォーカスを調節します。(P23 ページ)および 8. 投写の傾きによるキーストンの補正します。(P23 ページ)を参照してください。


## リモコン





1. **ON** 


本機を起動する場合に使用します。
2. **OFF** 


本機を停止する場合に使用します。
3. **フォーカス** 


画像のフォーカスを調節します。
4. **ズーム** 


画像のズームを調節します。
5. **パターン** 


このボタンを繰り返し押して、別のテストパターンを選択します。
6. **レンズシフト** 


このボタンを繰り返し押して、レンズのフォーカス、ズームを調節し、中央に制御します。
7. **矢印キー** 


これらのボタンは、選択、設定、設定の調整、映像表示の切り替えに使用します。
8. **ENTER** 


このボタンを使用して、メニューの項目を選択する、または変更した設定を確認します。
9. **メニュー** 


このボタンを押して、OSDメニューを表示／非表示にします。
10. **EXIT** 


このボタンを押して、OSDメニューを終了、非表示にする、またはOSDメニューの1つ前のレベルに戻ります。
11. **オート** 


映像の再同期に使用します。映像信号が安定しなくなる場合、または画質が劣化した場合に、このボタンを押すと自動的にスクリーンの次元、位相、タイミングなどが調節されます(この調節はPinP入力にも適用されます)。
12. **ブランク** 


ホワイトボードに投写され、ホワイトボード上に何かを書く必要がある場合に使用します。このボタンを押すと、本機からの投写が停止し、目を保護します。
13. **ステータス** 


本機の情報を表示します。OSD -> Service と同じ機能です。
14. **アスペクト** 


このボタンを繰り返し押し、別のアスペクト比にスクロールします。アスペクト(45 ページ)を参照してください。
15. **COMPUTER 1** 

入力信号源 - Computer 1 を選択するホットキー。
16. **COMPUTER 2** 

入力信号源 - Computer 2 を選択するホットキーです。
17. **HDMI 1** 

入力ソース - HDMI 1 を選択するホットキーです。
18. **HDMI 2** 


入力ソース - HDMI 2 を選択するホットキーです。
19. **DVI-D** 


入力ソース - HDMI 2 を選択するホットキーです。
20. **SDI** 


入力信号源 - SDI を選択するホットキーです。

# リモコン

21. **HDBaseT**    
 入力ソース - HDBaseTを選択するホットキーです。

22. **静止**    
 このボタンを押して、投写画像を静止させます。音声は停止しません。画像にのみ影響します。


23. **数字キー(0-9)**    
 これらのボタンが数字キーとして使用される場合、ID 設定にのみ使用できます。

24. **ID設定**    
 この機能は、本機およびリモコンのIDの設定に使用されます。本機のIDには、01～99を設定できます。別のIDを設定した後、リモコンでプロジェクターを1台しか制御できなくなります。他のプロジェクターを制御できません。

「ID設定」と「メニュー」を同時に5秒間押しと、リモコンのバックライトが1回点滅し、ID設定モードに移行します。「ID設定」と「メニュー」を同時に5秒間押し（バックライトが1回点滅）、ID設定モードを解除します。

ID設定モードに移行した後、「ID設定」を3秒間押しします。リモコンのLEDランプが点滅し始め、リモコンのバックライトが点灯します。0～9の数字を押して、本機のIDを設定できるようになります。例1：「0」を1秒間押し（LEDランプが3回点滅）、次に「1」を1秒間押しと（LEDランプが3回点滅してからバックライトが消える）、本機のID 01を設定できます。例2：「1」を1秒間押ししてから、「9」を1秒間押しします。プロジェクターのID 19を設定できます。

注意:この機能は、装置が初期値に00を設定している場合は使用できません。

25. **消去**    
 「ID設定」と「消去」を5秒間押し(リモコンのバックライトが1回点滅)、ID設定の設定を解除します。

## リモコンバックライト

LEDランプ



## OSDメニューツリー

第1層	第2層	第3層	第4層	選択内容
メイン	入力			HDMI1 / HDMI2 COMPUTER IN 1 / COMPUTER IN 2 HDBaseT / SDI / DVI-D
		PinP		オン/オフ
	PinP 入力			HDMI1 / HDMI2 COMPUTER IN 1 / COMPUTER IN 2 HDBaseT / SDI / DVI-D
		PinP 位置		左上 / 右上 左下 / 右下 PbyP
	色空間			自動 REC709 / REC601 RGB PC / RGBVideo
		3D	3D フォーマット	
	アイスワップ			ノーマル/リバース
	DLP Link			オン/オフ
	拡大			0 ~ 100
	Digital Zoom & Shift	水平シフト		-480 ~ 480(ダイナミック)
		垂直シフト		-300 ~ 300(ダイナミック)
		リセット		(実行)
	無信号表示			ロゴ/黒 青/白

第1層	第2層	第3層	第4層	選択内容
画像	ピクチャーモード			ハイブライト/プレゼンテーション ビデオ
		輝度		0 ~ 200
	コントラスト		0 ~ 200	
	色の濃さ		0 ~ 200	
	色あい		0 ~ 200	
	シャープネス		0 ~ 20	
	ノイズリダクション		0 ~ 3	
	色温度			5400K / 6500K 7500K / 9300K ネイティブ
		ホワイトバランス	赤オフセット	
	緑オフセット			0 ~ 200
	青オフセット			0 ~ 200
	赤ゲイン			0 ~ 200
	緑ゲイン			0 ~ 200
	アスペクト			4:3 / 16:10 16:9 / ノーマル ネイティブ
		オーバーサキャン		
	位置と位相		垂直位置	
		水平位置		0 ~ 200(ダイナミック)
		クロック位相		0 ~ 200
		水平サイズ		0 ~ 200(ダイナミック)
自動画像			(実行)	

第1層	第2層	第3層	第4層	選択内容
レーザー光源	パワーモード			エコ/ノーマル/カスタム
	電力レベル			20% ~ 100%
	高地モード			ノーマル/高地 1 / 高地 2 / オート

# OSD メニューの説明

第 1 層	第 2 層	第 3 層	第 4 層	選択内容
	設置方法			前面投射 / 天吊り前面投射 背面投射 / 天吊り背面投射
	レンズ制御			ズーム / フォーカス シフト
		ロード		メモリ 1 / メモリ 2 メモリ 3 / メモリ 4 メモリ 5
	レンズメモリー	セーブ		メモリ 1 / メモリ 2 メモリ 3 / メモリ 4 メモリ 5
		クリア		メモリ 1 / メモリ 2 メモリ 3 / メモリ 4 メモリ 5
	レンズセントリング			(Execute)
	ガンマ			1.0 / 1.8 / 2.0 / 2.2 / 2.35 / 2.5 / DICOM SIM.
	パターン	カーソルボタンによる OSD メニューの選択 EXIT ボタンによるエ スケープ		白 / 黒 / 赤 緑 / 青 / 格子 クロス模様 / V パースト H パースト / カラーバー
	カラーマネージメント	赤 / 緑 / 青 シアン / マゼンタ 黄	色相 彩度 輝度	0 ~ 200 0 ~ 200 0 ~ 200
		ホワイト	赤輝度 緑輝度 青輝度	0 ~ 200 0 ~ 200 0 ~ 200
		キーストン		水平 -600 ~ +600 垂直 -400 ~ +400
		回転		-100 ~ 100
		ピンクッション / 樽型歪み		水平 -150 ~ 300 垂直 -150 ~ 300
設置方法	ワーピング	左上コーナー		192 < X < -192 120 < Y < -120
		右上コーナー		192 < X < -192 120 < Y < -120
		左下コーナー		192 < X < -192 120 < Y < -120
		右下コーナー		192 < X < -192 120 < Y < -120
		リセット		(Execute)
	ブランキング	上		0 ~ 360
		下		0 ~ 360
		左		0 ~ 534
		右		0 ~ 534
		リセット		(Execute)
		ステータス		オン / オフ
		ブレンディング領域	上 / 下 左 / 右	0 / 100 ~ 500 0 / 100 ~ 800
	エッジブレンディング	ブレンディングレベル	上 / 下 左 / 右 オール / 赤 緑 / 青	0 ~ 32 0 ~ 255
		リセット		(Execute)
		調整ライン表示		オン / オフ
	メモリー	ロード		プリセット A / プリセット B / プリセット C プリセット D / 初期設定
		セーブ		プリセット A / プリセット B プリセット C / プリセット D
		クリア		プリセット A / プリセット B プリセット C / プリセット D
	ダイナミックブラック			オン / オフ



## OSD メニューの説明

第 1 層	第 2 層	第 3 層	第 4 層	選択内容
セットアップ	ネットワーク	ネットワークモード		プロジェクター制御 / サービス
		待機電源		オン / オフ
		DHCP		オン / オフ
		IP アドレス		XXX.XXX.XXX.XXX
		サブネットマスク		XXX.XXX.XXX.XXX
		ゲートウェイ		XXX.XXX.XXX.XXX
		DNS		XXX.XXX.XXX.XXX
		MAC アドレス		XXX.XXX.XXX.XXX
		OSD 設定	メニュー位置	
	表示時間			常時オン / 10 秒 30 秒 / 60 秒
	メッセージボックス			オン / オフ
	赤外線リモコン			オン / オフ
	リモコン ID			0 ~ 99
	初期画面		オン / オフ	
	トリガー		スクリーン / 4:3 / 16:10 16:9	
	オートサーチ		オン / オフ	
	オートパワーオフ		オン / オフ	
	ダイレクトパワーオン		オン / オフ	
	表示言語			English / Français / Español
				Deutsch / 简体中文 / 日本語
				한국어 / Português / 繁體中文
	AMX D.D.			オン / オフ

第 1 層	第 2 層	第 3 層	第 4 層	選択内容
サービス	モデル			
	シリアル番号			
	ソフトウェアバージョン 1			
	ソフトウェアバージョン 2			
	入力ソース			
	信号フォーマット	タイミング		
		水平周波数		
		垂直周波数		
		ピクセルクロック		
	レーザー使用時間			
	温度情報	吸気温度		
		DMD 温度		
		レーザー温度		
	レンズタイプ	1:USL-901		
		2:SL-902		
		3:SD-903		
		4:SD-903W		
5:ML-904				
6:LL-905				
7:UL-906				
8:FL-920				
工場出荷設定	(Execute)			

# OSD説明

1. リモコンまたは本機横のMENUボタンを押すと、OSDメニューが表示されます。
2. 6つの機能別メニュー(メイン、映像、レーザー光源、設置方法、セットアップ、サービス)が表示されます。
3. ▲または▼を押して、必要なサブメニューを選択します。
4. 各サブメニューの現在の選択内容が、オレンジ色で強調された黒文字で表示されます。▶またはENTERを押して、選択した項目の設定を表示するか、ENTERを押して別のサブメニューに移動します。
5. MENUを押すと、1つ前のメニューに戻ります。
6. メインメニューで、MENUを押し、OSDメニューを終了します。
7. ソース、入力信号、メニュー設定の条件により、一部の項目が起動しません。
8. パラメータの値が超過する場合、映像が間違っている可能性があります。

## メイン

メイン	入力	DVI-D
画像	PinP	オフ
レーザー光源	PinP入力	HDMI 2
設置方法	PinP位置	右上
セットアップ	色空間	自動
サービス	3D	Enter
	Digital Zoom & Shift	Enter
	無信号表示	ロゴ

## 入力

この機能は、リモコン上のホットキーと同じです。リモコンまたはこの機能から、正しい入力ソースを選択できます。

- **HDMI1/HDMI2**  
PCまたはメディア装置からのHDMI入力。
- **Computer In 1**  
PCからのアナログRGB。
- **Computer in 2/5BNC**  
メディア装置からのアナログインタフェース。
- **HDBaseT**  
RJ45からの非圧縮デジタルビデオ。
- **SDI**  
シリアル接続(同軸)からの非圧縮デジタルビデオ。
- **DVI-D**  
PCからのDVI入力。

## PinP

PinP映像(ピクチャーインピクチャー)を表示する場合、ここで設定できます。「オン」を選択すると、投写された映像に2つのウィンドウが表示されます。大きいウィンドウはメイン映像、小さいウィンドウはサブ映像です。「オフ」を選択すると、PinP機能が無効になり、ひとつの映像ウィンドウのみ表示されます。

\*PinPがオンの場合に選択可能なメインソースおよびPinPソースについては、以下のメインおよびPinPソース配列を参照してください。\*

PinP/メイン ソース対応表		メインソース内容						
		COMPUTER IN 1	COMPUTER IN 2	HDMI 1	HDMI 2	DVI-D	HDBaseT	SDI
PinP ソース内容	COMPUTER IN 1			V		V	V	
	COMPUTER IN 2			V		V	V	
	HDMI 1	V	V		V			V
	HDMI 2			V		V	V	
	DVI-D	V	V		V			V
	HDBaseT	V	V		V			V
	SDI			V		V	V	

V印 -> 選択可  
空白 -> 選択不可

## PinP 入力

この機能でサブ映像の入力ソースを選択します。詳細は 入力(38 ページ)を参照してください。



## PinP位置

メイン映像の上の5か所の好きな位置に、サブウィンドウを表示できます。



## OSD メニューの説明

### 色空間

メインメニューから色空間を選択し、HDMI、COMPUTER IN、コンポーネントの接続にソース信号のカラースペースを選択します。

初期設定「自動」は、以下のように機能します。

- **自動**

自動設定は、自動的に使用される適切なカラースペースを決定します。HDMI入力の場合、この決定は入力信号で搬送されるAVIインフォフレームに基づきます。他の入力ソースでは、入力信号のタイミングフォーマットに基づき決定されます。PC/ITフォーマットの場合、RGBカラースペースが使用され、CE/ビデオフォーマットの場合はREC601またはREC709が使用されます。何らかの理由で、オート設定で入力ソース信号に合った適切なカラースペースが決定されない場合、特定のカラースペースの使用を指定できます。以下のいずれかを選択します。

- **REC709**

ITU-R BT.709で定義されるカラースペース配列に設定します。

- **REC601**

ITU-R BT.601で定義されるカラースペース配列に設定します。

- **RGB PC**

RGBカラースペースを使用し、黒を0,0,0 RGBに、白を255,255,255 RGBに設定します。

- **RGB Video**

RGBカラースペースを使用し、黒を16,16,16 RGBに、白を235,235,235に設定します。

注意:SDI入力を選択されている場合、この機能は利用できません。

### 3D

3Dビデオの各値を設定します。

- **3Dフォーマット**

初期設定は「自動」です。3D画像が表示されない場合、入力信号に3D検出信号が含まれていない、またはプロジェクターで検出されないことを意味します。この場合、正しい3Dフォーマットを手動で選択する必要があります。オフ/自動/サイドバイサイド(ハーフ)/トップ/ボトム/フレームシーケンシャルから選択できます。

- **アイズワップ**

「ノーマル」または「リバース」を選択して、正しい映像を表示します。

- **DLPLink**

本機はDLPリンクグラス装着にのみ対応します。3DグラスがDLPリンクフォーマット以外の場合、この機能を「オフ」に設定します。

### Digital Zoom & Shift

- 拡大:投写された映像をズームインします。
- 水平シフト:投写された映像を水平にシフトします。
- 垂直シフト:投写された映像を垂直にシフトします。
- リセット:Digital Zoom & Shiftのすべての設定を消去します。

### 無信号表示

この機能は、入力信号が投写されない場合、ブランクスクリーンに表示されるコンテンツまたは色を指定する場合に使用します。ロゴ、青、黒、白から選択できます。デフォルト値はロゴです。

## 画像

メイン	ピクチャーモード	ビデオ
画像	輝度	100
レーザー光源	コントラスト	100
設置方法	色の濃さ	100
セットアップ	色あい	100
サービス	シャープネス	10
	ノイズリダクション	0
	色温度	5400K
	ホワイトバランス	Enter
	アスペクト	ノーマル
	オーバースキャン	オフ
	位置と位相	Enter
	自動画像	実行

### ピクチャーモード

◀▶を使って、表示モードを選択します。

#### ・ハイブライト

本機を周囲光の高い条件で使用する場合、このモードを選択すると、高輝度映像が投射されます。

#### ・プレゼンテーション

本機がプレゼンテーションを行う室内にある場合、このモードを選択できます。このモードの輝度は、高輝度とビデオから選択します。

#### ・ビデオ

本機を周囲光の少ない条件で使用する場合、このモードを選択すると、省電力および画質の最適化が可能になります。

### 輝度

◀▶を使って、投写される画像の輝度を調節します。外部映像ソースに本機を接続し、図に示す映像(PLUGE: Picture Line-Up Generation Equipment)を、調節時に表示します。PLUGE映像は多くのバージョンがありますが、通常は黒の背景の上に黒、白、グレーのブロックが積み上げられます。

## OSD メニューの説明

映像は以下の状態になるように調節することをお勧めします。

- 映像の最も暗い黒いバーが背景と区別できない。
- 暗いグレー領域はかるうじて見える。
- 明るいグレー領域は明確に見える。
- 白の領域がリアルに、やわらかく見える。
- 映像に黒、グレー、白のみが写る(他の色は写らない)。

コントラスト、輝度、色、色あいは、相互に影響する相関オプションです。いずれかを調節すると、投写を最適化するために他の設定も微調整する必要があります。

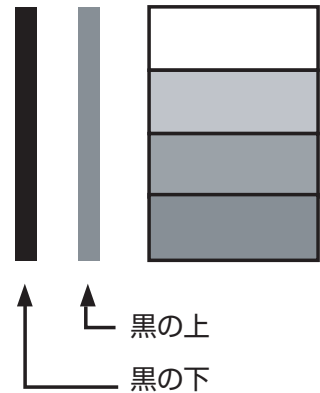


図5の映像は、ランダム映像を使って直接輝度を調節した結果を示しています。

## コントラスト

◀▶を使って、投写される映像のコントラストを調節します。外部映像ソースに本機を接続し、下記に示す映像を表示して調整します。投写した映像を下記に示す結果に合わせて調整し、全体を通じてスペクトルの輝度を一定に保ち、白黒の最大コントラストを達成することが推奨されます。

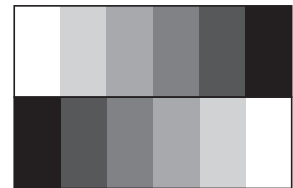


図6の映像は、ランダム映像を使って直接コントラストを調節した結果を示しています。

## 色の濃さ

◀▶を使って、投写される映像の色の濃さを調節します。

図7の映像は、ランダム映像を使って直接輝度を調節した結果を示しています。

## 色あい

◀▶を使って、画像のカラー個所の緑と赤の比率を調節します。

図8の映像は、ランダム映像を使って直接輝度を調節した結果を示しています。

## シャープネス

画質の調節により、主に高周波のディテールが変わります。外部映像ソースに本機を接続し、下記に示す映像を表示して画質を調節します。

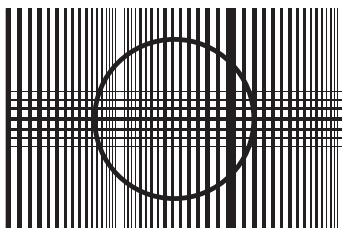


図9の映像は、ランダム映像を使って直接画質を調節した結果を示しています。



## ノイズリダクション

◀▶を使って、投写される映像のノイズを調節します。この機能は、SD入力のインターリーブによる映像のノイズを除去する場合に使用します。一般に、映像のノイズを低減すると、高周波のディテールの値が下がり、映像が柔らかなイメージになります。図10を参照してください。

図 5

◀ 輝度低減



輝度強化 ▶



図 6

◀ コントラスト低減



コントラスト強化 ▶



図 7

◀ 色低減



色強化 ▶



図 8

◀ 色あい低減



色あい強化 ▶



図 9

◀ シャープネス低減



シャープネス強化 ▶



図 10

◀ ノイズ低減




元の映像



## OSD メニューの説明

### 色温度

5400K、6500K、7500K、9300K、リアルから選択します。

色温度は、異なるエネルギー下での裸眼で認識される光色の変化をいいます。可視光の色温度の低から高への変化は、オレンジレッド→白→青  の順序になります。

本機の初期設定の色温度は、「ネイティブ」に設定されており、ほとんどの状況に適しています。色温度が上昇すると、映像が青みを帯びてきます。色温度が下がると、映像は赤みを帯びてきます。「ネイティブ」を選択した場合、入力装置のホワイト調節機能が無効になります。

### ホワイトバランス

周囲光の変化とは関係なく、人間の目には白い物を白く、黒い物を黒く見せる自動調節機構が備わっています。ただし、このような奇跡的な生まれつきの機能を持つ機械は存在しないため、周囲光が変化するとき映像の色が実際の色に近づくように、本機の設定に対して何らかの調節を行う必要があります。

### オフセット

投写された映像の暗い領域の、色のアンバランスを制御することを意味します。暗色とグレーの領域の多い外部テスト映像の使用をお勧めします(30IREウィンドウの画像)。グレー領域の赤、緑、または青の量が最小であると気付いた場合、対応する色のオフセットを適宜調節します。この機能は、映像全体のすべての色スペクトルをシフトし、輝度を変化させます。

### ゲイン

投写された映像の明るい領域の、色のアンバランスを制御することを意味します。白の領域の多い外部テスト映像の使用をお勧めします(80IREウィンドウの画像)。グレー領域の赤、緑、または青の量が最小であると気付いた場合、対応する色のゲインを適宜下げます。この機能は、全体の映像の色入力の範囲を増減する場合に使用します。

一般に、ゲインが増加すると、映像のコントラストが低減します。オフセットを増やすと、映像の輝度が低下します。

#### ・赤オフセット

◀▶を押して、ダークスケールで赤のオフセットを調節します。

#### ・緑オフセット

◀▶を押して、ダークスケールで緑のオフセットを調節します。

#### ・青オフセット

◀▶を押して、ダークスケールで青のオフセットを調節します。

#### ・赤ゲイン

◀▶を押して、輝度スケールで赤のゲインを調節します。

#### ・緑ゲイン

◀▶を押して、輝度スケールで緑のゲインを調節します。

#### ・青ゲイン

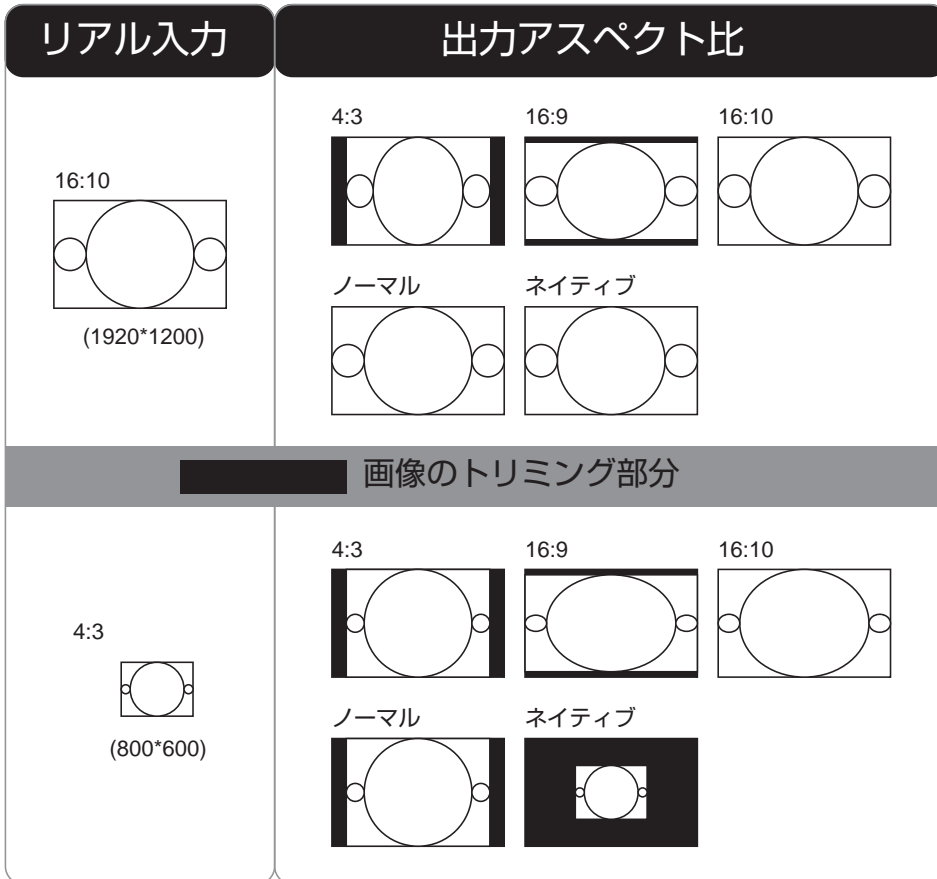
◀▶を押して、輝度スケールで青のゲインを調節します。



## アスペクト

この機能を使って、投写される映像のアスペクト比を調節します。▲▼を使って、映像の長さとの幅の比を調節します。

本機の映像のフルサイズは16:10(1920×1200ドット)です。以下の図に、各種のアスペクト比の設定の違いを示しています。



注意: 映画館、ホテル、カフェテリア、その他の公共の場での映像の投射など、商業目的で使用される場合、アスペクト比を変更してアーカイブされた映像の圧縮または拡張は、映像の正当な所有者の著作権侵害にあたる場合があります。ご自身の裁量で行ってください。

注意: アスペクト比を「ネイティブ」に設定した場合、オーバースキャン機能で調節できません。

## OSD メニューの説明

### オーバースキャン

旧式のテレビシステムを使用している場合を考慮して、一部のTV番組で映像の端が表示されない場合があります。この機能は、以下の3つのオプションのいずれかを選択し、映像の端を非表示にする場合に使用します。

#### ・オフ

オフに設定した場合、投写される映像は変化しません。

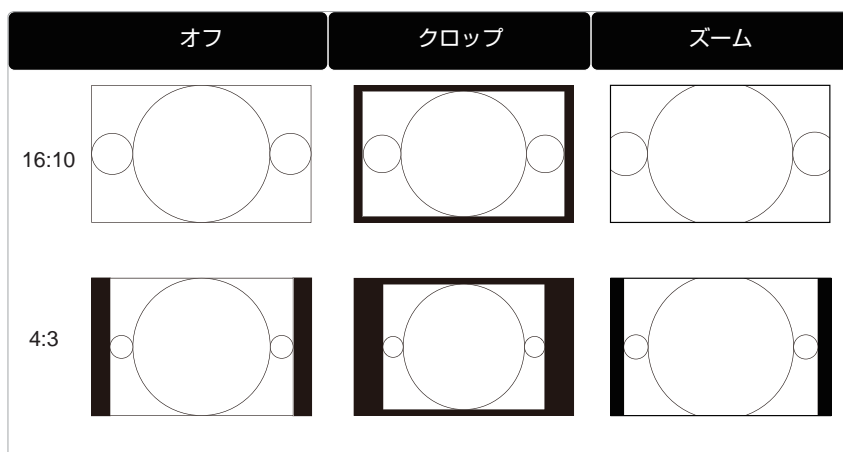
注意:オーバースキャンをオフに設定した場合、アスペクト比で調節できません。

#### ・クロップ

「クロップ」に設定すると、映像の両側に水平解像度の3%相当の2つの「マスク」が、また2つの類似するマスクが投写された映像の上下に加わります。

#### ・ズーム

この機能は、初期設定のアスペクト比の106%を上回る大きさに、映像の水平解像度を拡大するときに使用します。元の映像からはみ出す部分は、トリミングされます。

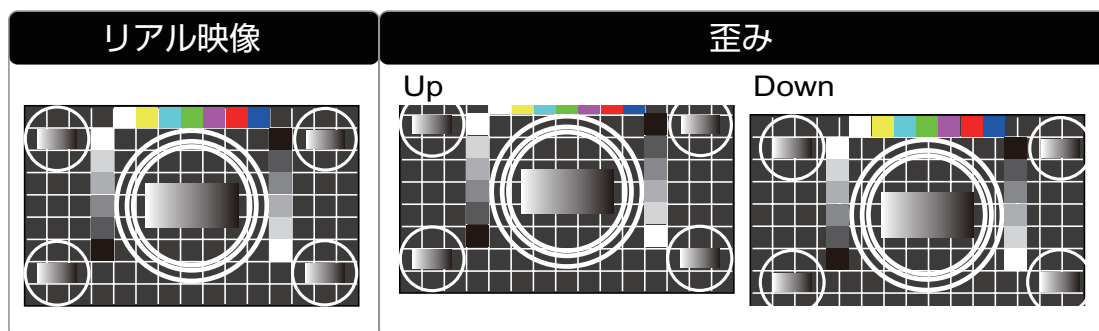


### 位置と位相

#### ・垂直位置

◀▶を使用して、投写された映像の垂直位置を調節します。

投写された映像がスクリーンの中央から外れ(上または下にシフト)、端がトリミングされている場合、この機能を使用して映像の垂直位置を調節します。以下の映像は、外部信号源からのテスト映像の例です。

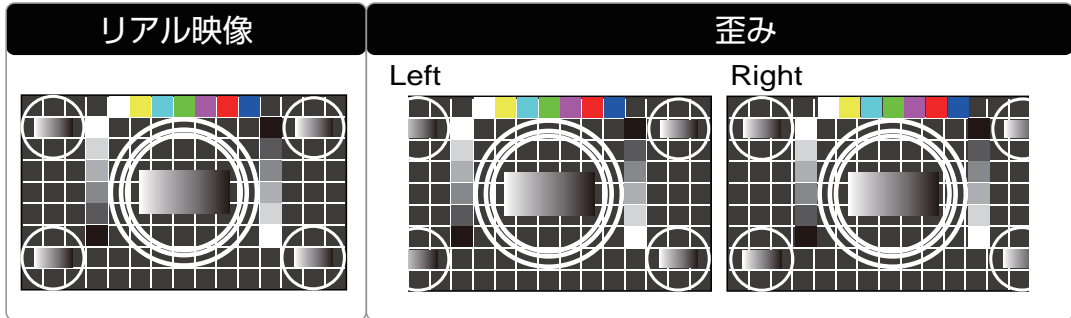


映像を調節する場合、水平位相の前に水平総計を調節してください。水平位相と水平総計を調節した後も映像がちらつく場合、映像のノイズを低減を試みてください。

### ・水平位置

◀▶を使用して、投写された映像の水平位置を調節します。

投写された映像がスクリーンの中央から外れ(右または左にシフト)、端がトリミングされている場合、この機能を使用して映像の水平位置を調節します。以下の映像は、外部信号源からのテスト映像の例です。



### ・クロック位相

◀▶を使用して、投写された映像の位相を調節します。

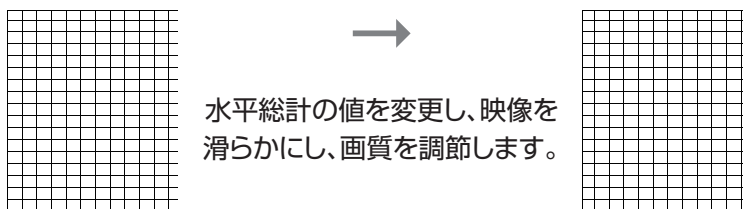
この機能を使用して、ピクセルサンプリングクロックの位相(入力信号相対)を調節します。最適化の後も映像がちらつく場合、またはノイズ(テキストのエッジ)が残る場合、適宜位相を調節してください。

### ・水平サイズ

◀▶を押して、水平総計を調節します。

この機能を使用して、ピクセルサンプリングのクロック周波数(ADCで生成されたアナログ入力源の水平ピクセル周波数)を調節します。映像にちらつきや縦線が見られる場合、ピクセルサンプリング周波数が不十分です。この機能は、周波数を調節し一定の画質を達成する場合があります。

以下の映像は、外部信号源からのテスト映像の例です。




\*タイミングを調節する場合、ピクセルのパターンを使用します(オン/オフ)\*

## 自動画像

OSDメニューでAuto image(自動画像補正)が選択されている場合、**ENTER**を押して、自動映像調節機能を実施します。

この機能の実行により、映像が再同期されます。映像ソースが不安定な場合、または画質の低下が認められ、映像のサイズ、位相、タイミングが本機で自動的に調節される場合、この機能を使用します。(この調節は、PinP入力源にも適用されます。)

この機能は、リモコンの  ボタンと同じ働きをします。リモコンのホットキーを使用すると、この機能を実行できます。

## OSD メニューの説明

### レーザー光源

メイン 画像	パワー・モード 電力レベル 高地モード	カスタム 20% ノーマル
レーザー光源		
設置方法 セットアップ サービス		

### パワー・モード

#### ・エコ

エコモードに設定した場合、輝度が通常の輝度の 80% になります (投写窓の温度は 35°C 未満が要求されます)。冷却ファンは、自動的に減速します。周囲が十分暗い場合、または強い輝度を必要としない場合、パワーモードをエコに設定すると節電できます。

注意: 温度が 35°C、よりも高くなると、35 ~ 40°C の間で、自動的にエコが選択されます。ファン速度が最大で稼働し、熱が排出されます。このような状況では、節電できません。

#### ・ノーマル

輝度は 100% です。ノーマルモードに設定した場合、投写環境が明るい映像を要求する場合、パワーモードをノーマルに設定し、投写輝度を最大にします。

#### ・カスタム

エコモードでの映像の輝度が暗過ぎ、ノーマルモードでは明る過ぎる場合、カスタムに設定すると、投写される映像の輝度を微調整できるパワーモードを指定できます。プロジェクター A の映像がプロジェクター B よりも明るい場合、このような状況が起これば、この機能を使用して、2 台のプロジェクターの輝度を微調整し、映像の輝度を一定に維持します。この機能にアクセスする場合、OSD メニュー → レーザー光源 → パワー・モード → カスタムに進み、適宜調節します。

### 電力レベル

◀または▶を押して、カスタムパワーレベルを調節します。この機能は、パワーモードがカスタムの場合にのみ利用できます。

## 高地モード

この機能を使用して、本機の冷却ファンを制御します。この機能はオフ／オンを切り替えられます。初期設定はオフです。

通常の状態では、本機はこの機能をオフにして稼働します。初期設定では、本機は周囲の温度を検出し、冷却ファンの速度を調整します。周囲の温度が上昇すると、ファンの速度が上がります(大きなノイズを発生)。本機内の熱が放出され、本機が正常に動作していることを確認します。

ただし、過度に温度が高い環境、または高地エリアで本機を稼働させる場合、自動的に停止する場合があります。このような場合、高地モード 1 または 2 に設定してこの機能を有効にします。自動的に冷却ファンが最速で稼働し、本機内の温度が調整されます。以下に示す 4 種類のモードから選択できます。

- **ノーマル**

0 ~ 4000 フィート(0 ~ 1219 メートル)の高度に対応

動作温度 0 ~ 35° C -> レーザー光の出力は 100% 有効。

動作温度 36 ~ 40° C -> レーザー光の出力は 80% 有効。

- **高地 1**

4000 ~ 5500 フィート(1219 ~ 1676 メートル)の高度に対応

動作温度 0 ~ 30° C -> レーザー光の出力は 100% 有効。

動作温度 31 ~ 35° C -> レーザー光の出力は 90% 有効。

動作温度 36 ~ 40° C -> レーザー光の出力は 80% 有効。

- **高地 2**

5500 ~ 10000 フィート(1676 ~ 3048 メートル)の高度に対応

動作温度 0 ~ 25° C -> レーザー光の出力は 100% 有効。

動作温度 26 ~ 30° C -> レーザー光の出力は 90% 有効。

動作温度 31 ~ 35° C -> レーザー光の出力は 80% 有効。

動作温度 36 ~ 40° C -> レーザー光の出力は 70% 有効。

- **オート**

自動的に周囲温度が感知され、自動的に高地モードに切り替わります。

注意: 高地では空気が非常に薄くなるため、冷却ファンによる冷却は、地上での動作と比べると著しく非効率になります。大気圧が低く、動作温度が高い状況では、冷却ファンは適切に熱を放出しません。

## 設置方法

メイン	設置方法	背面投射
画像	レンズ制御	Enter
レーザー光源	レンズメモリー	Enter
設置方法	レンズセンタリング	Enter
セットアップ	ガンマ	2.2
サービス	パターン	Enter
	カラーマネージメント	Enter
	ワーピング	Enter
	ブランキング	Enter
	エッジブレンディング	Enter
	メモリー	Enter
	ダイナミックブラック	オフ

## 設置方法

以下の機能を使用して、投写モードを設定します。以下の4種類から選択できます。

- **前面投射**  
詳細は 前面投射 (☞25ページ)を参照してください。
- **天吊り前面投射**  
詳細は 天吊り前面投射 (☞26ページ)"を参照してください。
- **背面投射**  
詳細は 背面投射 (☞26ページ)を参照してください。
- **天吊り背面投射**  
詳細は 天吊り背面投射 (☞26ページ)を参照してください。

## レンズ制御

- **ズーム**  
この機能は、前記の項目で説明したものと同じです。7.プロジェクターの傾き、レンズシフト、ズーム、フォーカスを調節します。(☞23ページ)を参照してください。
- **フォーカス**  
この機能は、前記の項目で説明したものと同じです。7.プロジェクターの傾き、レンズシフト、ズーム、フォーカスを調節します。(☞23ページ)を参照してください。
- **シフト**  
この機能は、前記の項目で説明したものと同じです。7.プロジェクターの傾き、レンズシフト、ズーム、フォーカスを調節します。(☞23ページ)を参照してください。  
注意:レンズコントロールは、レンズセンタリング関連の機能です。詳細は レンズセンタリング(☞51ページ)を参照してください。

## レンズメモリー

本機は、5セットのレンズ位置情報（フォーカス、ズーム、レンズシフト設定を含む）を保存できます。レンズを調節した後も、これらのレンズメモリーを呼び出すことで、OSDに記録したレンズ位置の設定を復元することができます。

- **ロード**

独自のレンズ設定をロードする場合は、この項目を選択します。

- **セーブ**

OSDの色項目を独自に調節した場合、この機能を使ってレンズの設定として保存します。

- **クリア**

レンズ設定のメモリーデータを消去します。

## レンズセンタリング

連続的にレンズシフトを操作した後、この機能を使用するとレンズが中央に戻ります。この機能は約2分で有効になります。レンズセンタリングの調整の間、他の動作の実行を本機に指定し、レンズセンタリングの調節が中断された場合、または停電などが起こった場合、次に本機を起動するとき、またはレンズコントロール機能を実行する場合、レンズセンタリングを再度実行し、レンズを中央に強制的に移動する警告メッセージが本機に表示されます。センタリングの後、レンズの他の調節を実行できます。レンズセンタリングを実行する場合、この動作の実行を中断しないでください。

## ガンマ

別の色域を使用すると、投写される映像の色表示が変化します。一般に、周囲が暗い場合は、ガンマを高く設定することをお勧めします。暗い領域の画質が改善されますが、明るい領域のディテールが損なわれます。逆に、明るい映像を投写する場合、ガンマを低く設定すると、暗い領域のディテールは損なわれますが、明るい領域はより鮮明になります。

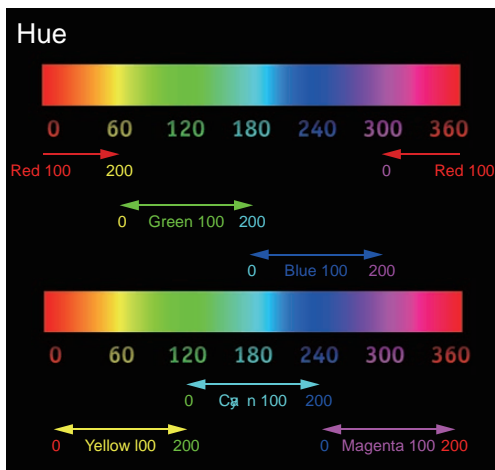
以下の色ガンマから選択できます。1.0 / 1.8 / 2.0 / 2.2 / 2.35 / 2.5 / DICOM SIM.

## パターン

本機には、検査時に装置をキャリブレーションするための標準パターンが付属しています。以下のパターンがあります。白 / 黒 / 赤 / 緑 / 青 / 格子 / クロス模様 / Vバースト / Hバースト / カラーバー

## カラーマネージメント

赤、緑、青、シアン、マゼンタ、黄のゲイン値で色相 / 彩度を調節し、また赤、緑、青の輝度値で白を調節して、すべての信号の色を補正します。





## OSD メニューの説明

### ワーピング

この機能は、投写された映像の歪みを補正します。

#### ・キーストン

- ▲▼◀▶を押して、投写の傾きにより生じる水平キーストンを補正します。  
8.投写の傾きによるキーストンの補正します。(P23ページ)を参照してください。

#### ・回転

- ◀▶を押して、間違った映像の傾きを補正します。図9を参照してください。

#### ・ピンクッション／樽型歪み

- ▲▼◀▶を押して、ピンクッション／樽型歪みを補正します。図10を参照してください。

元の映像



調節後



図 9

◀を押して調節



▶を押して調節



図 10

▲▼◀▶を押して、ピンクッション歪みを補正します。



▲▼◀▶を押して、バレル歪みを補正します。



図 11

▲▼◀▶を押して、映像の左上隅の歪みを補正



▲▼◀▶を押して、映像の右上隅の歪みを補正



▲▼◀▶を押して、映像の左下隅の歪みを補正



▲▼◀▶を押して、映像の右下隅の歪みを補正



#### ・左上コーナー

- ▲▼◀▶を押して、映像の左上コーナーの歪みを補正します。図11を参照してください。

#### ・右上コーナー

- ▲▼◀▶を押して、映像の右上コーナーの歪みを補正します。図11を参照してください。



- **左下コーナー**  
▲▼◀▶を押して、映像の左下コーナーの歪みを補正します。図11を参照してください。
- **右下コーナー**  
▲▼◀▶を押して、映像の右下コーナーの歪みを補正します。図11を参照してください。

## ブランキング

- **上**  
リモコンの◀▶を押して、投写された映像の上のブランク領域を調節します。
- **下**  
リモコンの◀▶を押して、投写された映像の下のブランク領域を調節します。
- **左**  
リモコンの◀▶を押して、投写された映像の左のブランク領域を調節します。
- **右**  
リモコンの◀▶を押して、投写された映像の右のブランク領域を調節します。
- **リセット**  
すべてのブランキング機能が初期設定、すなわちブランキング機能が無効な設定にリセットされます。

ブランキング機能を画像の右側および上側に適用して、スクリーンからはみ出す部分をブランクにします。



## エッジブレンディング

- **ステータス**  
ENTERを押して、オンまたはオフを選択します。この機能がオンに設定されていない場合は、エッジブレンディング機能を有効にできません。この機能がオフの場合、エッジブレンディング機能は無効です。
- **ブレンディング領域**→ ブレンディング領域は、複数投写用途で、ブレンディングの四辺にオーバーラップ領域を設定する場合に使用します。この機能が有効な場合、オーバーラップ領域の境界を示す補正線が表示されます。▲▼◀▶を押して、投写映像の上、下、左、右方向のブレンディング領域を調節します。

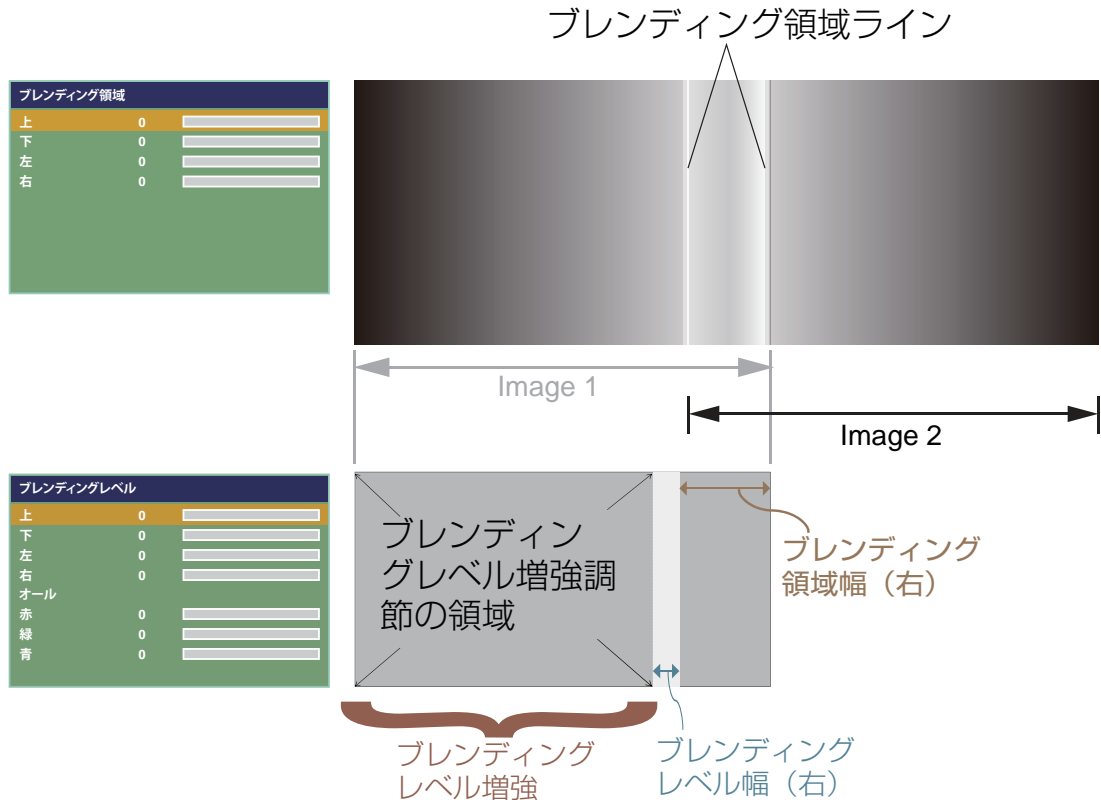
注意:以下の図に示すように、ブレンディング領域のエリアは、投写された画像1と画像2のオーバーラップエリアになります。ブレンディング領域のラインは、他のプロジェクターの端のピクセルに設定されます。

## OSD メニューの説明

- **ブレンディングレベル**→ オーバーラップするエッジの境界線は、無効なDMD表示領域のルーメンにより、他の画像よりも明るく映ることがあります。ブレンディングレベルの目的は、非オーバーラップ領域とオーバーラップ領域の差を補正することです。この機能は、非オーバーラップ領域のブレンディングレベルを高めます。投写された映像の上、下、左、右方向のブレンディングレベルの調節に使用します。

ブレンディングレベルの調節領域を選択し、設定した後、赤、緑、青の三原色がそれぞれ調節され、ブレンディングレベルが個別に高くなります。またオプションで三原色を同時に調節し、ブレンディングレベルを同時に高くすることもできます。

注意:ブレンディングレベルの調節と4コーナーの機能を同時に利用できません。



ブレンディングレベルを調整する場合、複数のプロジェクターをつなぎ、ブレンディングするための黒い画像が必要になります。プロジェクターの投写画像1に対して、ブレンディングレベルの補正線を、別のプロジェクターの無効なDMDが終了する位置に設定します。例:別のプロジェクターの無効なDMD表示領域のブレンディングレベルに合わせて、画像1を投写したプロジェクターのブレンディングレベルを調節します。また画像2を投写したプロジェクターで、同じ調節を行います。

### •リセット

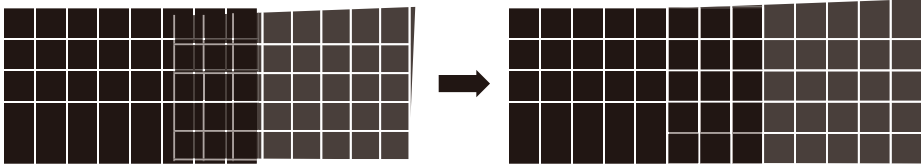
この機能は、本機のエッジブレンディング設定をリセットします。映像を、エッジブレンディング機能が無効な初期設定に復元します。

### •調整ライン表示

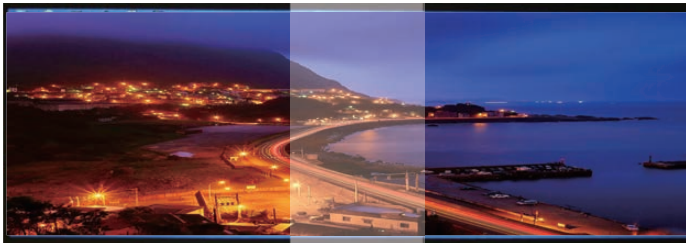
この機能がオンの場合、複数の映像を簡単に調節するための補正線が映像に表示されます。リモコンの▼▲◀▶を押して、映像の線の位置を調節します。

下記の映像は、2台のプロジェクターが同じ映像を投写している場合の例です。

1. 2台のプロジェクターを横に並べて置き、2つの投写される映像でオーバーラップ領域を作ります。フォーカス/ズーム機能とレンズシフト機能を、テストグリッドパターンで使用し、グリッドサイズが一致する適切なブレンディングオーバーラップ領域をセットします。



2. 2台のプロジェクターの白で色を一致させる場合、ALIGNMENT (整列)メニューのCustom Color Space (カスタムカラースペース)を使います。
3. 2台のプロジェクターの輝度を一致させる場合、ランプの出力を使用します(「高ルーメンプロジェクターの減光による調節」を参照)。
4. Edge blending -> Blending Regionを使用して、オーバーラップ領域サイズに基づきブレンディングサイズを設定します。  
Edge blending -> Blending Level positionを使用して、ブレンディングレベル補正の開始位置を調節します。  
Edge blending -> Blending Levelを使用して、ブレンディングレベルのオーバーラップゾーンと非オーバーラップゾーンの輝度が一致するように、非オーバーラップゾーンの輝度を高めます。



- 注意1: 下層チップの仕様に基づいた、以下の有効なワープ、ブランク、エッジブレンディングの組み合わせに注意してください。  
注意2: エッジブレンディング/コーナー形状補正の組み合わせは、ブレンディングレベルが調節されない場合に利用できます。  
注意3: コーナー沿いのブレンディングは、ブレンディングレベルが調節されない場合に利用できます。  
注意: ブレンディングレベルの調節とコーナー沿いのブレンディングの両機能の組み合わせは、利用できません。

## メモリー

### ・ロード

プロジェクターに独自の設定をロードする場合は、この項目を選択します。

### ・セーブ

OSDの項目を独自に調節した場合、この機能を使って投写の設定として保存します。

## ダイナミックブラック

この機能は、始動または停止時に、ソースの映像のコントラストを自動的に調節する設定を、プロジェクターに組み込む場合に使用します。この機能が起動している場合、投写の開始からコンテンツが終了するまで、映像のコントラストが動的に調節されます。

黒の画像信号が入力されている間に利用できます。

この機能は、アナログ信号にノイズが含まれる場合、正しく動作しない場合があります。

## セットアップ

メイン	ネットワーク	Enter
画像	OSD設定	Enter
レーザー光源	赤外線リモコン	オン
設置方法	リモコンID	0
セットアップ	初期画面	オン
サービス	トリガー	スクリーン
	オートサーチ	オフ
	オートパワーオフ	オフ
	ダイレクトパワーオン	オフ
	表示言語	日本語
	AMX D.D	オフ

## ネットワーク

### • ネットワークモード

プロジェクター制御:この機能は、Webを使って本機をコントロールする場合に選択します。  
サービス:この機能は、専門のサービス要員が使用してください。ダウンロードコマンド用途。

### • 待機電源

オフ:オフ設定時、消費電力は0.5W。本機がスタンバイモードの場合、Webから本機を操作できません。  
オン:オン設定時、本機がスタンバイモードの場合も、Webから本機を制御できます。消費電力は「オフ」の場合よりも多くなります。

### • DHCP

本機の設置環境にDynamic Host Configuration Protocolサーバーが構成されている場合。この機能を「オン」に設定すると、サーバーから本機にオートIDが送信されます。DHCPが構成されていない場合も、この機能を「オン」に設定できます。本機のIDを手動で入力する必要があります。

### • IPアドレス

DHCPサーバーが構成され、この機能がオンの場合。IDアドレスはここに自動的に表示されるか、それ以外の場合はIDを手動で入力する必要があります。

### • サブネットマスク

DHCPサーバーが構成され、この機能がオンの場合。サブネットマスクアドレスはここに自動的に表示されるか、それ以外の場合は値を手動で入力する必要があります。

### • ゲートウェイ

DHCPサーバーが構成され、この機能がオンの場合。ゲートウェイアドレスはここに自動的に表示されるか、それ以外の場合は値を手動で入力する必要があります。

### • DNS

DHCPサーバーが構成され、この機能がオンの場合。DNSアドレスはここに自動的に表示されるか、それ以外の場合は値を手動で入力する必要があります。

### • MACアドレス:読み取り専用。

## OSD 設定

### •メニュー位置

この機能を使用して、映像内で OSD メニューが表示される領域を指定します。以下の図からわかるように、OSD メニューが表示される位置を 5 か所から選択できます。デフォルト設定は「センター」です。

### •表示時間

スクリーンに OSD を表示する時間の値を 1 つ選択します。

### •メッセージボックス

オンを選択した場合、スクリーンに入力信号メッセージが自動的に表示されます。メッセージを無効にする場合、オフを選択してください。

## 赤外線リモコン

Web、LAN、RS232 から本機を制御する場合。この機能を「オフ」に設定し、赤外線リモコンによる本機の制御を停止することを推奨します。

## リモコン ID

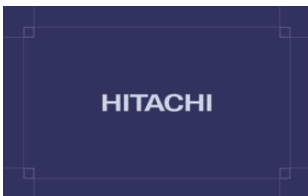
▲▼を使用して、正しい ID を入力した後リモコン ID を設定します。「Enter」を押して、値を記録します。リモコン ID は、リモコンを使って直接設定できます。詳細は、リモコン (33 ページ) の「ID 設定」を参照してください。

注意:この機能は、装置が初期値に 00 を設定している場合は使用できません。

## 初期画面

この機能を使用して、始動スクリーンへの HITACHI ロゴの表示を設定します。**オン**を設定すると、始動時に HITACHI ロゴが表示され、**オフ**を設定するとブランク画像が表示されます。

入力が検出されない間にロゴを表示しない場合、40 ページの「信号なし」に従って、設定を変更した方がよいでしょう。



## トリガー

本機はトリガー端子を 1 つ装備しています。トリガー端子で本機に接続した 1 台の装置を、本機がオンのときに自動的に起動するように設定できます。ユーザーが必要なアスペクト比を選択する間に、この機能が作動するのを防ぐために、本機をオンにしてから起動するまでに 2 ~ 3 秒遅延が起こります。

- **スクリーン** 本機の画面を起動したときに、パワーオントリガー 12V を出力。
- **4:3** 4:3 のアスペクト比を選択したときに、パワーオントリガー 12V を出力。
- **16:10** 16:10 のアスペクト比を選択したときに、パワーオントリガー 12V を出力。
- **16:9** 16:9 のアスペクト比を選択したときに、パワーオントリガー 12V を出力。

## OSD メニューの説明

### オートサーチ

- ・オン

この機能を有効にすると、本機を起動した後、毎回、自動的に入力信号源が判断されるため、OSD メニューで選択する必要がありません。

- ・オフ

この機能をオフに設定した場合、ユーザーが OSD メニューで映像入力ソースを指定しなければ、本機が所要の映像を投写しません。

### オートパワーオフ

デフォルト値はオフです。オンに設定した場合、入力信号が検出されなければ 20 分後に自動的に本機が停止します。

### ダイレクトパワーオン

デフォルト値はオフです。オンに設定した場合、AC 電源に接続すると自動的に本機が起動します。AC スイッチをオンにした状態で、本機の電源コードを AC コンセントに差し込むと、この機能により、リモコンではなくコンセントのスイッチを使って本機を起動できます。この機能が不要な場合はオフに設定してください。

注意:スタンバイ状態から、AC 電源をオフにしても LED ライト約 25 秒間点灯し続けます。この間は、ダイレクトパワーオンは動作しません。

### 表示言語

この機能を使用して、OSD メニューに表示する言語を選択します。以下の 9 言語から選択できます。

英語、フランス語、スペイン語、ドイツ語、簡体字中国語、日本語、韓国語、ポルトガル語、繁体字中国語

### AMX D.D.

AMX デバイス検出に対応しています。

本機の詳細については、<http://www.amx.com/> で確認してください。

### Web コントロール / Crestron Control

本機の「Crestron Control」を含む「Web コントロール」機能を使用できます。

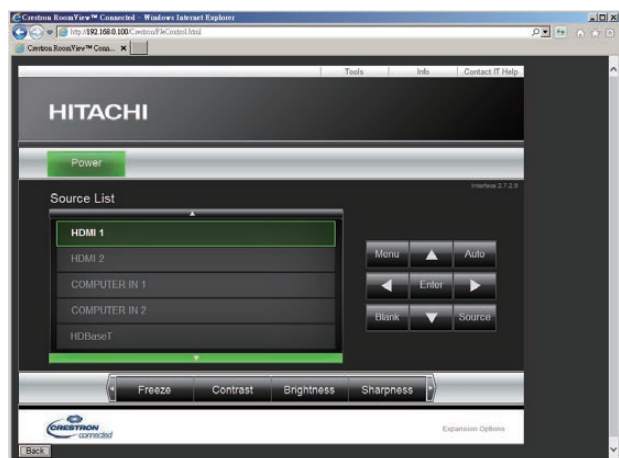
PC からネットワーク経由で本機にアクセスする場合、ネットワークの設定後に、ブラウザの URL に本機の IP アドレスを入力します(56 ページを参照)。

例:<http://192.168.0.100/>。

「Web コントロール」ページが表示されます。

「Crestron Control」は、上記ページ内のタブを選択してアクセスします。

Crestron の詳細については、<http://www.crestron.com> を参照してください。



PS:IP アドレスは、ご使用中のプロジェクターの IP アドレスです。例:<http://192.168.0.100/Crestron/PJeControl.html>。

推奨 Web ブラウザ:Internet Exprorer® 10/11。

推奨以外の Web ブラウザは、動作しない場合があります。



## サービス

メイン	モデル	LP-WU9750B
画像	シリアル番号	W529ZARCY0025
レーザー光源	ソフトウェアバージョン 1	ME14v1-NA-FE09
設置方法	ソフトウェアバージョン 2	LE07-14-RE02v1-3092
セットアップ	入力ソース	DVI-D
サービス	信号フォーマット	Enter
	レーザー使用時間	00000 HRS
	温度情報	Enter
	工場出荷設定	Enter

この項目では、表示された本機の一部の基本情報を説明します。

\* カスタムタイミングファイルのメモリーは、工場出荷設定操作で消去されます。\*

### モデル

本機の指定モデル番号です。

### シリアル番号

本機の指定シリアル番号です。

### ソフトウェアバージョン1 / 2

本機にインストールされたソフトウェアのバージョンです。

### 入力ソース

現在の入力ソースを表示します。

### 信号フォーマット

現在の入力信号のフォーマットを表示します。

- タイミング:現在の入力信号のタイミングを表示します。
- 水平周波数:現在の映像の水平周波数リフレッシュレートを表示します。
- 垂直周波数:現在の映像の垂直周波数リフレッシュレートを表示します。
- ピクセルクロック:現在の入力信号のピクセルクロックを表示します。

## OSD メニューの説明

### レーザー使用時間

レーザーモジュールの現在の使用時間を表示します。

投写された映像が著しく暗くなる場合、お買い上げの販売店に連絡してください。

### 温度情報

吸気口、DMD、レーザーを含むサーマルセンサーの現在の温度を表示します。

### レンズタイプ

レンズタイプには、レンズ ID とレンズ名が表示されます。

### 工場出荷設定

この機能は、OSD メニューの設定を工場出荷時の初期設定に戻す場合に使用します。この機能は、無信号表示、ネットワーク、プロジェクターコントロール、初期画面、言語、高地モード、ランプ使用時間を含む項目に適用されません。

\* 工場出荷設定を実行した場合、本機で作成されたすべてのソースメモリー(タイミングファイル)が消去されます。

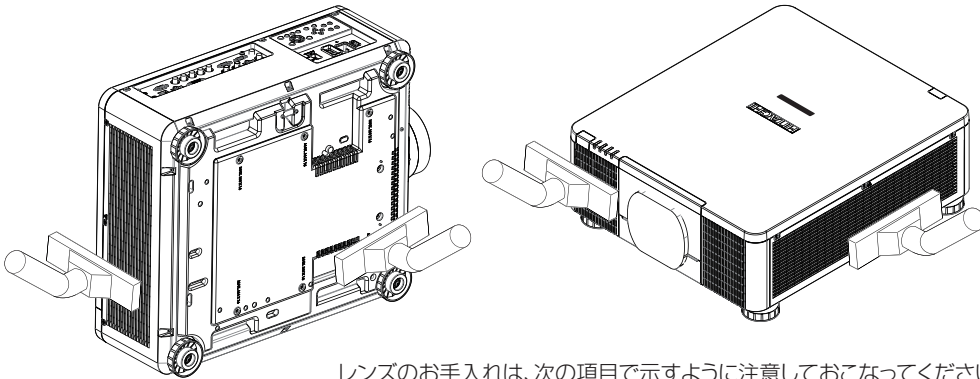


# お手入れ

お手入れの前に、本機を停止し、電源プラグを外します。本機の温度が下がるまで、45分以上時間を空けるようにしてください。

## キャビネットのお手入れ

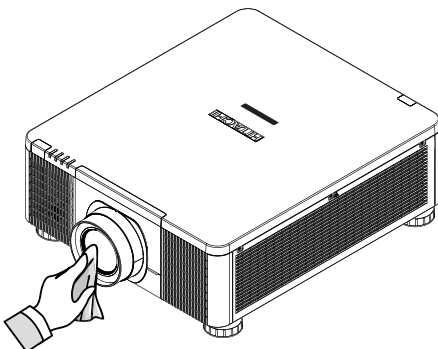
- 乾いた柔らかい布で、キャビネットの埃を拭きます。  
注意: クレンザーの使用はお勧めしません。汚れがひどい場合、中性洗剤を少し使用して、キャビネットを清掃してください。
- 掃除機を使用してキャビネットを清掃してください。  
注意: 通気が悪いと過熱し、レーザーモジュールの寿命が短くなります。  
注意: 本機の内部のお手入れが必要であれば、販売店に連絡してください。



レンズのお手入れは、次の項目で示すように注意しておこなってください。

## レンズのお手入れ

- 柔毛のエアブラシ、レンズクリーナーペーパー、レンズクリーナー液、柔らかい布などをお手入れに使用します。  
上記の品物は、カメラ販売店で購入できます。
- 柔毛のエアブラシを使って、レンズ表面の埃を落とします。この後、表面の埃を軽く取り除きます。  
注意: この作業は慎重に行ってください。
- レンズクリーナーペーパーをたたみ、ペーパーに数滴のクリーナー液をしみこませ、時計回りまたは反時計回りに、中心から外側に向かって軽く拭き取ります。  
注意: クリーナー液を直接レンズの表面に塗布しないでください。  
レンズに傷を付けないように、前後に強くこすらないでください。
- レンズクリーナー液が乾いてきたら、新しいきれいなクリーナーペーパーに替え、同じ手順でレンズを清掃します。
- 最後に、柔らかい布でレンズを拭きます。  
注意: レンズの汚れた箇所を除去するのが難しい場合、毎回、上記の方法でお手入れする必要はありません。

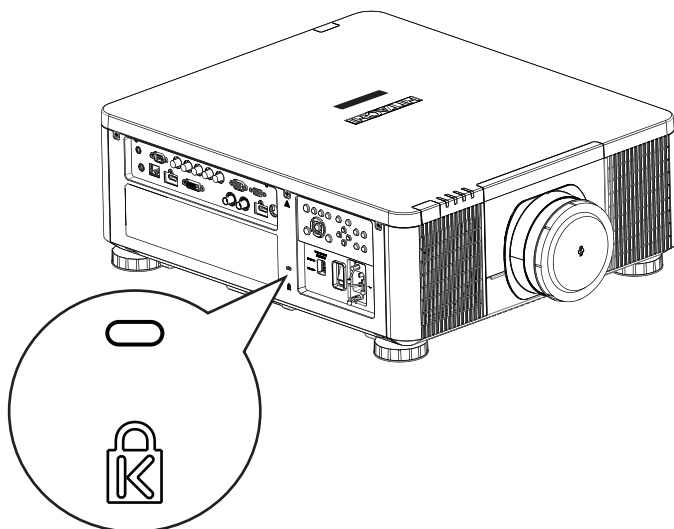


## ケンジントンロック

# Kensington<sup>®</sup> ロックの使用

---

本機の盗難にご注意ください。ケンジントンロックを使用して、本機の盗難を防止します。



注意:ケンジントンロックの詳細な設置方法については、販売店にお問い合わせください。

## 簡易トラブルシューティング

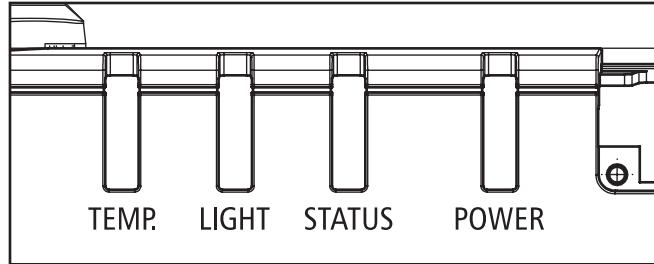
以下の表に、本機で一般的に起こる問題と、診断方法をまとめています。推奨される解決策で問題を解決できない場合、お買い上げ頂いた販売店に連絡し、保守を依頼してください。ご自身で本機の保守点検を行わないでください。

問題	予測される原因	解決策
本機を起動できない。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 本機の電源コードが外れている可能性があります。</li> <li>2. 本機の背面の AC 電源スイッチが、オフ(O)になっていないか確認します。</li> <li>3.AC プラグが破損。</li> <li>4. レンズを取り付けていない。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 本機の電源コードを壁のコンセントに差し込みます。</li> <li>2. 電源スイッチを「オン(1)」に合わせます。</li> <li>3.AC プラグが正常に作動していることを確認します。</li> <li>4. レンズを取り付けます。</li> </ol>
リモコンが正常に作動しない。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 乾電池が消耗している可能性があります。</li> <li>2. 乾電池の極性を間違えている可能性があります。</li> <li>3. リモコンが本機の IR センサーから離れ過ぎていたり、または最大信号受信角度から外れている可能性があります。あるいは本機とリモコンの間に障害物がある可能性があります。蛍光灯または直射日光が干渉している可能性があります。</li> <li>4. 直径 3.5mm の有線リモートコネクタが、本機の 3.5mm ポートに接続されている可能性があります。</li> <li>5. リモコンのアドレスが、本機のアドレスと一致していない。</li> <li>6. リモコンが OSD メニューで無効になっている。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 新しい乾電池に交換します。</li> <li>2. 乾電池を正しい方向に入れていることを確認します。</li> <li>3. 本機とリモコンの距離／角度を調節し、再度リモコンを操作してください。本機とリモコンの間に障害物がある場合、または IR センサーの近くに強力な光源が存在する場合、これらの状況を解消し、再度試みてください。</li> <li>4. 有線リモートケーブルを外すか、本機を有線リモコンで操作します。</li> <li>5. 詳細は リモコン ID (57 ページ) を参照してください。</li> <li>6.OSD メニューで、「Infrared Remoto(赤外線リモート)」設定を変更します。</li> </ol>
本機を起動し、OSD メニューにアクセスできるが、映像が表示されない。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 本機を正しく起動していない、または正しい入力ソースを選択していない可能性があります。</li> <li>2. ソース装置を正しく接続していない、またはソースが全く本機に接続されていない可能性があります。</li> <li>3. 信号入力がないため、オートブランク機能が有効な場合があります。</li> <li>4. ブランク機能が有効になっている可能性があります。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 本機を正しく起動していることを確認し、正しい入力ソースを選択します。</li> <li>2. 本機と入力装置の接続を確認します。</li> <li>3. 入力ソースを選択するか、ソース装置を接続します。</li> <li>4. リモコンの BLANK(ブランク) ボタンを押します。</li> </ol>
本機を起動できるが、スクリーンに何も映らない。	スクリーンに画像が写りません。本機の動作音のみが聞こえます。	リモコンの BLANK(ブランク) を押します。
本機を入力ソースの DVD プレイヤーに接続しているが、映像が乱れている、または半分に PbyP で表示される。	DVD プレイヤーをコンポーネントケーブルで本機に接続していますが、プログレッシブスキャンに設定しています。	DVD プレイヤーのプログレッシブスキャン機能を無効にします。
映像が暗い。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 映像の輝度、コントラスト、色、色あいを正しく調節する必要があります。</li> <li>2. レーザーが低出力モードに設定されています。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 映像の輝度、コントラスト、色、色あいを調節します。</li> <li>2." ページ 48 : パワーモード " を参照して、パワーモードを調節します。</li> </ol>
映像が明る過ぎる、または明るい領域が不鮮明。	コントラストの設定が高過ぎる可能性があります。	コントラストの設定を下げます。
映像が白っぽく見える、または暗い領域が明る過ぎる。	映像の輝度の設定が高過ぎる可能性があります。	輝度の設定を下げます。
映像が不鮮明。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. レンズの焦点が合っていない可能性があります。</li> <li>2. 本機の動作環境の温度または湿度が、操作の間に変化し(低温から高温、乾燥から高湿に移行)、本機内で結露が発生している可能性があります。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. レンズのフォーカスを調節します。</li> <li>2. まず本機をオフにして、本機の内部の湿気を蒸発させます。</li> </ol>
映像の色が白っぽく見える。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 入力信号が正しく接続されていない可能性があります。</li> <li>2. 色が正しく設定されていない。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 本機と入力装置が正しく接続されているか確認します。</li> <li>2. メニューを押して、色に関連した設定を調節します。</li> </ol>
映像が時々点滅する。	1. ケーブルが正しく接続されていない、または入力装置自体が破損している可能性があります。	1. コネクタと入力装置が正しく接続されていることを確認します。入力装置が正常に動作しているか、確認します。
投写された映像の色がずれている(赤が青に表示される)。	入力の G/Y、R/Pr、B/Pb ケーブルが入力端子に間違って接続されている可能性があります。	入力ソースが本機に正しく接続されていることを確認してください。

## 簡易トラブルシューティングと LED ランプの定義

問題	予測される原因	解決策
冷却ファンのノイズが急に大きくなった。	1. 本機の内部の温度が上昇している可能性があります。 2. OSD メニューで、高地モードが設定されています。	1. 本機の内部の温度が上昇した場合、冷却ファンが高速で稼働し、内部の熱を急速に放出します。 2. 本機を 4000 フィート未満の高度で使用する場合、高地モードをオフまたはオートに設定します。高地モード(☐49 ページ)を参照してください。
本機の上面パネルの LED ランプが赤く点滅する。	冷却ファン、電源などが故障している可能性があります。	LED の状態 (☐65 ページ)の定義を参照してください。
1. 投写の間に、突然映像が消える。 2. 本機を起動した後も、レーザーが点灯しません。	レーザーのモジュールが損傷している可能性があります。本機の前面の LED ランプを点検し、赤く点滅しているか確認します。	レーザーモジュールの故障です。すぐに本機の使用を停止し、AC 電源を切り販売店またはサービス店に連絡してください。

## LED の状態



### POWER (電源)

LED 表示		本機の状態	手順
オフ		電源がオフ	
点滅	緑	本機のウォームアップ中	本機の表示が開始するまで待ちます。冷却が終わるまで待ちます(~ 10 秒)。
	橙	本機の冷却中	
オン	赤	スタンバイモード	
	緑	本機がオン	

### STATUS (状態)

LED 表示		本機の状態	手順
オフ		問題なし	
点滅	赤(1 サイクル)	ウォームアップ時エラー	再試行後も問題が解消されない場合、お買い上げの販売店か保守要員に連絡してください。
	赤(4 サイクル)	エラー後の本機の冷却	
オン	赤	エラーによるスタンバイモード	

### LIGHT (光源)

LED 表示		本機の状態	手順
オフ		レーザーがオフ	
点滅	緑	レーザー照射準備	
	赤(6 サイクル)	レーザー照射失敗	
オン	赤	レーザーの寿命	
	緑	レーザーがオン	

### TEMP. (温度)

LED 表示		本機の状態	手順
オフ		問題なし	
点滅	赤	温度の問題	再試行後も問題が解消されない場合、お買い上げの販売店か保守要員に連絡してください。

備考:

上記の LED 点滅パターンの間隔は 500 ミリ秒です。「冷却 / ウォームアップ」状態の場合、緑の LED が 500 ミリ秒点灯してから、500 ミリ秒消え、その後この LED パターンが反復されます。

# プロジェクターの仕様

## 仕様

説明	仕様																
解像度	1920 × 1200 (リアル)																
マイクロディスプレイ	1 x 0.67" WUXGA DMD																
コントラスト	1050:1 (リアル) / 20000:1 (ダイナミックブラック ON)																
輝度均一性	≥ 90%																
ランプ	レーザーダイオード: レーザー蛍光の緑と赤 拡散レーザーの青																
投写レンズ - 投写比	<table border="0"> <tr> <td>FL-920 (FL-900)</td> <td>ML-904</td> </tr> <tr> <td>(0.32 : 1 100-350 インチ)</td> <td>(2.38~3.64 :1 50-600 インチ)</td> </tr> <tr> <td>USL-901</td> <td>LL-905</td> </tr> <tr> <td>(0.76~0.95 :1 50-600 インチ)</td> <td>(3.47~5.63 :1 50-600 インチ)</td> </tr> <tr> <td>SL-902</td> <td>UL-906</td> </tr> <tr> <td>(1.14~1.72 :1 50-600 インチ)</td> <td>(5.53~8.79 :1 50-600 インチ)</td> </tr> <tr> <td>SD-903</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(1.61~2.44 :1 50-600 インチ)</td> <td></td> </tr> </table>	FL-920 (FL-900)	ML-904	(0.32 : 1 100-350 インチ)	(2.38~3.64 :1 50-600 インチ)	USL-901	LL-905	(0.76~0.95 :1 50-600 インチ)	(3.47~5.63 :1 50-600 インチ)	SL-902	UL-906	(1.14~1.72 :1 50-600 インチ)	(5.53~8.79 :1 50-600 インチ)	SD-903		(1.61~2.44 :1 50-600 インチ)	
FL-920 (FL-900)	ML-904																
(0.32 : 1 100-350 インチ)	(2.38~3.64 :1 50-600 インチ)																
USL-901	LL-905																
(0.76~0.95 :1 50-600 インチ)	(3.47~5.63 :1 50-600 インチ)																
SL-902	UL-906																
(1.14~1.72 :1 50-600 インチ)	(5.53~8.79 :1 50-600 インチ)																
SD-903																	
(1.61~2.44 :1 50-600 インチ)																	
入力/出力ポート	1 × 3.5mm 12V トリガー用ミニジャック 1 × Computer In (5BNC RGBHV/YPbPr/YCbCr) 1 × COMPUTER IN (D-SUB) 1 × RS-232 1 × ワイヤリモート 1 × HDBaseT/LAN 2 × HDMI 1 × DVI -D 1 × SDI (IN/OUT)																
一次電圧範囲	100V - 130V (± 10%)																
スタンバイ消費電力	スタンバイ電力設定が無効の場合、最大電力 0.5W																
最大入力解像度	1920 × 1200																
動作温度	0 ~ 40° C																
重量	28 kg (PJ レンズ)																
別売部品	レンズ FL-900 (反射焦点レンズ) FL-920 サポートメタル FL-920 (反射焦点レンズとサポートメタル) USL-901 (短焦点レンズ) SL-902 (短焦点レンズ) SD-903 (標準レンズ) ML-904 (中焦点レンズ) LL-905 (長焦点レンズ) UL-906 (超長焦点レンズ)  天吊り器具 HAS-304H (高天井用) HAS-204L (標準天井用) HAS-104S (低天井用) HAS-404U (6 軸アジャスター付き天井用) HAS-L9750 (アタッチメントブラケット)																

対応信号入力モード

信号フォーマット	解像度	水平周波数 KHz	フレームレート Hz	PCLK MHz	5 BNC	VGA RGBHV	5 BNC RGBHV	DVI-D	HDMI / HDBaseT			HD SDI / 3G	備考	
									RGB	YUV				
										8ビット	10ビット			12ビット
PC	640*480	31.469	59.94	25.175		X	X	X	X				VESA DMT	
	640*480	37.500	74.99	31.500		X	X	X	X				VESA DMT	
	640*480	43.269	85	36.000		X	X	X	X				VESA DMT	
	800*600	37.879	60.32	40.000		X	X	X	X				VESA DMT	
	800*600	46.875	75	49.500		X	X	X	X				VESA DMT	
	800*600	53.674	85.06	56.250		X	X	X	X				VESA DMT	
	848*480	23.674	47.95	25.000		X	X	X	X				VESA CVT	
	848*480	31.020	60	33.750		X	X	X	X				VESA DMT	
	1024*768	48.363	60	65.000		X	X	X	X				VESA DMT	
	1024*768	60.023	75	78.750		X	X	X	X				VESA DMT	
	1024*768	68.677	85	94.500		X	X	X	X				VESA DMT	
	1280*720	35.531	47.95	57.987		X	X	X	X				VESA GTF	
	1280*1024	63.981	60.02	108.000		X	X	X	X				VESA DMT	
	1280*1024	91.146	85.02	157.500		X	X	X	X				VESA DMT	
	1600*1200	75.000	60	162.000		X	X	X	X				VESA DMT	
	1920*1080	53.225	47.95	135.403		X	X	X	X				VESA CVT	
	1680*1050	65.290	60	146.250		X	X	X	X				VESA DMT	
	1920*1200 RB	74.038	60	154.000		X	X	X	X				VESA CVT	
	1400*1050	65.317	60	121.750		X	X	X	X				VESA DMT	
	1366*768	47.712	60	85.500		X	X	X	X				VESA DMT	
1440*900	55.935	60	106.500		X	X	X	X				VESA DMT		
1280*768	47.776	60	79.500		X	X	X	X				VESA DMT		
1280*800	49.702	60	83.500		X	X	X	X				VESA DMT		
1280*960	60.000	60	108.000		X	X	X	X				VESA DMT		
Apple MAC	640*480	35.000	66.67	30.240		X	X	X	X				Apple MAC	
	832*624	49.720	74.54	57.280		X	X	X	X				Apple MAC	
SDTV	480i	15.734	59.94	13.500	X							X		
	1440*480i	31.468	60	27.000					X	X	X	X		
	1440*576i	31.250	50	27.000					X	X	X	X		
	576i	15.625	50	13.500	X								X	
EDTV	480p	31.469	59.94	27.000	X	X	X	X	X	X	X	X		
	576p	31.250	50	27.000	X	X	X	X	X	X	X	X		
HDTV	1035i	33.750	60	74.250	X	X	X	X	X	X	X	X		
	1080i	28.125	50	74.250	X	X	X	X	X	X	X	X		
	1080i	33.716	59.94	74.176	X	X	X	X	X	X	X	X		
	1080i	33.750	60	74.250	X	X	X	X	X	X	X	X		
	720p	37.500	50	74.250	X	X	X	X	X	X	X	X		
	720p	44.955	59.94	74.176	X	X	X	X	X	X	X	X		
	720p	45.000	60	74.250	X	X	X	X	X	X	X	X		
	1080p	26.973	23.98	74.176	X	X	X	X	X	X	X	X	X	
	1080p	27.000	24	74.250	X	X	X	X	X	X	X	X	X	
	1080p	28.125	25	74.250	X	X	X	X	X	X	X	X	X	
	1080p	33.716	29.97	74.176	X	X	X	X	X	X	X	X	X	
	1080p	33.750	30	74.250	X	X	X	X	X	X	X	X	X	
1080p	56.250	50	148.500	X	X	X	X	X	X	X	X	X		
1080p	67.433	59.94	148.352	X	X	X	X	X	X	X	X	X		
1080p	67.500	60	148.500	X	X	X	X	X	X	X	X	X		
PsF フォーマット	1080sf	33.750	30	74.250									X	
	1080sf	28.125	25	74.250									X	

## プロジェクターの仕様

### SDI フォーマット

Timing	SDI リンク モード	信号規格	色 エンコード	サンプリング 構造	ビット 深度
NTSC	SD	SMPTE 259M-C 270Mbps SD	YCbCr	4:02:02	10
PAL	SD	SMPTE 259M-C 270Mbps SD	YCbCr	4:02:02	10
1035i60	HD	SMPTE 292M 1.5Gbps HD	YCbCr	4:02:02	10
1080i59	HD	SMPTE 292M 1.5Gbps HD	YCbCr	4:02:02	10
1080i60	HD	SMPTE 292M 1.5Gbps HD	YCbCr	4:02:02	10
1080P30	HD	SMPTE 292M 1.5Gbps HD	YCbCr	4:02:02	10
1080P25	HD	SMPTE 292M 1.5Gbps HD	YCbCr	4:02:02	10
1080i50	HD	SMPTE 292M 1.5Gbps HD	YCbCr	4:02:02	10
1080P24	HD	SMPTE 292M 1.5Gbps HD	YCbCr	4:02:02	10
720P60	HD	SMPTE 292M 1.5Gbps HD	YCbCr	4:02:02	10
720P50	HD	SMPTE 292M 1.5Gbps HD	YCbCr	4:02:02	10
1080Sf25	HD	SMPTE 292M 1.5Gbps HD	YCbCr	4:02:02	10
1080Sf30	HD	SMPTE 292M 1.5Gbps HD	YCbCr	4:02:02	10
1080P50	3G Level A	SMPTE 424M 3Gbps	YCbCr	4:02:02	10
1080P59	3G Level A	SMPTE 424M 3Gbps	YCbCr	4:02:02	10
1080P60	3G Level A	SMPTE 424M 3Gbps	YCbCr	4:02:02	10
1080P50	3G Level B	SMPTE 424M 3Gbps	YCbCr	4:02:02	10
1080P59	3G Level B	SMPTE 424M 3Gbps	YCbCr	4:02:02	10
1080P60	3G Level B	SMPTE 424M 3Gbps	YCbCr	4:02:02	10

Test Cable: Belden 1694A

### 3D のタイミングフォーマット

標準		解像度	V-Freq (Hz)	V-Total	H-Freq (kHz)	HDBaseT (*1)	HDMI1/2 (*1)	DVI-D (*2)	備考
720p50	フレームパッキング	1280x720	50	1470	37.5	√	√		*3
720p59	フレームパッキング	1280x720	59.94	1470	44.96	√	√		*3
720p60	フレームパッキング	1280x720	60	1470	45	√	√		*3
720p50	トップとボトム	1280x720	50	750	37.5	√	√	√	*3
720p59	トップとボトム	1280x720	59.94	750	44.96	√	√	√	*3
720p60	トップとボトム	1280x720	60	750	45	√	√	√	*3
1080p23	フレームパッキング	1920x1080	23.98	2205	26.97	√	√		
1080p24	フレームパッキング	1920x1080	24	2205	27	√	√		
1080i50	サイドバイサイド (ハーフ)	1920x1080	50	1125	56.25	√	√	√	*3
1080i59	サイドバイサイド (ハーフ)	1920x1080	59.94	1125	67.43	√	√	√	*3
1080i60	サイドバイサイド (ハーフ)	1920x1080	60	1125	67.5	√	√	√	*3
1080p50	サイドバイサイド (ハーフ)	1920x1080	50	1125	56.25	√	√	√	*3
1080p59	サイドバイサイド (ハーフ)	1920x1080	59.94	1125	67.43	√	√	√	*3
1080p60	サイドバイサイド (ハーフ)	1920x1080	60	1125	67.5	√	√	√	*3
1080p50	トップとボトム	1920x1080	50	1125	56.25	√	√	√	*3
1080p59	トップとボトム	1920x1080	59.94	1125	67.43	√	√	√	*3
1080p60	トップとボトム	1920x1080	60	1125	67.5	√	√	√	*3
1080p50	フレームシーケンシャル	1920x1080	50	1125	56.25	√	√	√	*3
1080p59	フレームシーケンシャル	1920x1080	59.94	1125	67.43	√	√	√	*3
1080p60	フレームシーケンシャル	1920x1080	60	1125	67.5	√	√	√	*3

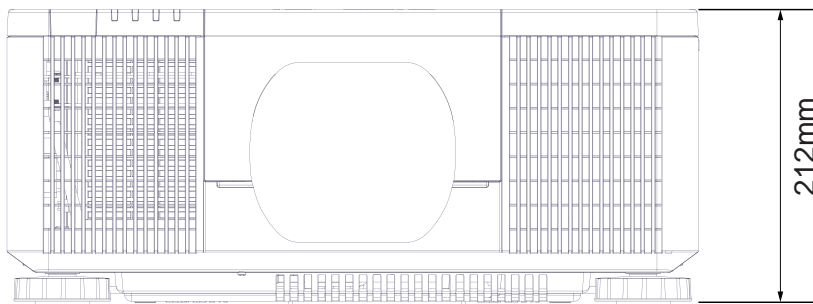
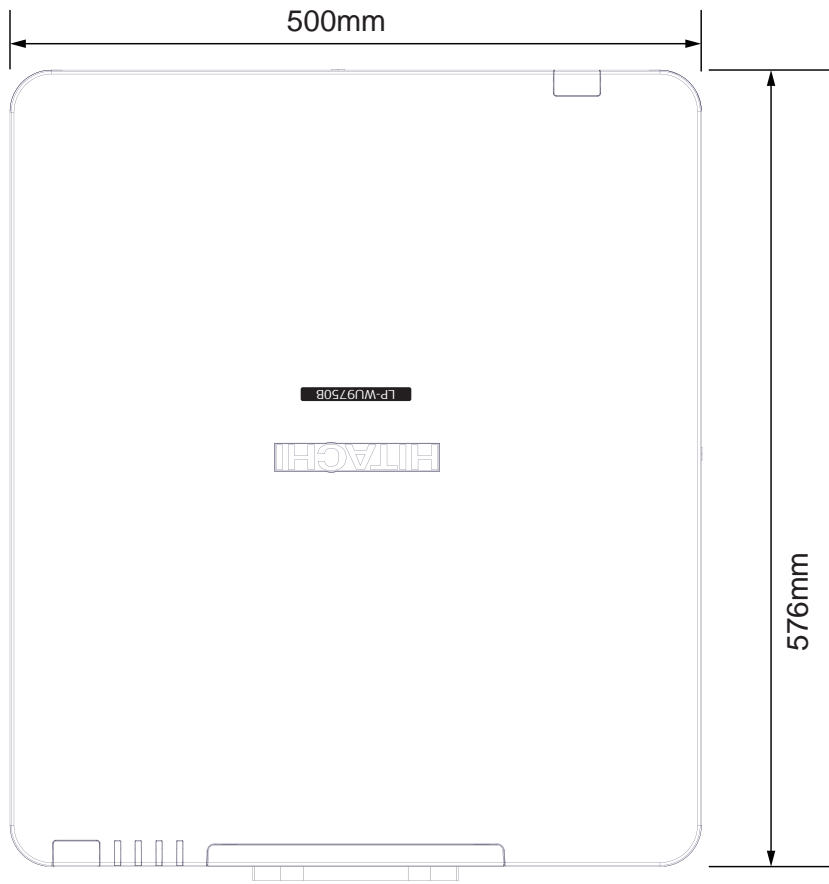
\*1:IT6802 チップの仕様に基づく

\*2:IT の 6535 チップの仕様に基づく

\*3:スケーラーでのフレームドロップおよびフォーマッタでのフレームダブリング



寸法



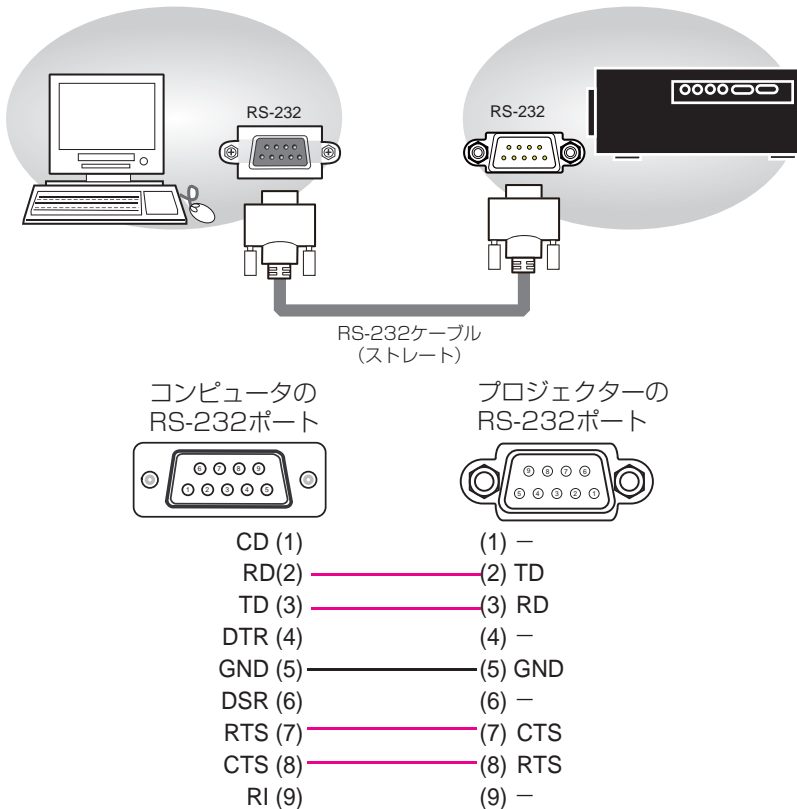
## 通信設定

### RS-232 通信

本機を RS-232 通信によりコンピュータに接続する場合、RS-232 コマンドを使ってコンピュータから本機を制御できます。RS-232 コマンドの詳細は、RS-232 通信コマンド表を参照してください。

### 接続

1. 本機とコンピュータの電源をオフにします。
2. 本機の RS232 ポートとコンピュータの RS-232 ポートを、RS-232 ケーブル(ストレート)で接続します。図に示す仕様に準拠したケーブルを使用してください。
3. コンピュータの電源を入れ、起動した後で本機をオンにします。



注意:交換時に RS-232 ケーブル(クロス)が接続されている場合、同梱内の RS-232 ケーブル(クロス)を追加し、正しく接続します。

## 1. プロトコル

19200bps,8N1

## 2. コマンド形式

(「h」は 16 進数を表します。)

Byte Number	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
Command  Action	Header						Data						
	ヘッダ コード		パケット	データ サイズ		CRC フラグ		アクション		タイプ		設定 コード	
	L	H		L	H	L	H	L	H	L	H	L	H
<SET>Change setting to desired value [(cL)(cH)] by [(bL)(bH)].						(aL)	(aH)	01h	00h	(bL)	(bH)	(cL)	(cH)
<GET>Read projector internal setup value [(bL) (bH)] .						(aL)	(aH)	02h	00h	(bL)	(bH)	00h	00h
<INCREMENT> Increment setup value [(bL)(bH)] by 1.	BEh	EFh	03h	06h	00h	(aL)	(aH)	04h	00h	(bL)	(bH)	00h	00h
<DECREMENT> Decrement setup value [(bL)(bH)] by 1.						(aL)	(aH)	05h	00h	(bL)	(bH)	00h	00h
<EXECUTE> Run a command [(bL)(bH)].						(aL)	(aH)	06h	00h	(bL)	(bH)	00h	00h

### 【ヘッダコード】【パケット】【データサイズ】

[BEh, EFh, 03h, 06h, 00h] を、バイト番号 0 ~ 4 に設定します。

### 【CRC フラグ】

バイト番号 5, 6 については、RS-232 通信コマンド表を参照してください。

### 【アクション】

ファンクションコードをバイト番号 7, 8 に設定します。

<SET> = [01h, 00h], <GET> = [02h, 00h], <INCREMENT> = [04h, 00h]

<DECREMENT> = [05h, 00h], <EXECUTE> = [06h, 00h]

RS232 通信コマンド表を参照してください。

### 【タイプ】【設定コード】

バイト番号 9 ~ 12 については、RS-232 通信コマンド表を参照してください。

## 通信設定

### 3. 応答コード／エラーコード

(「h」は 16 進数を表します。)

4. ACK リプライ:06h  
本機が Set, Increment, Decrement、または Execute コマンドを正しく受信した場合、指定された項目の設定データを [Type] で変更し、コードを返します。
5. NAK リプライ:15h  
本機が受信したコマンドを理解できない場合、エラーコードを返します。この場合、送信コードを確認し、同じコマンドを再度送信します。
6. エラーリプライ:1Ch + 0000h  
本機が何らかの理由で受信したコマンドを実行できない場合、エラーコードを返します。この場合、送信コードと、本機の設定状態を確認します。
7. データリプライ:1Dh + xxxxh  
本機が GET コマンドを正しく受信した場合、応答コードと 2 バイトのデータを返します。

#### 注意

- 本機を手持ちの装置に接続する場合、各装置のマニュアルをお読みにになり、適切なケーブルを使って正しく接続してください。
- 本機が未定義のコマンドまたはデータを受信する場合、動作を保証できません。
- 応答コードと他のコードは、最低 40ms の間隔を空けてください。
- 本機は、電源が ON に切り替わる場合、およびランプが点灯する場合にテストデータを出力します。このデータは無視してください。
- ウォームアップ中はコマンドが受信されません。
- データ長がデータ長コードで指定される長さより長い場合、本機は余分なデータコードを無視します。- 逆に、データ長がデータ長コードで指定される長さより短い場合、本機はコンピュータにエラーコードを返します。

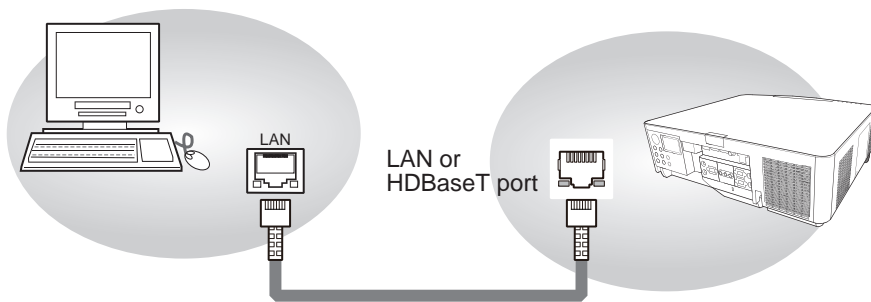
## ネットワークによるコマンド制御

本機がネットワークに接続されている場合、本機をコンピュータの Web ブラウザから、RS-232C コマンドで制御できます。

RS-232C コマンドの詳細については、RS-232C 通信／ネットワークコマンド表を参照してください。

## 接続

1. 本機とコンピュータの電源をオフにします。
2. 有線 LAN を使用する場合、本機の **HDBaseT™** ポートをコンピュータの LAN または **HDBaseT** ポートに、LAN ケーブルで接続します。図に示す仕様に準拠したケーブルを使用してください。
3. コンピュータの電源を入れ、起動した後で本機をオンにします。



- LAN ケーブル (CAT-5e 以上)  
または
- HDBaseT 接続の場合
  - CAT-5e 以上
  - シールドタイプ (コネクタ搭載)
  - ストレートケーブル
  - シングルケーブル

## 通信ポート

通信制御には、以下の 2 つのポートが割り当てられます。

TCP #23

## 通信設定

### コマンド制御設定

#### [TCP #23]

##### 1. コマンド形式

RS-232C 通信と同じです。RS-232C 通信コマンド形式を参照してください。

##### 2. 応答コード／エラーコード（「h」は 16 進数を表す。）

TCP#23 に使用される 4 つの応答／エラーコードは、RS-232C 通信(1)～(4)と同じです。

###### (1) ACK リプライ: 06h

RS-232C 通信を参照してください。

###### (2) NAK リプライ: 15h

RS-232C 通信を参照してください。

###### (3) エラーリプライ: 1Ch + 0000h

RS-232C 通信を参照してください。

###### (4) データリプライ: 1Dh + xxxxh

RS-232C 通信を参照してください。

**注意**・本機が未定義のコマンドまたはデータを受信する場合、動作を保証できません。  
・応答コードと他のコードは、最低 40ms の間隔を空けてください。  
・ウォームアップ中はコマンドが受け付けられません。

通信コマンド表

		Hitachi コマンド								説明	
機能	動作	ヘッダデータ(7バイト)				コマンドデータ(6バイト)					
		ヘッダコード	パケット	データサイズ	CRC	アクション	タイプ	設定コード			
メイン	入カソース	Set	HDMI 1	BE EF	03	06 00	0E D2	01 00	00 20	03 00	
			HDMI 2	BE EF	03	06 00	6E D6	01 00	00 20	0D 00	
			Computer In 1	BE EF	03	06 00	FE D2	01 00	00 20	00 00	
			Computer In 2	BE EF	03	06 00	3E D0	01 00	00 20	04 00	
			HDBaseT	BE EF	03	06 00	AE DE	01 00	00 20	11 00	
			SDI	BE EF	03	06 00	5E DE	01 00	00 20	12 00	
		DVI-D	BE EF	03	06 00	AE D4	01 00	00 20	09 00		
	Get	BE EF	03	06 00	CD D2	02 00	00 20	00 00			
	PinP	Set	オフ	BE EF	03	06 00	3E 26	01 00	10 23	00 00	
			オン	BE EF	03	06 00	5E 27	01 00	10 23	02 00	
		Get	BE EF	03	06 00	0D 26	02 00	10 23	00 00		
	PinP 選択	Set	HDMI 1	BE EF	03	06 00	B6 23	01 00	02 23	03 00	
			HDMI 2	BE EF	03	06 00	D6 27	01 00	02 23	0D 00	
			Computer In 1	BE EF	03	06 00	46 23	01 00	02 23	00 00	
			Computer In 2	BE EF	03	06 00	86 21	01 00	02 23	04 00	
			HDBaseT	BE EF	03	06 00	16 2F	01 00	02 23	11 00	
			SDI	BE EF	03	06 00	E6 2F	01 00	02 23	12 00	
		DVI-D	BE EF	03	06 00	16 25	01 00	02 23	09 00		
	Get	BE EF	03	06 00	75 23	02 00	02 23	00 00			
	PinP の位置	Set	左上	BE EF	03	06 00	02 23	01 00	01 23	00 00	
			右上	BE EF	03	06 00	92 22	01 00	01 23	01 00	
			左下	BE EF	03	06 00	62 22	01 00	01 23	02 00	
			右下	BE EF	03	06 00	F2 23	01 00	01 23	03 00	
			PbyP	BE EF	03	06 00	C2 2E	01 00	01 23	10 00	
		Get	BE EF	03	06 00	31 23	02 00	01 23	00 00		
	カラースペース	Set	オート	BE EF	03	06 00	02 68	01 00	71 22	00 00	
			REC709	BE EF	03	06 00	92 69	01 00	71 22	01 00	
			REC601	BE EF	03	06 00	62 69	01 00	71 22	02 00	
			RGB PC	BE EF	03	06 00	F2 68	01 00	71 22	03 00	
			RGB Video	BE EF	03	06 00	C2 6A	01 00	71 22	04 00	
		Get	BE EF	03	06 00	31 68	02 00	71 22	00 00		
	3Dフォーマット	Set	オフ	BE EF	03	06 00	DA 58	01 00	8B 22	00 00	
			オート	BE EF	03	06 00	4A 59	01 00	8B 22	01 00	
			左右	BE EF	03	06 00	BA 59	01 00	8B 22	02 00	
			上下	BE EF	03	06 00	2A 58	01 00	8B 22	03 00	
			フレームシーケンシャル	BE EF	03	06 00	1A 5A	01 00	8B 22	04 00	
		Get	BE EF	03	06 00	E9 58	02 00	8B 22	00 00		
	3D - アイスワップ	Set	ノーマル	BE EF	03	06 00	AE 59	01 00	8C 22	00 00	
			リバース	BE EF	03	06 00	3E 58	01 00	8C 22	01 00	
		Get	BE EF	03	06 00	9D 59	02 00	8C 22	00 00		
3D - DLPリンク	Set	オフ	BE EF	03	06 00	52 58	01 00	8D 22	00 00		
		オン	BE EF	03	06 00	C2 59	01 00	8D 22	01 00		
	Get	BE EF	03	06 00	61 58	02 00	8D 22	00 00			
拡大	Increment	BE EF	03	06 00	1A D2	04 00	07 30	00 00			
	Decrement	BE EF	03	06 00	0B D3	05 00	07 30	00 00			
	Get	BE EF	03	06 00	7C D2	02 00	07 30	00 00			
水平シフト	Increment	BE EF	03	06 00	5B 5F	04 00	94 22	00 00			
	Decrement	BE EF	03	06 00	8A 5E	05 00	94 22	00 00			
	Get	BE EF	03	06 00	3D 5F	02 00	94 22	00 00			
垂直シフト	Increment	BE EF	03	06 00	A7 5E	04 00	95 22	00 00			
	Decrement	BE EF	03	06 00	76 5F	05 00	95 22	00 00			
	Get	BE EF	03	06 00	C1 5E	02 00	95 22	00 00			

# 通信設定

## 通信コマンド表(続き)

	Hitachi コマンド									説明	
	機能	動作	ヘッダデータ(7バイト)				コマンドデータ(6バイト)				
			ヘッダコード	パケット	データサイズ	CRC	アクション	タイプ	設定コード		
メイン	水平シフト	Increment	BE EF	03	06 00	AE D7	04 00	10 30	00 00		
		Decrement	BE EF	03	06 00	7F D6	05 00	10 30	00 00		
		Get	BE EF	03	06 00	C8 D7	02 00	10 30	00 00		
	垂直シフト	Increment	BE EF	03	06 00	52 D6	04 00	11 30	00 00		
		Decrement	BE EF	03	06 00	83 D7	05 00	11 30	00 00		
		Get	BE EF	03	06 00	34 D6	02 00	11 30	00 00		
	拡大 & シフトリセット	Execute	BE EF	03	06 00	EC D6	06 00	17 70	00 00		
	「信号なし(始動)」	Set	ロゴ	BE EF	03	06 00	CB E3	01 00	04 30	40 00	
			黒	BE EF	03	06 00	AB D1	01 00	04 30	06 00	
			青	BE EF	03	06 00	FB D2	01 00	04 30	03 00	
ホワイ			BE EF	03	06 00	5B D1	01 00	04 30	05 00		
Get		BE EF	03	06 00	38 D2	02 00	04 30	00 00			
映像	映像モード	Set	高輝度	BE EF	03	06 00	23 CA	01 00	BA 30	50 00	
			プレゼンテーション	BE EF	03	06 00	B3 CB	01 00	BA 30	51 00	
			ビデオ	BE EF	03	06 00	43 CB	01 00	BA 30	52 00	
		Get	BE EF	03	06 00	10 F6	02 00	BA 30	00 00		
	明るさ	Increment	BE EF	03	06 00	EF D2	04 00	03 20	00 00		
		Decrement	BE EF	03	06 00	3E D3	05 00	03 20	00 00		
		Get	BE EF	03	06 00	89 D2	02 00	03 20	00 00		
	コントラスト	Increment	BE EF	03	06 00	9B D3	04 00	04 20	00 00		
		Decrement	BE EF	03	06 00	4A D2	05 00	04 20	00 00		
		Get	BE EF	03	06 00	FD D3	02 00	04 20	00 00		
	色の濃さ	Increment	BE EF	03	06 00	D3 72	04 00	02 22	00 00		
		Decrement	BE EF	03	06 00	02 73	05 00	02 22	00 00		
		Get	BE EF	03	06 00	B5 72	02 00	02 22	00 00		
	色あい	Increment	BE EF	03	06 00	2F 73	04 00	03 22	00 00		
		Decrement	BE EF	03	06 00	FE 72	05 00	03 22	00 00		
		Get	BE EF	03	06 00	49 73	02 00	03 22	00 00		
	画質	Increment	BE EF	03	06 00	97 72	04 00	01 22	00 00		
		Decrement	BE EF	03	06 00	46 73	05 00	01 22	00 00		
		Get	BE EF	03	06 00	F1 72	02 00	01 22	00 00		
	ノイズ低減	Increment	BE EF	03	06 00	7F 70	04 00	0F 22	00 00		
		Decrement	BE EF	03	06 00	AE 71	05 00	0F 22	00 00		
		Get	BE EF	03	06 00	19 70	02 00	0F 22	00 00		
	色温度	Set	5400K	BE EF	03	06 00	5B E2	01 00	B0 30	36 00	
			6500K	BE EF	03	06 00	AB C5	01 00	B0 30	41 00	
			7500K	BE EF	03	06 00	0B C3	01 00	B0 30	4B 00	
			9300K	BE EF	03	06 00	6B CD	01 00	B0 30	5D 00	
			リアル	BE EF	03	06 00	0B B4	01 00	B0 30	FF 00	
	Get	BE EF	03	06 00	C8 F5	02 00	B0 30	00 00			
	ホワイトバランス - 赤オフセット	Increment	BE EF	03	06 00	62 F5	04 00	B5 30	00 00		
		Decrement	BE EF	03	06 00	B3 F4	05 00	B5 30	00 00		
Get		BE EF	03	06 00	04 F5	02 00	B5 30	00 00			
ホワイトバランス - 緑オフセット	Increment	BE EF	03	06 00	26 F5	04 00	B6 30	00 00			
	Decrement	BE EF	03	06 00	F7 F4	05 00	B6 30	00 00			
	Get	BE EF	03	06 00	40 F5	02 00	B6 30	00 00			
ホワイトバランス - 青オフセット	Increment	BE EF	03	06 00	DA F4	04 00	B7 30	00 00			
	Decrement	BE EF	03	06 00	0B F5	05 00	B7 30	00 00			
	Get	BE EF	03	06 00	BC F4	02 00	B7 30	00 00			



通信コマンド表(続き)

		Hitachi コマンド								説明	
機能	動作	ヘッダデータ(7バイト)				コマンドデータ(6バイト)					
		ヘッダコード	バケット	データサイズ	CRC	アクション	タイプ	設定コード			
ホワイトバランス-赤ゲイン	Increment	BE EF	03	06 00	52 F4	04 00	B1 30	00 00			
	Decrement	BE EF	03	06 00	83 F5	05 00	B1 30	00 00			
	Get	BE EF	03	06 00	34 F4	02 00	B1 30	00 00			
ホワイトバランス-緑ゲイン	Increment	BE EF	03	06 00	16 F4	04 00	B2 30	00 00			
	Decrement	BE EF	03	06 00	C7 F5	05 00	B2 30	00 00			
	Get	BE EF	03	06 00	70 F4	02 00	B2 30	00 00			
ホワイトバランス-青ゲイン	Increment	BE EF	03	06 00	EA F5	04 00	B3 30	00 00			
	Decrement	BE EF	03	06 00	3B F4	05 00	B3 30	00 00			
	Get	BE EF	03	06 00	8C F5	02 00	B3 30	00 00			
アスペクト	Set	4:3	BE EF	03	06 00	9E D0	01 00	08 20	00 00		
		16:10	BE EF	03	06 00	3E D6	01 00	08 20	0A 00		
		16:9	BE EF	03	06 00	0E D1	01 00	08 20	01 00		
		ノーマル	BE EF	03	6 00	5E DD	01 00	08 20	10 00		
	リアル	BE EF	03	6 00	5E D7	01 00	08 20	08 00			
Get	BE EF	03	06 00	AD D0	02 00	08 20	00 00				
オーバースキャン	Set	オフ	BE EF	03	06 00	AB D4	01 00	1C 30	00 00		
		トリミング	BE EF	03	06 00	3B D5	01 00	1C 30	01 00		
		ズーム	BE EF	03	06 00	CB D5	01 00	1C 30	02 00		
	Get	BE EF	03	06 00	98 D4	02 00	1C 30	00 00			
垂直位置	Increment	BE EF	03	06 00	6B 83	04 00	00 21	00 00			
	Decrement	BE EF	03	06 00	BA 82	05 00	00 21	00 00			
	Get	BE EF	03	06 00	0D 83	02 00	00 21	00 00			
水平位置	Increment	BE EF	03	06 00	97 82	04 00	01 21	00 00			
	Decrement	BE EF	03	06 00	46 83	05 00	01 21	00 00			
	Get	BE EF	03	06 00	F1 82	02 00	01 21	00 00			
H 位相	Increment	BE EF	03	06 00	2F 83	04 00	03 21	00 00			
	Decrement	BE EF	03	06 00	FE 82	05 00	03 21	00 00			
	Get	BE EF	03	06 00	49 83	02 00	03 21	00 00			
H サイズ	Increment	BE EF	03	06 00	D3 82	04 00	02 21	00 00			
	Decrement	BE EF	03	06 00	02 83	05 00	02 21	00 00			
	Get	BE EF	03	06 00	B5 82	02 00	02 21	00 00			
オートアジャスト	Execute	BE EF	03	06 00	91 D0	06 00	0A 20	00 00			
レーザー光源	パワーモード	Set	エコ	BE EF	03	06 00	AB 22	01 00	00 33	01 00	
		ノーマル	BE EF	03	06 00	3B 23	01 00	00 33	00 00		
		カスタム	BE EF	03	06 00	3B 37	01 00	00 33	30 00		
		Get	BE EF	03	06 00	08 23	02 00	00 33	00 00		
	電力レベル	Increment	BE EF	03	06 00	1A 22	04 00	07 33	00 00		
		Decrement	BE EF	03	06 00	CB 23	05 00	07 33	00 00		
		Get	BE EF	03	06 00	7C 22	02 00	07 33	00 00		
	高地モード	Set	ノーマル	BE EF	03	06 00	E3 12	01 00	00 4C	00 00	
			高-1	BE EF	03	06 00	73 13	01 00	00 4C	01 00	
			High-2	BE EF	03	06 00	83 13	01 00	00 4C	02 00	
オート			BE EF	03	06 00	23 1F	01 00	00 4C	10 00		
Get	BE EF	03	06 00	D0 12	02 00	00 4C	00 00				
特別な設定	設置方法	Set	背面投射	BE EF	03	06 00	C7 D2	01 00	01 30	00 00	
			前面天吊り	BE EF	03	06 00	37 D2	01 00	01 30	03 00	
			背面投射	BE EF	03	06 00	57 D3	01 00	01 30	01 00	
			背面天吊り	BE EF	03	06 00	A7 D3	01 00	01 30	02 00	
			背面天吊り	BE EF	03	06 00	A7 D3	01 00	01 30	02 00	
		Get	BE EF	03	06 00	F4 D2	02 00	01 30	00 00		

# 通信設定

## 通信コマンド表(続き)

		Hitachi コマンド									
機能	動作	ヘッダデータ(7バイト)				コマンドデータ(6バイト)			説明		
		ヘッダコード	パケット	データサイズ	CRC	アクション	タイプ	設定コード			
レンズコントロール-ズーム	Increment	BE EF	03	06 00	96 92	04 00	01 24	00 00			
	Decrement	BE EF	03	06 00	47 93	05 00	01 24	00 00			
レンズコントロール-フォーカス	Increment	BE EF	03	06 00	6A 93	04 00	00 24	00 00			
	Decrement	BE EF	03	06 00	BB 92	05 00	00 24	00 00			
レンズコントロール-シフトV	Increment	BE EF	03	06 00	D2 92	04 00	02 24	00 00			
	Decrement	BE EF	03	06 00	03 93	05 00	02 24	00 00			
レンズコントロール-シフトH	Increment	BE EF	03	06 00	2E 93	04 00	03 24	00 00			
	Decrement	BE EF	03	06 00	FF 92	05 00	03 24	00 00			
レンズメモリーインテックス	Set	1	BE EF	03	06 00	4B 92	01 00	07 24	00 00		
		2	BE EF	03	06 00	DB 93	01 00	07 24	01 00		
		3	BE EF	03	06 00	2B 93	01 00	07 24	02 00		
		4	BE EF	03	06 00	BB 92	01 00	07 24	03 00		
		5	BE EF	03	06 00	8B 90	01 00	07 24	04 00		
	Get	BE EF	03	06 00	78 92	02 00	07 24	00 00			
レンズメモリーロード	Execute	BE EF	03	06 00	E8 90	06 00	08 24	00 00			
レンズメモリー保存	Execute	BE EF	03	06 00	14 91	06 00	09 24	00 00			
レンズメモリー消去	Execute	BE EF	03	06 00	50 91	06 00	0A 24	00 00			
レンズセンタリング	Execute	BE EF	03	06 00	B8 93	06 00	04 24	00 00			
特別な設定	ガンマ	Set	1.0	BE EF	03	06 00	FB DB	01 00	A0 30	64 00	
			1.8	BE EF	03	06 00	3B 86	01 00	A0 30	B4 00	
			2.0	BE EF	03	06 00	FB A6	01 00	A0 30	C8 00	
			2.2	BE EF	03	06 00	FB A9	01 00	A0 30	DC 00	
			2.35	BE EF	03	06 00	CB BF	01 00	A0 30	EB 00	
			2.5	BE EF	03	06 00	9B B3	01 00	A0 30	FA 00	
			Dicom Sim.	BE EF	03	06 00	8B F0	01 00	A0 30	FF FF	
	Get	BE EF	03	06 00	08 F1	02 00	A0 30	00 00			
パターン	Set	オフ	BE EF	03	06 00	FB FA	01 00	80 30	00 00		
		ホワイ	BE EF	03	06 00	0B F5	01 00	80 30	17 00		
		黒	BE EF	03	06 00	FB F0	01 00	80 30	18 00		
		赤	BE EF	03	06 00	FB F5	01 00	80 30	14 00		
		緑	BE EF	03	06 00	6B F4	01 00	80 30	15 00		
		青	BE EF	03	06 00	9B F4	01 00	80 30	16 00		
		格子	BE EF	03	06 00	AB F3	01 00	80 30	1D 00		
		クロス模様	BE EF	03	06 00	5B F6	01 00	80 30	12 00		
		Vバースト	BE EF	03	06 00	CB F7	01 00	80 30	13 00		
		Hバースト	BE EF	03	06 00	5B F3	01 00	80 30	1E 00		
		カラーバー	BE EF	03	06 00	AB F6	01 00	80 30	11 00		
Get	BE EF	03	06 00	C8 FA	02 00	80 30	00 00				
赤の色あい	Increment	BE EF	03	06 00	6A 63	04 00	00 27	00 00			
	Decrement	BE EF	03	06 00	BB 62	05 00	00 27	00 00			
	Get	BE EF	03	06 00	0C 63	02 00	00 27	00 00			
赤の濃さ	Increment	BE EF	03	06 00	AA 67	04 00	10 27	00 00			
	Decrement	BE EF	03	06 00	7B 66	05 00	10 27	00 00			
	Get	BE EF	03	06 00	CC 67	02 00	10 27	00 00			
赤ゲイン	Increment	BE EF	03	06 00	AA 68	04 00	20 27	00 00			
	Decrement	BE EF	03	06 00	7B 69	05 00	20 27	00 00			
	Get	BE EF	03	06 00	CC 68	02 00	20 27	00 00			
緑の色あい	Increment	BE EF	03	06 00	D2 62	04 00	02 27	00 00			
	Decrement	BE EF	03	06 00	03 63	05 00	02 27	00 00			
	Get	BE EF	03	06 00	B4 62	02 00	02 27	00 00			

通信コマンド表(続き)

機能	動作	Hitachi コマンド							説明	
		ヘッダデータ(7バイト)				コマンドデータ(6バイト)				
		ヘッダ コード	バケット	データ サイズ	CRC	アクション	タイプ	設定 コード		
特別な設定	緑の濃さ	Increment	BE EF	03	06 00	12 66	04 00	12 27	00 00	
		Decrement	BE EF	03	06 00	C3 67	05 00	12 27	00 00	
		Get	BE EF	03	06 00	74 66	02 00	12 27	00 00	
	緑ゲイン	Increment	BE EF	03	06 00	12 69	04 00	22 27	00 00	
		Decrement	BE EF	03	06 00	C3 68	05 00	22 27	00 00	
		Get	BE EF	03	06 00	74 69	02 00	22 27	00 00	
	青の色あい	Increment	BE EF	03	06 00	5A 62	04 00	04 27	00 00	
		Decrement	BE EF	03	06 00	8B 63	05 00	04 27	00 00	
		Get	BE EF	03	06 00	3C 62	02 00	04 27	00 00	
	青の濃さ	Increment	BE EF	03	06 00	9A 66	04 00	14 27	00 00	
		Decrement	BE EF	03	06 00	4B 67	05 00	14 27	00 00	
		Get	BE EF	03	06 00	FC 66	02 00	14 27	00 00	
	青ゲイン	Increment	BE EF	03	06 00	9A 69	04 00	24 27	00 00	
		Decrement	BE EF	03	06 00	4B 68	05 00	24 27	00 00	
		Get	BE EF	03	06 00	FC 69	02 00	24 27	00 00	
	シアンの色あい	Increment	BE EF	03	06 00	2E 63	04 00	03 27	00 00	
		Decrement	BE EF	03	06 00	FF 62	05 00	03 27	00 00	
		Get	BE EF	03	06 00	48 63	02 00	03 27	00 00	
	シアンの濃さ	Increment	BE EF	03	06 00	EE 67	04 00	13 27	00 00	
		Decrement	BE EF	03	06 00	3F 66	05 00	13 27	00 00	
		Get	BE EF	03	06 00	88 67	02 00	13 27	00 00	
	シアンゲイン	Increment	BE EF	03	06 00	EE 68	04 00	23 27	00 00	
		Decrement	BE EF	03	06 00	3F 69	05 00	23 27	00 00	
		Get	BE EF	03	06 00	88 68	02 00	23 27	00 00	
	マゼンタの色あい	Increment	BE EF	03	06 00	A6 63	04 00	05 27	00 00	
		Decrement	BE EF	03	06 00	77 62	05 00	05 27	00 00	
		Get	BE EF	03	06 00	00 63	02 00	05 27	00 00	
	マゼンタの濃さ	Increment	BE EF	03	06 00	66 67	04 00	15 27	00 00	
		Decrement	BE EF	03	06 00	B7 66	05 00	15 27	00 00	
		Get	BE EF	03	06 00	00 67	02 00	15 27	00 00	
	マゼンタゲイン	Increment	BE EF	03	06 00	66 68	04 00	25 27	00 00	
		Decrement	BE EF	03	06 00	B7 69	05 00	25 27	00 00	
		Get	BE EF	03	06 00	00 68	02 00	25 27	00 00	
	黄の色あい	Increment	BE EF	03	06 00	96 62	04 00	01 27	00 00	
		Decrement	BE EF	03	06 00	47 63	05 00	01 27	00 00	
		Get	BE EF	03	06 00	F0 62	02 00	01 27	00 00	
	黄の濃さ	Increment	BE EF	03	06 00	56 66	04 00	11 27	00 00	
		Decrement	BE EF	03	06 00	87 67	05 00	11 27	00 00	
		Get	BE EF	03	06 00	30 66	02 00	11 27	00 00	
	黄ゲイン	Increment	BE EF	03	06 00	56 69	04 00	21 27	00 00	
		Decrement	BE EF	03	06 00	87 68	05 00	21 27	00 00	
		Get	BE EF	03	06 00	30 69	02 00	21 27	00 00	
	ホワイトゲインR	Increment	BE EF	03	06 00	CA 6A	04 00	28 27	00 00	
		Decrement	BE EF	03	06 00	1B 6B	05 00	28 27	00 00	
		Get	BE EF	03	06 00	AC 6A	02 00	28 27	00 00	
	ホワイトゲインG	Increment	BE EF	03	06 00	72 6B	04 00	2A 27	00 00	
		Decrement	BE EF	03	06 00	A3 6A	05 00	2A 27	00 00	
		Get	BE EF	03	06 00	14 6B	02 00	2A 27	00 00	

# 通信設定

## 通信コマンド表(続き)

機能	動作	Hitachi コマンド							説明
		ヘッダデータ(7バイト)				コマンドデータ(6バイト)			
		ヘッダコード	パケット	データサイズ	CRC	アクション	タイプ	設定コード	
ホワイトゲインB	Increment	BE EF	03	06 00	FA 6B	04 00	2C 27	00 00	
	Decrement	BE EF	03	06 00	2B 6A	05 00	2C 27	00 00	
	Get	BE EF	03	06 00	9C 6B	02 00	2C 27	00 00	
	Increment	BE EF	03	06 00	8F D0	04 00	0B 20	00 00	
水平キーストン	Decrement	BE EF	03	06 00	5E D1	05 00	0B 20	00 00	
	Get	BE EF	03	06 00	E9 D0	02 00	0B 20	00 00	
	Increment	BE EF	03	06 00	DF D3	04 00	07 20	00 00	
垂直キーストン	Decrement	BE EF	03	06 00	0E D2	05 00	07 20	00 00	
	Get	BE EF	03	06 00	B9 D3	02 00	07 20	00 00	
	Increment	BE EF	03	06 00	AB 99	04 00	70 21	00 00	
回転	Decrement	BE EF	03	06 00	7A 98	05 00	70 21	00 00	
	Get	BE EF	03	06 00	CD 99	02 00	70 21	00 00	
	Increment	BE EF	03	06 00	57 97	04 00	41 21	00 00	
水平ピンクッション/パレル	Decrement	BE EF	03	06 00	86 96	05 00	41 21	00 00	
	Get	BE EF	03	06 00	31 97	02 00	41 21	00 00	
	Increment	BE EF	03	06 00	9B 97	04 00	44 21	00 00	
垂直ピンクッション/パレル	Decrement	BE EF	03	06 00	4A 96	05 00	44 21	00 00	
	Get	BE EF	03	06 00	FD 97	02 00	44 21	00 00	
	Increment	BE EF	03	06 00	57 89	04 00	21 21	00 00	
左上隅 - x	Decrement	BE EF	03	06 00	86 88	05 00	21 21	00 00	
	Get	BE EF	03	06 00	31 89	02 00	21 21	00 00	
	Increment	BE EF	03	06 00	13 89	04 00	22 21	00 00	
左上隅 - y	Decrement	BE EF	03	06 00	C2 88	05 00	22 21	00 00	
	Get	BE EF	03	06 00	75 89	02 00	22 21	00 00	
	Increment	BE EF	03	06 00	EF 88	04 00	23 21	00 00	
右上隅 - x	Decrement	BE EF	03	06 00	3E 89	05 00	23 21	00 00	
	Get	BE EF	03	06 00	89 88	02 00	23 21	00 00	
	Increment	BE EF	03	06 00	9B 89	04 00	24 21	00 00	
右上隅 - y	Decrement	BE EF	03	06 00	4A 88	05 00	24 21	00 00	
	Get	BE EF	03	06 00	FD 89	02 00	24 21	00 00	
	Increment	BE EF	03	06 00	67 88	04 00	25 21	00 00	
左下隅 - x	Decrement	BE EF	03	06 00	B6 89	05 00	25 21	00 00	
	Get	BE EF	03	06 00	01 88	02 00	25 21	00 00	
	Increment	BE EF	03	06 00	23 88	04 00	26 21	00 00	
左下隅 - y	Decrement	BE EF	03	06 00	F2 89	05 00	26 21	00 00	
	Get	BE EF	03	06 00	45 88	02 00	26 21	00 00	
	Increment	BE EF	03	06 00	DF 89	04 00	27 21	00 00	
右下隅 - x	Decrement	BE EF	03	06 00	0E 88	05 00	27 21	00 00	
	Get	BE EF	03	06 00	B9 89	02 00	27 21	00 00	
	Increment	BE EF	03	06 00	CB 8A	04 00	28 21	00 00	
右下隅 - y	Decrement	BE EF	03	06 00	1A 8B	05 00	28 21	00 00	
	Get	BE EF	03	06 00	AD 8A	02 00	28 21	00 00	
	Execute	BE EF	03	06 00	F1 99	06 00	72 21	00 00	
ワーピング - リセット	Increment	BE EF	03	06 00	8A DA	04 00	2B 30	00 00	
	Decrement	BE EF	03	06 00	5B DB	05 00	2B 30	00 00	
	Get	BE EF	03	06 00	EC DA	02 00	2B 30	00 00	
ブランキング - 上	Increment	BE EF	03	06 00	8A DA	04 00	2B 30	00 00	
	Decrement	BE EF	03	06 00	5B DB	05 00	2B 30	00 00	
	Get	BE EF	03	06 00	EC DA	02 00	2B 30	00 00	

特別な設定

通信コマンド表(続き)

機能	Hitachi コマンド									説明	
	動作	ヘッダデータ(7バイト)				コマンドデータ(6バイト)					
		ヘッダコード	バケット	データサイズ	CRC	アクション	タイプ	設定コード			
特別な設定	ブランキング - 下	Increment	BE EF	03	06 00	FE DB	04 00	2C 30	00 00		
		Decrement	BE EF	03	06 00	2F DA	05 00	2C 30	00 00		
		Get	BE EF	03	06 00	98 DB	02 00	2C 30	00 00		
	ブランキング - 左	Increment	BE EF	03	06 00	02 DA	04 00	2D 30	00 00		
		Decrement	BE EF	03	06 00	D3 DB	05 00	2D 30	00 00		
		Get	BE EF	03	06 00	64 DA	02 00	2D 30	00 00		
	ブランキング - 右	Increment	BE EF	03	06 00	46 DA	04 00	2E 30	00 00		
		Decrement	BE EF	03	06 00	97 DB	05 00	2E 30	00 00		
		Get	BE EF	03	06 00	20 DA	02 00	2E 30	00 00		
	ブランキング - リセット	Execute	BE EF	03	06 00	58 DA	06 00	2F 30	00 00		
	エッジブレンディングの状態	Set	オフ	BE EF	03	06 00	FB A0	01 00	A0 31	00 00	
			オン	BE EF	03	06 00	6B A1	01 00	A0 31	01 00	
		Get	BE EF	03	06 00	C8 A0	02 00	A0 31	00 00		
	ブレンディング領域 - 上	Increment	BE EF	03	06 00	52 A1	04 00	A1 31	00 00		
		Decrement	BE EF	03	06 00	83 A0	05 00	A1 31	00 00		
		Get	BE EF	03	06 00	34 A1	02 00	A1 31	00 00		
	ブレンディング領域 - 下	Increment	BE EF	03	06 00	16 A1	04 00	A2 31	00 00		
		Decrement	BE EF	03	06 00	C7 A0	05 00	A2 31	00 00		
		Get	BE EF	03	06 00	70 A1	02 00	A2 31	00 00		
	ブレンディング領域 - 左	Increment	BE EF	03	06 00	EA A0	04 00	A3 31	00 00		
		Decrement	BE EF	03	06 00	3B A1	05 00	A3 31	00 00		
		Get	BE EF	03	06 00	8C A0	02 00	A3 31	00 00		
	ブレンディング領域 - 右	Increment	BE EF	03	06 00	9E A1	04 00	A4 31	00 00		
		Decrement	BE EF	03	06 00	4F A0	05 00	A4 31	00 00		
		Get	BE EF	03	06 00	F8 A1	02 00	A4 31	00 00		
	ブレンディングレベル - 上	Increment	BE EF	03	06 00	62 A0	04 00	A5 31	00 00		
		Decrement	BE EF	03	06 00	B3 A1	05 00	A5 31	00 00		
		Get	BE EF	03	06 00	04 A0	02 00	A5 31	00 00		
	ブレンディングレベル - 下	Increment	BE EF	03	06 00	26 A0	04 00	A6 31	00 00		
		Decrement	BE EF	03	06 00	F7 A1	05 00	A6 31	00 00		
		Get	BE EF	03	06 00	40 A0	02 00	A6 31	00 00		
	ブレンディングレベル - 左	Increment	BE EF	03	06 00	DA A1	04 00	A7 31	00 00		
		Decrement	BE EF	03	06 00	0B A0	05 00	A7 31	00 00		
		Get	BE EF	03	06 00	BC A1	02 00	A7 31	00 00		
	ブレンディングレベル - 右	Increment	BE EF	03	06 00	CE A2	04 00	A8 31	00 00		
		Decrement	BE EF	03	06 00	1F A3	05 00	A8 31	00 00		
		Get	BE EF	03	06 00	A8 A2	02 00	A8 31	00 00		
	ブレンディングレベル - すべて	Increment	BE EF	03	06 00	FE A3	04 00	AC 31	00 00		
		Decrement	BE EF	03	06 00	2F A2	05 00	AC 31	00 00		
		Get	BE EF	03	06 00	98 A3	02 00	AC 31	00 00		
ブレンディングレベル - 赤	Increment	BE EF	03	06 00	32 A3	04 00	A9 31	00 00			
	Decrement	BE EF	03	06 00	E3 A2	05 00	A9 31	00 00			
	Get	BE EF	03	06 00	54 A3	02 00	A9 31	00 00			
ブレンディングレベル - 緑	Increment	BE EF	03	06 00	76 A3	04 00	AA 31	00 00			
	Decrement	BE EF	03	06 00	A7 A2	05 00	AA 31	00 00			
	Get	BE EF	03	06 00	10 A3	02 00	AA 31	00 00			

# 通信設定

## 通信コマンド表(続き)

	Hitachi コマンド										
	機能	動作	ヘッダデータ(7 バイト)				コマンドデータ(6 バイト)			説明	
			ヘッダコード	パケット	データサイズ	CRC	アクション	タイプ	設定コード		
特別な設定	ブレンディングレベル - 青	Increment	BE EF	03	06 00	8A A2	04 00	AB 31	00 00		
		Decrement	BE EF	03	06 00	5B A3	05 00	AB 31	00 00		
		Get	BE EF	03	06 00	EC A2	02 00	AB 31	00 00		
	エッジブレンディング・リセット	Execute	BE EF	03	06 00	E0 A3	06 00	AD 31	00 00		
		Set	オフ	BE EF	03	06 00	13 A2	01 00	AE 31	00 00	
	オン		BE EF	03	06 00	83 A3	01 00	AE 31	01 00		
	Get		BE EF	03	06 00	20 A2	02 00	AE 31	00 00		
	メモリのロード	Set	プリセット A	BE EF	03	06 00	0E D7	01 00	14 20	00 00	
			プリセット B	BE EF	03	06 00	9E D6	01 00	14 20	01 00	
			プリセット C	BE EF	03	06 00	6E D6	01 00	14 20	02 00	
			プリセット D	BE EF	03	06 00	FE D7	01 00	14 20	03 00	
			デフォルト	BE EF	03	06 00	BE D6	01 00	14 20	FF FF	
	設定の保存	Set	プリセット A	BE EF	03	06 00	F2 D6	01 00	15 20	00 00	
			プリセット B	BE EF	03	06 00	62 D7	01 00	15 20	01 00	
			プリセット C	BE EF	03	06 00	92 D7	01 00	15 20	02 00	
			プリセット D	BE EF	03	06 00	02 D6	01 00	15 20	03 00	
	設定の消去	Set	プリセット A	BE EF	03	06 00	A2 5D	01 00	99 22	00 00	
			プリセット B	BE EF	03	06 00	32 5C	01 00	99 22	01 00	
			プリセット C	BE EF	03	06 00	C2 5C	01 00	99 22	02 00	
			プリセット D	BE EF	03	06 00	52 5D	01 00	99 22	03 00	
ダイナミックブランク	Set	オフ	BE EF	03	06 00	FE 5A	01 00	80 22	00 00		
		オン	BE EF	03	06 00	6E 5B	01 00	80 22	01 00		
	Get	BE EF	03	06 00	CD 5A	02 00	80 22	00 00			
セットアップ	ネットワークモード	Set	プロジェクターコントロール	BE EF	03	06 00	C2 5F	01 00	91 22	00 00	
			サービス	BE EF	03	06 00	52 5E	01 00	91 22	01 00	
		Get	BE EF	03	06 00	F1 5F	02 00	91 22	00 00		
	スタンバイパワー	Set	「オン(RJ45 パワーオン)」	BE EF	03	06 00	D6 D2	01 00	01 60	00 00	
			「オフ(RJ45 パワーオフ)」	BE EF	03	06 00	46 D3	01 00	01 60	01 00	
	Get	BE EF	03	06 00	E5 D2	02 00	01 60	00 00			
	DHCP	Set	オフ	BE EF	03	06 00	3C 06	01 00	10 29	00 00	
			オン	BE EF	03	06 00	AC 07	01 00	10 29	01 00	
	Get	BE EF	03	06 00	0F 06	02 00	10 29	00 00			
	IP アドレス先頭オクテット	Get	BE EF	03	06 00	F3 07	02 00	11 29	00 00		
	IP アドレス第2オクテット	Get	BE EF	03	06 00	B7 07	02 00	12 29	00 00		
	IP アドレス第3オクテット	Get	BE EF	03	06 00	4B 06	02 00	13 29	00 00		
	IP アドレス第4オクテット	Get	BE EF	03	06 00	3F 07	02 00	14 29	00 00		
	サブネットマスク先頭オクテット	Get	BE EF	03	06 00	C3 06	02 00	15 29	00 00		
	サブネットマスク第2オクテット	Get	BE EF	03	06 00	87 06	02 00	16 29	00 00		
	サブネットマスク第3オクテット	Get	BE EF	03	06 00	7B 07	02 00	17 29	00 00		
	サブネットマスク第4オクテット	Get	BE EF	03	06 00	6F 04	02 00	18 29	00 00		

通信コマンド表(続き)

	Hitachi コマンド										
	機能	動作	ヘッダデータ(7 バイト)				コマンドデータ(6 バイト)			説明	
			ヘッダコード	パケット	データサイズ	CRC	アクション	タイプ	設定コード		
セットアップ	ゲートウェイ先頭オクテット	Get	BE EF	03	06 00	93 05	02 00	19 29	00 00		
	ゲートウェイ第2オクテット	Get	BE EF	03	06 00	D7 05	02 00	1A 29	00 00		
	ゲートウェイ第3オクテット	Get	BE EF	03	06 00	2B 04	02 00	1B 29	00 00		
	ゲートウェイ第4オクテット	Get	BE EF	03	06 00	5F 05	02 00	1C 29	00 00		
	DNS 先頭オクテット	Get	BE EF	03	06 00	F3 08	02 00	21 29	00 00		
	DNS 第2オクテット	Get	BE EF	03	06 00	B7 08	02 00	22 29	00 00		
	DNS 第3オクテット	Get	BE EF	03	06 00	4B 09	02 00	23 29	00 00		
	DNS 第4オクテット	Get	BE EF	03	06 00	3F 08	02 00	24 29	00 00		
	MAC 先頭バイト	Get	BE EF	03	06 00	0F 17	02 00	40 29	00 00		
	MAC 第2バイト	Get	BE EF	03	06 00	F3 16	02 00	41 29	00 00		
	MAC 第3バイト	Get	BE EF	03	06 00	B7 16	02 00	42 29	00 00		
	MAC 第4バイト	Get	BE EF	03	06 00	4B 17	02 00	43 29	00 00		
	MAC 第5バイト	Get	BE EF	03	06 00	3F 16	02 00	44 29	00 00		
	MAC 第6バイト	Get	BE EF	03	06 00	C3 17	02 00	45 29	00 00		
	メニュー位置	Set	左上	BE EF	03	06 00	57 D5	01 00	1D 30	00 00	
			右上	BE EF	03	06 00	C7 D4	01 00	1D 30	01 00	
			左下	BE EF	03	06 00	37 D4	01 00	1D 30	02 00	
			右下	BE EF	03	06 00	A7 D5	01 00	1D 30	03 00	
			中央	BE EF	03	06 00	97 D7	01 00	1D 30	04 00	
		Get	BE EF	03	06 00	64 D5	02 00	1D 30	00 00		
	OSD タイムアウト	Set	常時オン	BE EF	03	06 00	16 58	01 00	8E 22	00 00	
			10 秒	BE EF	03	06 00	B6 5E	01 00	8E 22	0A 00	
			30 秒	BE EF	03	06 00	B6 51	01 00	8E 22	1E 00	
			60 秒	BE EF	03	06 00	16 49	01 00	8E 22	3C 00	
			Get	BE EF	03	06 00	25 58	02 00	8E 22	00 00	
	メッセージボックス	Set	オフ	BE EF	03	06 00	EA 59	01 00	8F 22	00 00	
			オン	BE EF	03	06 00	7A 58	01 00	8F 22	01 00	
		Get	BE EF	03	06 00	D9 59	02 00	8F 22	00 00		
	赤外線リモコン	Set	オフ	BE EF	03	06 00	17 96	01 00	16 24	02 00	
			オン	BE EF	03	06 00	E7 96	01 00	16 24	01 00	
Get		BE EF	03	06 00	44 97	02 00	16 24	00 00			

# 通信設定

## 通信コマンド表(続き)

	Hitachi コマンド										説明
	機能	動作	ヘッダデータ(7 バイト)				コマンドデータ(6 バイト)				
			ヘッダコード	パケット	データサイズ	CRC	アクション	タイプ	設定コード		
セットアップ	リモコンID	Get	BE EF	03	06 00	AC 30	02 00	08 26	00 00		
	初期画面	Set	オフ	BE EF	03	06 00	13 D5	01 00	1E 30	00 00	
			オン	BE EF	03	06 00	83 D4	01 00	1E 30	01 00	
		Get	BE EF	03	06 00	20 D5	02 00	1E 30	00 00		
	トリガー	Set	スクリーン	BE EF	03	06 00	3F B8	01 00	70 24	40 00	
			4:3	BE EF	03	06 00	FF 89	01 00	70 24	00 00	
			16:10	BE EF	03	06 00	5F 8F	01 00	70 24	0A 00	
			16:9	BE EF	03	06 00	6F 88	01 00	70 24	01 00	
	オートサーチ	Set	オフ	BE EF	03	06 00	B6 D6	01 00	16 20	00 00	
			オン	BE EF	03	06 00	26 D7	01 00	16 20	01 00	
	オートパワーオフ	Set	オフ	BE EF	03	06 00	3B 86	01 00	10 31	00 00	
			オン	BE EF	03	06 00	3B 89	01 00	10 31	14 00	
	ダイレクトパワーオン	Set	オフ	BE EF	03	06 00	3B 89	01 00	20 31	00 00	
			オン	BE EF	03	06 00	AB 88	01 00	20 31	01 00	
	表示言語	Set	英語	BE EF	03	06 00	F7 D3	01 00	05 30	00 00	
			フランス語	BE EF	03	06 00	67 D2	01 00	05 30	01 00	
			スペイン語	BE EF	03	06 00	07 D3	01 00	05 30	03 00	
			ドイツ語	BE EF	03	06 00	97 D2	01 00	05 30	02 00	
			ポルトガル語	BE EF	03	06 00	C7 D1	01 00	05 30	07 00	
			簡体字中国語	BE EF	03	06 00	A7 D5	01 00	05 30	09 00	
繁体字中国語			BE EF	03	06 00	37 DE	01 00	05 30	10 00		
日本語			BE EF	03	06 00	37 D4	01 00	05 30	08 00		
韓国語			BE EF	03	06 00	57 D5	01 00	05 30	0A 00		
Get			BE EF	03	06 00	C4 D3	02 00	05 30	00 00		
AMX D.D.	Set	オフ	BE EF	03	06 00	33 AC	01 00	30 1B	00 00		
		オン	BE EF	03	06 00	A3 AD	01 00	30 1B	01 00		
サービス	Get	BE EF	03	06 00	00 AC	02 00	30 1B	00 00			
	入力ソース	Get	BE EF	03	06 00	CD D2	02 00	00 20	00 00		
	垂直アクティブ	Get	BE EF	03	06 00	7A 86	02 00	12 11	00 00		
	水平アクティブ	Get	BE EF	03	06 00	7A 89	02 00	22 11	00 00		
	水平周波数	Get	BE EF	03	06 00	4A 88	02 00	26 11	00 00		
	垂直周波数	Get	BE EF	03	06 00	8A 83	02 00	06 11	00 00		
	「ピクセルクロック(新規)」	Get	BE EF	03	06 00	76 82	02 00	07 11	00 00		
	レーザー使用時間 - 低	Get	BE EF	03	06 00	C2 FF	02 00	90 10	00		
	レーザー使用時間 - 高	Get	BE EF	03	06 00	2A FD	02 00	9E 10	00		
	吸気口1 - 温度	Get	BE EF	03	06 00	CA 18	02 00	2A 4C	00 00		
吸気口2 - 温度	Get	BE EF	03	06 00	20 18	02 00	24 4C	00 00			



通信コマンド表(続き)

	Hitachi コマンド										
	機能	動作	ヘッダデータ(7バイト)				コマンドデータ(6バイト)			説明	
			ヘッダコード	パケット	データサイズ	CRC	アクション	タイプ	設定コード		
サービス	DMD 温度	Get	BE EF	03	06 00	94 03	02 00	53 4C	00 00		
	レーザー1 温度	Get	BE EF	03	06 00	A4 02	02 00	57 4C	00 00		
	レーザー2 温度	Get	BE EF	03	06 00	F4 01	02 00	5B 4C	00 00		
	レンズ情報	Get	BE EF	03	06 00	F0 D9	02 00	71 25	00 00	0:不明 1:USL-901 2:SL-902 3:SD-903 4:SD-903W 5:ML-904 6:LL-905 7:UL-906 8:FL-920	
	工場出荷設定	Execute	BE EF	03	06 00	98 8D	06 00	30 71	00 00		
その他	電源	Set	オフ	BE EF	03	06 00	2A D3	01 00	00 60	00 00	0:オフ(スタンバイ) 1:オン(画像) 2:冷却 3:ウォームアップ 4:警告
			オン	BE EF	03	06 00	BA D2	01 00	00 60	01 00	
		Get	BE EF	03	06 00	19 D3	02 00	00 60	00 00		
	エラーステータス	Get	BE EF	03	06 00	D9 D8	02 00	20 60	00 00	0:ノーマル 1:カバーエラー 2:ファンエラー 3:レーザーエラー 4:温度エラー 80,97,128:その他のエラー	
	ブランク	Set	オフ	BE EF	03	06 00	FB D8	01 00	20 30	00 00	
			オン	BE EF	03	06 00	6B D9	01 00	20 30	01 00	
		Get	BE EF	03	06 00	C8 D8	02 00	20 30	00 00		
	静止	Set	オフ	BE EF	03	06 00	83 D2	01 00	02 30	00 00	
			オン	BE EF	03	06 00	13 D3	01 00	02 30	01 00	
		Get	BE EF	03	06 00	B0 D2	02 00	02 30	00 00		

## PJLink コマンド

コマンド	制御説明	パラメータ または 応答
POWR	パワーオン/オフ	0 = スタンバイ 1 = パワー (ランプ) オン
POWR ?	電源の状態照会	0 = スタンバイ 1 = パワー (ランプ) オン 2 = 冷却動作中
INPT	入力ソース選択	11 = COMPUTER IN 1 12 = COMPUTER IN 2 31 = HDMI 1 32 = DVI-D 33 = HDMI 2 36 = HDBaseT 37 = SDI
INPT ?	入力ソース照会	11 = COMPUTER IN 1 12 = COMPUTER IN 2 31 = HDMI 1 32 = DVI-D 33 = HDMI 2 36 = HDBaseT 37 = SDI
AVMT	AV ミュート	10 = ブランクオフ 11 = ブランクオン 30 = AV ミュートオフ 31 = AV ミュートオン
AVMT ?	AV ミュート照会	10 = ブランクオフ 11 = ブランクオン 30 = AV ミュートオフ 31 = AV ミュートオン

コマンド	制御説明	パラメータ または 応答
ERST ?	エラーステータス照会	1st byte: ファンエラー、0～2のいずれかを参照 2nd byte: レーザーエラー、0～2のいずれかを参照 3rd byte: 温度エラー、0～2のいずれかを参照 4th byte: カバーエラー、0～2のいずれかを参照 5th byte: フィルターエラー、0～2のいずれかを参照 6th byte: その他のエラー、0から2のいずれかを参照 0～2の意味は以下の通りです。 0 = エラーが検出されない 1 = 警告 2 = エラー
LAMP ?	レーザーステータス照会	先頭の番号 (1～5の数字): レーザー使用時間 2番目の番号: 0 = ランプ消灯中、1 = ランプ点灯中
INST ?	入力ソースリスト照会	11 12 31 32 33 36 37
NAME ?	プロジェクター名照会	「ネットワーク」メニューの項目「プロジェクター名」で設定した名前を応答
INF1 ?	製造者名照会	HITACHI
INF2 ?	機種名照会	LP-WU9750B
INFO ?	その他の情報照会	工場情報などを応答
CLSS ?	等級情報照会	1

**注意**・PJLink™で使用されるパスワードは、Web コントロールで設定されたパスワードと同じです。認証なしでPJLink™を使用する場合、Web ブラウザコントロールでパスワードを設定しないでください。  
・PJLink™の仕様については、一般社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会の Web サイトを参照してください。  
URL: <http://pjlink.jbmia.or.jp/>

# 保証とアフターサービスについて（必ずお読みください。）

## 修理を依頼されるときは （出張修理）

「簡易トラブルシューティング」（**冊63ページ**）に従って調べていただき、なお異常のあるときは、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

### 保証書

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめください。内容をよくお読みの後、大切に保管してください。  
保証期間については保証書をご覧ください。

### ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店または「ご相談窓口」にお問い合わせください。

### 補修用性能部品保有期間

補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後6年です。

冷却液は、購入後3年毎に点検することを推奨します。販売店かサービス店にお問い合わせください。

### 保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って日立マクセル(株)が修理させていただきます。

### 保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料修理させていただきます。

### ご連絡していただきたい内容

品名	プロジェクター
本体形名	LP-WU9750BJ
お買い上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に
梱包材の有無	輸送いただく場合はお買い上げ時の梱包材をお使いください。梱包材が損傷していたり廃棄または紛失した場合はお知らせください。
ご住所	付近の目印なども合わせてお知らせください。
お名前	
電話番号	
訪問ご希望日	

### 修理料金のしくみ

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費などが含まれています。
+	
部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材などを含む場合もあります。
+	
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

ご購入店名、ご購入日を記入しておいてください。サービスを依頼されるときに便利です。

ご購入店名	ご購入年月日
電話（ ）	年 月 日

## 長年ご使用のプロジェクターの点検をぜひ！

熱、湿気、ホコリ、煙草の煙などの影響や、使用度合いにより部品が劣化し、故障したり、時には安全を損なって事故につながることもあります。



### このような症状はありませんか

- 電源を入れても映像が出ない。
- 映像が時々、消えることがある。
- 変なにおいがしたり、煙が出たりする。
- 電源を切っても、映像が消えない。
- 内部に水や異物が入った。



### ご使用中止

故障や事故防止のため、コンセントから電源プラグをはずし、必ず販売店にご相談ください。

## お客様ご相談窓口

日立家電品についてのご相談や修理はお買い上げの販売店へ  
なお、転居されたり、贈り物で頂いたものの修理などで、ご不明な点は  
下記窓口にご相談ください。

### 修理などアフターサービスに 関するご相談は

TEL 0120-3121-68

FAX 0120-3121-87

(受付時間)

日曜・祝日／9:00～17:30

平日／9:00～19:00

### 商品情報やお取り扱いに ついてのご相談は

TEL 0120-3121-19

FAX 0120-3121-34

(受付時間) 9:00～17:30

携帯電話、PHSからもご利用できます。(日曜・  
祝日と年末年始・夏季休暇など弊社の休日は  
休ませていただきます。)

- 本窓口等で取得致しましたお客様の個人情報、お客様のご相談及びサポート等への対応を目的として利用し、適切に管理します。
- お客様が弊社にお電話でご連絡いただいた場合には、正確に回答するために通話内容を記録（録音など）させていただくことがあります。
- ご相談、ご依頼いただいた内容によっては、弊社のグループ会社や協力会社にお客様の個人情報を提供し対応させていただくことがあります。

※弊社の「個人情報保護方針」は、下記をご参照下さい。

URL <http://www.maxell.co.jp/jpn/privacy.html>

## 商標

- ・DLP® とデジタルマイクロミラーデバイス(DMD)は、Texas Instruments 社の商標です。
- ・HDMI®、HDMI® ロゴ及び High-Definition Multimedia Interface® は、HDMI Licensing LLC の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- ・PJLink は、日本、アメリカ合衆国、その他の国および地域での登録または出願商標です。
- ・Crestron®、Crestron e-Control®、e-Control®、Crestron Connected™、Fusion RV®、Crestron RoomView®、RoomView™ は、米国および海外の Crestron Electronics, Inc. の商標または登録商標です。
- ・DICOM® は、全米電気機器製造業者協会の登録商標です。
- ・HDBaseT™ と HDBaseT アライアンスロゴは、HDBaseT アライアンスの商標です。

その他の商標はすべて、各所有者に帰属します。





〒 244-0003 神奈川県横浜市戸塚区戸塚町 5030 番地 TEL 050-3033-5963(直通)

Printed in China

ZZ-02